

日本人漂流記文献目録

同志社大学図書館

1984

正 誤 表

| 頁 | 行 | 誤 | 正 |
|------|---------|------------------|------------------|
| はしがき | 6 | 既定して | 限定して |
| 凡例 2 | 12 ~ 13 | 「 <u>図</u> 書総目録」 | 「 <u>国</u> 書総目録」 |
| ” | 15 | 注 <u>訳</u> | 注 <u>記</u> |
| 59 | 右欄 1 | He <u>e</u> o | He <u>c</u> o |
| 67 | 右欄 2 | 手塚龍 <u>蔵</u> | 手塚龍 <u>磨</u> |
| 76 | 7 ~ 8 | 万次郎開 <u>係</u> | 万次郎開 <u>係</u> |

日本人漂流記文献目録

同志社大学図書館

1984

日本人漂流記文献目録

は し が き

日本人の漂流は近世に入って急激に増えてきているが、それは日本の沿海の気象、海象の悪条件によって海難事故が発生しやすかったことと、特に江戸時代には幕府の鎖国政策によって外洋航海ができなくなったこと、又それによって逆に国内輸送の生産も増加し、江戸と大阪を中心とした物資の国内輸送、特に海運が盛んになり、その就航船が遠洋航海用でなく、沿海用の和船で構造的な欠陥があり、海難事故が増えたといわれる。

この文献目録はこのような日本人が漂流した漂流記に既定して、できるだけ多くの資料を収録したいと考え、まず岩波書店の「国書総目録」に収録されている日本人の漂流記を拔出し、それに若干追加補足した漂流記文献目録と漂流記について書かれた研究書や漂流記を素材とした小説等も含めた漂流記関係文献目録を合せて編集することにした。漂流記の資料の配列については、本来であれば、漂流年代順に個々の漂流記をまとめたいと思ったが、資料内容のわからないものが多いので、やむをえず漂流記の書名の五十音順とした。文献目録として大変不備な点が多いが、今回とりあえずまとめることにした。なお、このほかにも記録の不備なため収録をみあわせたものが多いが、後日調査の上収録したいと思っている。文献の間違いや、未収録の文献がありましたら、是非ご教示をいただいて補正していきたい。

この目録が海事史や海外交渉史その他の研究の一助となれば幸いである。

この作成にあたって、岩波書店より心よく御承諾をいただき、ここに厚く御礼申しあげたい。

昭和59年3月

服 部 純 一

凡 例

I この目録には、幕末までに書かれた日本人漂流記（複製版を含む）と漂流記に関する研究文献（ただし一部を除いて欧文文献は除外した）を収録した。

II 幕末までの漂流記については、主として岩波の「国書総目録」から日本人漂流記の文献を抜き出し、一部追加、補足した。又漂流記ではないが、漂流者の著作も一緒に収録した。

III 配列は一部の漂流記文献目録は書名の五十音順により、二部の漂流記関係文献目録は出版年月日順とした。同一出版年月日のものは、書名の五十音順とし、出版年の月がわからないものは、出版年の最初に配列した。

IV 目録の記載

1. 第一部

明治以前のものについては、「国書総目録」にあわせて、書名、よみ、巻冊数、角書、別称、類別、著編者、成立、写本、版本の所在、活字本、複製本、注記の順とした。明治以降の資料については、書名、著編者、出版地（東京以外）、出版者、年版年、頁数、図版類、大きさ、注記の順とした。

(1) 書 名

- a. 本書名としてとらなかった別称、略称などの主なものは矢印→を付して本書名を参照させた。
- b. 冠称（書名の上の割書きなど）は原則として省いた形からとり、冠称の部分は角の欄に記した。冠称からの書名で必要なものは矢印→を付して本書名を参照させた。
- c. 二種以上の資料が合冊になっている場合は、それぞれ記載し、所在名の下または注記の位置に合冊であることを記載した。
- d. 叢書所収の資料は叢書名および含まれている個々の書名からも記載した。

(2) よ み

よみを必要とするものにはよみをつけた。

(3) 巻、冊

何巻、何冊より成るかを記した。

(4) 角 書

冠称（書名の上の割書きなど）はすべて角書とみなして、この欄に記載した。

(5) 別 称

本書名と異なる別称、略称などの主要なものを記載した。なお、必要に応じて別称、略称

から本書名に参照した。

(6) 類 別

「国書総目録」において、おおよそその内容を示すために類別されたものであるが、**類**漂流記は削除した。

(7) 著編者

著者、編者等が判明しているものを記載した。

(8) 成 立

a. 成立年代、あるいは初版刊年などを記載した。

b. 成立年代は不明であるが、成立を推定するに役立つと思われる序、跋などのあるものは、ここに記載した。

(9) 写本・版本

a. **写****版**のそれぞれの欄に写本、版本を所蔵する図書館・文庫等の略称を示した。（「国書総目録」巻末の「図書館・文庫一覧」および「ジョン万エンケレセ」永国淳哉著、高知新聞社 昭57巻末の「万次郎関係古書所在表」を参照）

b. 同一書と認められるものは一括したが、異なる書名は所在名の下に「」をつけて注釈した。

c. 巻冊数・書写年等の異なる写本が数部ある場合は、（）をもってそれぞれ表示した。

(10) 活字翻刻 **活**

明治以降刊行の活字本の叢書に所収のもの、単行の活字翻刻本、または雑誌、紀要などに翻刻されたものを記載した。

(11) 謄写翻刻 **謄**

謄写版による翻刻本を記した。

(12) 複製本 **複**

各種の方法による複製本を記載した。

(13) 注 記 *

注記を必要とするものはこのマークの下に記載した。

2. 第二部

図書については、書名、著編者、出版地（東京以外）、出版者、出版年、頁数、図版類、大きさ、注記、同大図書館所蔵のものの順とした。

雑誌、新聞等については書名、執筆者、（雑誌、新聞名、必要な場合団体名）、巻号、年月日、頁）、同大図所蔵のものの順とした。

第 一 部

漂流記文献目録

第一部 漂流記文献目録

あ

1. 青森港儀兵衛漂流始末口書 → 漂流始末口書
2. 赤人一件 あかひといいけん 1冊 ㊦寛政四子年十一月松前表赤人一件 ㊦外事 ㊦桂川甫周 ㊦国会（嘉永7岡本保孝識語） * 寛政4年送還せられたる漂流人に就て露西亜国の事情を聞たるものを記す
3. 秋田船異国漂流記 1冊 ㊦道庁 * 天明8-寛政2の記事
4. 阿州船漂流記 1巻 ㊦京大（武道撫萃録383）
5. 阿州船無人島漂流記 ㊦寛文頃 ㊦校訂漂流奇談全集（続帝国文庫） * 寛文9年阿波国海部郡浅川浦の沖船頭勘右衛門と水主ら計7名無人島（多分小笠原硫黄島列島中の一島）へ漂着
6. 阿南漂泊實記 1冊 ㊦同志社（海表異聞49） * 阿波の幸宝丸漂流記
7. 阿南漂流記 1冊 ㊦徳之丞等 ㊦弘化元-2 ㊦東北大狩野 * 阿波の幸宝丸漂流記
8. 亜墨新話 あぼくしんわ 5巻5冊 ㊦天保年間阿波国水手初太郎等漂流一件・海外異聞・亜墨利加新話 ㊦前川温（文）・酒井輝（順蔵）撰、守任定輝画、郡波希顔序 ㊦天保15序 ㊦静嘉（5冊）・宮書（2冊）・東博（巻1・2、2冊）・岡山大池田（3冊）・京大（7冊）・東大史料（4冊）・東北大狩野（3冊）・早大（5冊）・秋田（4冊）・徳島（1冊）・日比谷加賀（3冊）・植考（5冊）・成田（3冊）・凌霄（3冊）・内閣（1冊）・同志社（1冊） ㊦校訂漂流奇談全集（続帝国文庫）・南蛮紀文選・南蛮稀聞帳 * 初太郎漂流記
9. 亜墨船事状 1冊 ㊦弘化新聞 ㊦旧浅野
10. 亜墨竹枝 あぼくちくし 1冊 ㊦井上黙（春洋） ㊦弘化2前川文序、同3広瀬建・篠崎弼序 ㊦早大・旧三井鶯軒・蓬左（資治雑叢二輯） ㊦内閣・慶大・東大・早大・日比谷加賀・村野・凌霄・鮎沢信太郎・岡田伊三次郎・同志社 * 米国に漂流した舟子の見聞を28首の漢詩に詠じ記事を注したもの
11. 亜墨竹枝余話 あぼくちくしよわ 1冊 ㊦井上黙（春洋） ㊦弘化年間 ㊦凌霄
12. 亜美利加合衆国航海習学書 6冊 ㊦海運 ㊦小出修喜・福田理軒校訂 ㊦東北大林・秋岡武次郎
13. 亜美利加合衆国航海習学書 あめりかがっしゅうこくこうかいしゅうがくしよ 1冊 ㊦航海 ㊦イー・シー・ブランタ著 中浜万次郎訳 ㊦香川大神原（明治写）
14. 亜墨利加聞書 → 海外異聞
15. 亜墨利加詞 あめりかことば ㊦外国語 ㊦国会（土佐国群書類従 漂流）・内閣（同上）・京大（同上）・東大史料（同上）・高知（同上）

高知(同上)

16. 亜墨利加新話 4巻2冊 ④漂客聞見 ⑤名大岡屋

17. アメリカ彦蔵回想記 ジョセフ・ヒコ〔著〕
中川務訳 筑摩書房 昭36.3(世界ノン
フィクション全集14 p.3~168)18. アメリカ彦蔵自伝 全2巻 中川努、山口
修訳 平凡社 1964 2冊(東洋文庫
13、22)

19. アメリカ彦蔵漂流記 →漂流記

20. 亜米利駕漂流記 1冊 ④弘化2 ⑤日比
谷近藤21. 亜墨利加漂流記 1冊 ④土州万次郎 ⑤
旧三井22. 亜墨利加漂流記 1冊 ⑤国会(漂流記叢
書81・87) *第81は萬次郎等の漂流始
末聞書・第87は嘉永三年摂州永力丸漂流
記23. 亜墨利加漂流聞書 ⑤愛媛県立図 *万次
郎漂流記24. 亜墨利加漂流記聞 1冊 ④紀伊国日高郡
園浦天寿丸虎吉船亜墨利加漂流記聞 ④
嘉永4 ⑤九大(自筆)

25. 亜米利加漂流譚 →万次郎漂流記

26. 亜墨利加漂流万次郎在留物語 1冊 ⑤秋
岡武次郎27. 亜墨利加より帰国聞書 1冊 ⑤高知県
(嘉永5) *ジョン万次郎等よりの聞
書28. 亜米理軒見聞記 上中下巻1冊 ⑤同志社
*栄寿丸漂流記29. 亜墨利幹土州幡多郡中之浜万次郎漂流嘶聞
記 ⑤徳島30. 廈門漂流記 あもいひょうりゅうき 1冊
④寛延3-宝暦元 ⑤東大史料31. 亜羅周遊奇談 ⑤田中滝治氏(高知県南国
市)(嘉永4写)32. 荒浜船南通州漂着始末 あらはませんなん
つうしゅうひょうちやくしまつ 1冊
④宝暦12 ⑤異国漂流奇譚集 石井研堂
編、福永書店 昭2 *奥州亘野荒浜の
福吉丸33. 阿波幸宝丸漂流記 1冊 ④嘉永頃 ⑤九
大34. 安永漂流紀聞 1冊 ④長崎御役所口書扣・
薩州人唐土漂着一条(原) ⑤中原伸左
衛門・池田喜左衛門口書 ④安永3 ⑤
無窮神習

35. 安永漂流話 1冊 ⑤岡山市(天明元写)

36. 安永四年朝鮮漂着一巻 1冊 ⑤金沢市加
越能37. 安永4年漂流人唐国ヨリ連渡一件 →漂流
人唐国ヨリ連渡一件38. 安政尾張人漂流記 →知多郡亀崎村七三郎
漂流談

39. 安南国江漂着之記 ⑤内閣(外国通覧3)

40. 安南国江漂流仕候陸奥国之者九人口書 1冊
④寛政8 ⑤日比谷近藤(長崎市役所蔵)

本写)・長崎市役所

41. 安南国漂流記 1冊 ㊦安南漂流記 ㊦国会(漂流記叢書27)・内閣(明和2-4)・九大・九大文化(異国船漂着記と合)・京大(2巻1冊)(武道撫草録 383)・国学院・教大・東大史料(明和2)・日大・道庁(延宝・元禄・明和・寛政)・函館(異国船漂着記・蝦夷騒動記と合)・栗田(明和4)・礪川(文政12)・旧彰考 ㊦南海漂流譚 柴秀夫編 双林社 昭18・通航一覽4

42. 安南国漂流記 1冊 ㊦国会(安南国漂流物語・大冤国漂流話・宝暦七丑九月吹流候船人小平治口上書を収む)

43. 安南国飄流人常州人弥八口上書 1冊 ㊦明和2 ㊦栗田

44. 安南国漂流物語 1冊 ㊦九大 ㊦校訂漂流奇談全集(統帝国王庫)・日本庶民生活史料集成 5巻 漂流 三一書房 1968

45. 安南漂流 1冊 同大(長崎・浄乗寺、明和5写) * 常陸国多賀郡磯原村民による安南国の風俗等見聞書

46. 安南漂流記 → 安南国漂流記

い

47. 異国江漂着仕候船頭水主口上 → 源左衛門唐土漂流記

48. 異国江漂流仕候陸奥国之者四人口書 1冊 ㊦国会(漂流叢書12)・内閣(魯西亞国漂流奥民口実)・神戸大・東大本居・函館(露使レサノツト来朝一件の内)・茶図小笠原・岡山大池田(土州人漂流記等と合)・東北大(「漂流真事記」・文久2

写) ㊦異国漂流記集 荒川秀俊編、吉川弘文館 昭和37 * 寛政5年ロシア領へ漂流した陸奥国若宮丸の左平、津太夫、儀兵衛、太十郎の口書

49. 異国奇談漂船秘録 → 漂船秘録

50. 異国奇聞 2冊 ㊦国会 * 寛政5年奥州宮城郡寒風沢津太夫等ロシアへ漂流の時の聞書

51. 異国紀聞 1冊 ㊦奥州盛岡領漂流人宝暦元年末十二月廿日長崎江戻着最初ニ差出候書付 ㊦宝暦2 ㊦内閣(1冊)(外国紀聞10)・早大(外国紀聞所収本写)

52. 異国航来漂民帰朝紀事 いこくこうらいひょうみんきちょうさじ 1冊 ㊦文化4 ㊦北大

53. 夷国嘶実録 いこくばなしじつろく 3冊 * 国書解題等による

54. 異国漂着船話 5冊 ㊦外事 ㊦木下八郎次衛門編 ㊦雲泉(元禄5写)・京外大(元禄5写) * 1巻 奥州信夫郡福嶋上大笹村上乘百姓武右衛門宝暦十二年十二月支那通州に漂着・2巻 台湾物語・3巻 定西伝琉球物語・4～5巻 暹羅物語

55. 異国漂渡記 1冊 ㊦国会(漂流記叢書4) * 寛永23年越前三国竹内藤太持船漂流記

56. 異国漂流記 ㊦静嘉(統海外異聞の内)・愛媛伊予史(1冊)・雲泉(弘化4写2冊)

57. 異国漂流記 1冊 ㊦六兵衛等 ㊦天保2 ㊦日比谷加賀

58. 異国漂流記 1冊 ㊦同志社(嘉永2年写)

* 備前の神力丸（1800石積）の漂流で水主勝之助の口書

59. 異国漂流記 1冊 ㊤九大 * 文化元ロシ
ア使節レザノフに伴われて帰国した奥州
宮城郡漁師津太夫等の漂流談

60. 異国漂流記 1冊 ㊤安永9 ㊤国会・京
大 * 北轡物語の付、安永3-8の記事

61. 異国漂流記 1冊 ㊤異国漂流実記・志摩
小平治異国噺・志摩布施村船頭小平次等
漂流記 ㊤京都府・日比谷近藤 * 宝暦
7漂流の記事

62. 異国漂流記集 荒川秀俊編 吉川弘文館
昭37 275p (気象史料シリーズ2)
* 異国物語・尾張国知多郡大野村孫左衛
門船漂流帰国之事・漂人談話・浙江漂流
帰帆・宝暦七年丑九月志州鳥羽浦船頭漂
流一件・異国漂流人の次第・異国江漂流
仕候陸奥国の者四人口書・能州羽咋郡壘
浜村清兵衛異国漂流口書写・呂宋国漂流
記・漂客談奇・漂流奇談・呂寿丸漂流口
書・漂流記・無人嶋ヨリ帰国之者御調書
上留・無人嶋漂流記

63. 異国漂流記続集 荒川秀俊編 地人書館
昭39 318p (気象史料シリーズ6)
* 南海紀聞 5冊(昭和元年)・漂海録
(安永3)・南瓢記 5冊(寛政6)・
海外異聞 5冊(天保12)・通航一覽統
輯 漂流記選 6冊・巻78(パラオ島漂
流記 文政3年)・巻81(カガヤン漂流
記 文政11年)・巻150(陸奥船南洋漂流
記 天保10年)・巻115(善助・初太郎
漂流記 天保12年)・巻116(栄力丸漂
流記 嘉永3年)・巻98(カムチャッカ
漂流記 嘉永3年)

64. 異国漂流奇譚集 石井研堂編 福永書店
昭2 638頁 * 元和漂流記・讃州船島

国脱航談・勢州船北海漂着記・薩州船清
国漂着談・津軽船御馳走談・荒浜船南通
州漂着始末・一葉丸福州漂流記・芸州善
松北米漂流譚・督乗丸船長日記・融勢丸
唐流帰国記・神力丸馬丹漂流口書・時計
献上の漂民・観音丸呂宋漂流記・漂流万
次郎帰朝談・幸宝丸漂流記・播州人米国
漂流始末・彦蔵漂流記・広東船漂着奇談・
漂流譚雑筆

65. 異国漂流口書一件 いこくひょうりゅうく
ちがきいっけん 1冊 * 讃岐史料史籍
目録による

66. 異国漂流船談 1冊 ㊤国会(漂流記叢書
11) * 宝暦7年志州小平次漂流記

67. 異国漂流談 1冊 ㊤国会(漂流記叢書17・
18) ㊤南海漂流譚 柴俊夫編 双林社
昭18 * 宝暦7年志州小平次漂流記

68. 異国漂流人之次第(明和元年) ㊤異国漂
流記集 荒川秀俊編 吉川弘文館 昭37
* 明和元年筑前唐泊浦の水主孫太郎の漂
流記

69. 異国漂流物語 1冊 ㊤岡田伊三次郎
* 文明移入に関する古書展覧会目録による

70. 異国漂流物語 神力丸馬丹島 1冊 ㊤東
北大(天保14増井武啓写)

71. 異国へ漂流仕候奥州之者七人口書 1冊
㊤安政4 ㊤京都府

72. 異国物語 1冊 ㊤土佐国万治郎 ㊤国会
(漂流記叢書77)

73. 異国物語 1冊 ㊤壘浜漂流記・壘浜村清
兵衛ボタンへ漂着の次第口書 ㊤金沢市
稼堂(明治38写) * 天保3漂流の記事

74. 異国物語 ㊦塵浜漂流記 ㊤金沢市清水
(「塵浜村清兵衛漂流口書」) ㊨加賀能
登郷土図書叢刊加能漂流譚
75. 異国物語 1冊 ㊤越州三国浦新保村住人
㊤国会(漂流記叢書5)・同志社(海表
異聞30) ㊨異国物語 三秀舎 昭10
(異国物語考訳 橋川時雄著を合刻)・
異国漂流記集 荒川秀俊編 吉川弘文館
昭37
76. 異国渡り口書 いこくわたりくちかき 5
冊 ㊤日三井
77. 石巻水主魯斎亜視帰話 1冊 ㊨嘉永7
㊤茶図成實 寛政5年(1794)仙台の若
宮丸
78. 伊勢白子船神昌丸漂流記 1冊 ㊤寛政四
年壬子 ㊤内閣・天理
79. 伊勢国漂流民に関する書付 1冊 ㊨寛政
4 ㊤岡山大池田
80. 伊勢漂民風説 1冊 ㊤桂川国瑞編 ㊨寛
政5 ㊤鹿兒島大玉里 * 漂民御覧之記
等抄出
81. 伊勢松坂七郎兵衛等蝦夷漂流一件 1冊
㊤寛文十三年 ㊤内閣(漂流雑記3、正
徳元年肥前国商船広東漂流一件と合)
82. 磯吉光大夫漂流 2冊 同志社(海表異聞
72~73)
83. 一葉丸福州漂流記 ㊨異国漂流奇譚集 石
井研堂編 福永書店 昭2
84. 一葉丸船長日記 1冊 ㊦一葉丸福州漂流
記 ㊨天明2 ㊤日比谷近藤(異国漂流
奇譚集の内)

85. 乙巳漂客紀聞 いつしひょうかくきぶん
1冊 ㊤宇田川興斎 ㊨弘化2 ㊤岩手
86. 夷蛮漂流帰国録 1冊 ㊤登志陽水 ㊤三
原・旧浅野 ㊨夷蛮漂流帰国録 三原郷
土文化研究会編 昭33(三原郷土資料第
13集)・夷蛮漂流帰国目録〔史料紹介〕
栗原明信・吉原博見(海事史研究10 昭
43) * 稻若丸の善松の漂流記
87. 伊豫松山亥ノ助北亜美理駕漂流記 1冊
㊤龍谷(嘉永2写) * 巻頭は「海外異
話」となっている

う

88. 宇佐浦漂流人申口・宇佐浦漂流人口咄 ㊤
広谷喜十郎氏(高知県立図) ㊤土佐清
水関係藩政期文書(一)所収 高知県立清
水高等学校社会科教室 昭39序
89. 宇佐浦より漂流留 うさのうらよりひょう
りゅうとめ 1冊 ㊤九大
90. 卯四番唐船ヨリ送来候漂流日本人一件手続
1冊 ㊨天保14 ㊤長崎
91. 卯四番唐船ヨリ送来候漂流人一件 1冊
㊤長崎奉行所 ㊨天保3 ㊤長崎
92. 浦賀へ異国より漂流人送来候一件 1冊
㊤国会
93. 雲州三保関船乗無人島漂着記 1冊 ㊨寛
政9 ㊤九大

え

94. 栄寿丸善助西洋漂流物がたり 1冊
㊤京都府

95. 永寿丸漂流記 1冊 ㊦薩南国喜三右衛門
船尾張国長右衛門船年月同時漂流記
㊥文化13 ㊤国会・東大
96. 栄寿丸漂流口書(天保12年) ㊦異国漂流
記集 荒川秀俊編 吉川弘文館 昭37
* 船頭善助ののべたもの
97. 永寿丸魯国漂流記 1巻 ㊦校訂漂流奇談
全集(統帝国文庫)
98. 永寿丸魯西亜国漂着始末口上書 → 魯西亜
国漂着始末口上書
99. 英米対話捷徑 えいべいたいわしょうけい
1冊 ㊦外国語 ㊥中浜万治郎訳 ㊥安
政6刊 ㊥東北大学野・高知 * 英会話
入門書
100. 栄力丸漂流記—嘉永3年 ㊦通航一覽統輯
巻116 北亜墨利加部13・異国漂流記統
集 荒川秀俊編 地人書館 昭39
101. 栄力丸漂流記談 ㊥堀 照明 ㊦海表叢書
3・南蛮紅毛史料1
102. 蝦夷地漂着人帰朝之記 えぞちひょうちゃ
くじんきちょうのき 1冊 ㊥曾繁士攷
㊥寛政9 ㊤岩瀬
103. 蝦夷嶋漂着 えぞとうひょうちゃく 1冊
㊦勢州松坂の船蝦夷島之漂着奥州船唐国
之漂着(内) ㊥寛文12 ㊤内閣
104. 蝦夷島漂流記 1冊 ㊥伊勢人某 ㊥寛文
年間 * 地誌目録による
105. 蝦夷島流船物語・無人島物語・天竺渡海物
語 3巻1冊 ㊤宮城
106. 蝦夷漂流口書 1冊 ㊤東北大学野
107. 蝦夷乱初記 附神昌丸口書 1冊 ㊥寛政4
㊤道庁
108. 越後船漂流記 ㊦越後漂流記 ㊥元禄6
㊤京大(武道摺萃録382)
109. 越前舟子漂流談 えちぜんかこひょうりゅ
うだん 1冊 ㊥日下部景衡 ㊥正徳2
㊤宮書(自筆、定西法師琉球話と合)
110. 越前国三國浦新保村竹内藤右衛門同子藤蔵
岡田兵右衛門韃靼大明朝鮮国へ渡し事
㊤龍谷
111. 越前国三國浦新保村竹内藤左衛門同子藤蔵
等覚書 1冊 ㊤国会(漂流叢書2)
112. 越前人漂流記 えちぜんのひとひょうりゅ
うき 1冊 ㊥正保3 ㊤旧彰考(2部)
113. 越前漂流記 1冊 ㊥正保頃 ㊤旧彰考
114. 越前船漂流記 えちぜんぶねひょうりゅうき
1冊 ㊤京大(武道摺萃録383)・蓬左
115. 越前船漂流記 ㊦日本庶民生活史料集成
5巻 漂流 三一書房 1968
116. 越前三國浦新保村之者流れ一件 1冊
㊤磯川
117. 越前落船記 1冊 ㊥寛永20 ㊤尊經
118. 越州三國浦新保村住人異国物語
→ 異国物語
119. 江戸船漂落紀事 ㊤宮書(片玉集統集27、
無人嶋談話の付)
120. 恵渡路部漂流記 えとろふひょうりゅうき
1冊 ㊦大隅国分之内浜之市船頭奥蝦夷

ゑとろふに漂着之記(原)・蝦夷数話

㊦正徳2 ㊦北大

121. 遠州船漂落紀事 ㊦宮書(片玉集続集27、無人嶋談話の付) * 遠州新居浜・筒山五兵衛船の沖船頭佐太夫ら九十九里浜沖で漂流、無人島へ漂着

122. 遠州船無人島物語 ㊦元文4 ㊦国会(漂流叢書7) ㊦校訂漂流奇談全集(統帝国文庫)・日本庶民生活史料集成 5巻 漂流 三一書房 1968・南海漂流譚 柴秀夫編 双林社 昭18

お

123. 大坂安治川岡田屋源蔵借屋新助漂流記 1冊 ㊦天理 * 天徳丸台湾漂流記

124. 大坂油屋源蔵船台湾漂流記(仮題) 1冊 ㊦岡山大 * 天徳丸台湾漂流記

125. 大阪船漂着記 ㊦大阪船漂流記 ㊦嘉永2 ㊦岩手 ㊦南部叢書10 * 嘉永元年(1848)大阪今橋の紙屋新助船、大通丸

126. 大阪船漂落紀聞 1冊 ㊦宮書(片玉集続集27)

127. 大阪船漂流記 →大阪船漂着記

128. 「大坂伝次郎船異国江漂流致し候一件」(石井謙治翻刻・解説) 海史事研究 18('72.4) p.120~133

129. 奥州気仙郡三之丞蛭島漂流記 1冊 ㊦天保11 ㊦岩手・岡田伊三次郎

130. 奥州商船漂流記 1冊 ㊦内閣(佐野氏始末記と合)・京都府(同上) * 宝暦3年(1652)奥州気仙沼の大島屋幸兵衛船

春日丸の漂流

131. 奥州人安南国漂流記 1冊 ㊦京大(海外異聞の内) ㊦校訂漂流奇談全集(統帝国文庫)・通航一覽 巻177 * 明和2年(1765)奥州住吉丸(12反帆)の漂流

132. 奥州人江南漂着記 1冊 ㊦京大(海外異聞の内)

133. 奥州人浙江漂着記 おうしゅうじんせつこ うひょうちゃくき 1冊 ㊦京大(海外異聞の内)

134. 奥州人南京漂着記 1冊 ㊦京大(海外異聞の内)

135. 奥州人漂着海島図記 1冊 ㊦茶図成實

136. 奥州人漂着日記 1冊 ㊦奥州人漂着之時日記 ㊦沖繩(天保14)(安政6)

137. 奥州人福建漂流記 1冊 ㊦京大(海外異聞の内)

138. 奥州人魯西悪国漂流物語 おうしゅうじんろしあこくひょうりゅうものがたり 1冊 ㊦国会(漂流記叢書55) * 寛政5年奥州左平津太夫等漂流記

139. 奥州南部人漂流日録 ㊦長崎叢書 第5編 西道仙・安中半三郎校 長崎古文書出版会 明27

140. 奥州之船頭安南国漂着之奇談 1冊 ㊦松平定信 ㊦桑名松平家

141. 奥州漂民左平爰書並ニ長崎之尹副書 1冊 ㊦函館(峠谷叢説函館本1)

142. 奥州盛岡領漂流人宝暦元年末十二月廿日

長崎江戻着最初ニ差出候書付 → 異国紀聞

143. 奥州亙理郡荒浜木村屋茂右衛門持船福吉丸
漂流口上書 → 福吉丸漂流口上書

144. 大隅國漂人口上書并宗旨名 1冊 ㊦同志社

145. 大隅国分之内浜之市船頭奥蝦夷ゑとろふに
漂着之記 → 恵渡路部漂流記

146. 大槌浦商船漂流夜話 おおつちうらしょう
せんひょうりゅうやわ 1冊 ㊦寛政3
年冬 ㊦岩手

147. 奥民口実 → 魯西亜地漂流奥民口実

148. 奥民唐土漂流記 1冊 ㊦宝暦11・12
㊦内閣

149. 奥民漂到韃国款状 おうみんひょうとうだ
つこくかんじょう 1冊 * 国書解題に
よる

150. 奥民漂流記 1冊 ㊦東大

151. 小笠原島記并漂流記 1冊 ㊦同志社(海
表異聞48) * 漂流記は遠州新居浜の筒
山五兵衛船が享保4年無人島へ漂流 楫
取甚八と水主の仁三郎、平三郎の口書

152. 岡山漂流人記 1冊 ㊦国会(相馬祭記の
付)

153. 御国民呂宋国支配内漂流記 おくにたみる
そんこくしはいないひょうりゅうき 1
冊 ㊦九大(福岡黒田家蔵本写)

154. 小友船漂流記 1冊 ㊦天保11 ㊦岩手
㊦南部叢書10

155. 阿蘭陀文 おらんだふみ 1巻 ㊦校訂漂
流奇談全集(続帝国文庫)

156. 於路志屋江漂流記 おろしやへひょうりゅう
うき 1冊 ㊦国会(漂流記叢書32)
* 幸太夫磯吉漂流記

157. 鄂羅斯海録 おろしやかいろく 1冊 ㊦
桂川国瑞 ㊦内閣(文政7写、漂民上覧
之記・寛政六寅年六月十二日御用番御老
中戸田采女正殿より御勘定奉行へ御渡に
相成候御書付を付す)

158. おろしや国江漂流人口書留 1冊 ㊦国会
(漂流記叢書54) * 寛政5年奥州左平
津太夫等漂流記

159. フロシヤ国人伊勢のものの漂流の三人をおく
り東蝦夷に着岸につき 1冊 ㊦寛政四
壬子年 ㊦東大

160. フロシヤノ言 1冊 ㊦外国語 ㊦小栗重
吉 ㊦文化10刊 ㊦京大・早大 ㊦尚徳
堂叢書1

161. ロス漂海録 おろしやひょうかいろうく
1冊 ㊦国会旧幕

162. フロシヤ漂流記 寛政5年 西蛮風説記
(寛政9年) 2巻 ㊦高知(天保6)

163. 尾張人漂流記 ㊦蓬左(資治雑笈 二輯)

164. 尾張国知多郡大野村孫左衛門船漂流帰国
之事(寛文8年) ㊦異国漂流記集 荒川
秀俊編 吉川弘文館 昭37

165. 尾張国長右衛門船漂流記 1冊 ㊦国会
(薩摩国喜三左衛門船漂流と合)

166. 尾張国人異国漂着記 おわりのくにのひと
いこくひょうちやくき 1冊 ㊦茶図成實

167. 温古堂叢書 ㊦静嘉(13冊) *10冊にペラ
ホ物語を収録

か

168. 海外異聞 1冊 ㊦宮書(手島惟敏写)
* 唐太記(最上常矩)・小笠原島記・異
船漂着記(原新六郎)・赤蝦夷風説考
(最上常矩)を収む

169. 海外異聞 1冊 ㊦亜墨利加聞書 ㊦名大
皇学 * 天保12年(1841)摂津西宮の永
住丸の漂流記

170. 海外異聞 5巻5冊 ㊦亜墨利加新話・亜
米利加新話 ㊦露湖漁叟 ㊦安政元刊
㊦内閣・関大・九大・京大・教大・神戸
大・東北大狩野・広島大・日比谷近藤・
東京・岩瀬・刈谷・蓬左・大橋・栗田・
神宮・竜門・京外大・同志社 ㊦異国漂
流記続集 荒川秀俊編 地人書館 昭39
* 永住丸の水主初太郎の談話をまとめた
もの

171. 海外異聞 25巻25冊 ㊦増訂 ㊦漂流記・
外事 ㊦宮書(定西法師伝のみ)・京大・
京都府 * 定西法師伝・讃岐高松の百姓
吉右衛門等漂流記・馬丹島漂流記・切支
丹宗門来朝記・游房筆語・琉球聘使記・
岡野三左衛門広東漂流記・朝鮮人来朝記・
阿蘭陀問答・蝦夷にしき(上倉徳五郎蝦
夷漂流記)・島谷市左衛門等無人島漂流
記・異国人房州へ漂着記・紅毛訳問答・
奥州人福建漂流記・奥州人浙江漂着記・
奥州人南京漂着記・奥州人江南漂着記・
筑前国人呂宋福州漂着記・横文字和解・
薩州人唐国漂流記・住徳丸福州漂着記・

紀州人福州漂着記・奥州人安南国漂流記・
陳世徳筆語船頭清蔵安南国物語を収む

172. 海外異聞 26冊 ㊦漂流記・外事 ㊦桂川
(森島)中良 ㊦穂久通・旧彰考(1冊)
(3冊)

173. 海外異聞 32巻 ㊦漂流記・外事 ㊦文政
9序 ㊦内閣(崎陽雜記を付す)

174. 海外異話 ㊦天保十二年伊予松山船子亥之
助漂流記 ㊦嘉永2 ㊦国会(2巻1冊)・
内閣(2巻2冊)・宮書(嘉永4写4冊)・
京都府(明治2写1冊)・岩瀬(1冊)・
刈谷(1冊)・龍谷大(2巻2冊)

175. 海外聞書 ㊦広谷喜十郎氏(高知県立図)
(嘉永5頃写) * 万次郎漂流記

176. 海外漂流記 上之部 下之部 1冊 ㊦同
志社(安政2小西写) * 下之部は拾遺
海外漂流記となっている 本書は永住丸
の善助の漂流記

177. 海外漂流記聞 ㊦明和4 ㊦国会(春雨楼
叢書の内)

178. 華夷九年録 3巻1冊 ㊦漂流奇譚華夷九
年録 ㊦鈴木重翼 ㊦安永4自序 ㊦九
大(下巻1冊)・京大・日比谷近藤(中
下巻2冊)・福岡(1冊)・礪川(1冊)
→明和船日記 ㊦近世漂流記集 荒川秀
俊編 法政大学出版局 1969 * 筑前唐
泊の新造船伊勢丸

179. 外国紀談 * 日本漂流書目による

180. 外国紀聞 30冊 ㊦外国叢書 ㊦内閣
* 安南紀略藁(6冊)・異国漂蕩記聞(1
冊)・薩州漂客聞見録(2冊)・異国記

聞(1冊)・外国記聞(1冊)・漂南新語(1冊)・亜媽港紀略藁(2冊)・魯西垂志(1冊)・魯西垂本記略艸稿(2冊)・魯西垂国漂流記(1冊)・魯西垂新記聞(1冊)・五郎次話(1冊)・東韃地方紀行(3冊)・北狄防禦之記(1冊)・北蝦夷島新説(1冊)・沿海異聞(1冊)・海島風土記(2冊)・無人島漂流紀聞(1冊)・琉客譚記(1冊)・竜涉紀略(1冊)を収む

181. 解谷叢説 かいこくそうせつ ㊦福居芳磨(膝知文・解谷)編 ㊦寛政2-文政13 ㊦国会(太田本第5、1冊)・内閣(「みちのくにえきろの記」2巻2冊)・東洋岩崎(「東奥紀行図」、秦檜丸画・安藤重之等校、3巻2冊)・教大(那珂本、8冊)(同、1冊)・葵(文政11頃写、新野問答・建官考・天明炎焼之記・老女問答を収む)・函館(太田本、10冊)(教大蔵那珂本写8冊)・函館本・奥州漂民左平爰書並ニ長崎之尹副書・仙台北民從魯齊亜・所贈之状・漂民繼右衛門以下之儀菊地惣内上書・チフラン漂流人略話を収録・教大本・宝暦四年奥仙台之民唐土・浙江省漂流之記・宝暦九年台湾漂民之記を収録

182. 外国通覧 5巻3冊 ㊦内閣 * 巻1-阿蘭陀風説和解之書・中華物語・復濃比須盤国書写并方物風俗・仙台石ノ巻江異国舟漂着之記・房州千倉海江南京舟漂着之記・紀州大島浦江蛮舟漂着之記・伊豆国八丈島江唐船漂着記、巻2-豆陽大島記附七島ノ事・無人島記(林子平)・無人島江漂着之記、巻3-安南国江漂着之記・勢州ノ者魯西亜江漂着帰国之漂民御覽之記(桂川甫周)・越前国住人行韃靼口上、巻4-宝暦九年漂流記、巻5-唐国福建省漂着之口書・唐国福建省江漂流記問答

183. 外国漂流記 1冊 ㊦九大(文化3写)

184. 外国漂流全書 13冊 ㊦天理

185. 外国漂流手続書 1冊 ㊦天保15 ㊦九大

186. 皆山集 ㊦水産大羽原・東大史料 * 5巻、45巻に万次郎関係記録所収

187. 海事史料叢書 20巻 住田正一編 巖松堂 昭4~6 * 5: 船長日記(重吉)・6: 颶風新話(伊藤君独訳)・13: 海外漂流年代記を収録

188. 鹿磯村市之丞等無人島漂着の次第口書 かいそむらいちのじょうらむじんとうひょう うちやくのしだいぐちがき ㊦加賀能登郷土図書叢刊加能漂流譚

189. 海難断物語 かいなんばなしものがたり 1冊 ㊦国会(漂流記叢書24) * 宝暦7年(1757)志州小平次漂流記

190. 海表異聞 79冊 ㊦徹桑土人 ㊦同志社・京大(大正5年同志社蔵本抄写19冊) * 30. 異国物語 39-40・支那漂流記上下2巻・41~44. 支那漂流記4巻・47. 台湾漂流・48~49. 小笠原島記并漂流記・62~66. 船長日記 4巻図1巻・72~73. 磯吉光太夫漂流 上下2巻・74~76. 仙台北平津太夫漂流 上中下3巻・77. 太三郎の記

191. 海表叢書 巻3 新村出編 更生閣 昭3 * 元和航海記・大島筆記・南国奇話栄丸漂流記談

192. 海防稟議 ㊦天理(45冊) * 第14冊に漂客次郎吉話を収録

193. 嘉永帰朝漂客奇談 1冊 ㊦神戸大

194. 嘉永極月松歳丸漕難記 →松歳丸漕難記
195. 嘉永五異国戻聞書 萬次郎物語 1冊
 ㊦高知
196. 嘉永五年壬子土佐人漂流記 かえいごねん
 じんしとさじんひょうりゅうき ㊦田中
 滝治氏(高知県南国市)(嘉永7写)
 * 万次郎漂流記
197. 嘉永六年丑八月漂流人直嘶聞書 かえいろ
 くねんうしはちがつひょうりゅうにんじ
 きばなしききがき ㊦国会(漂流記叢書
 70)
198. カカヤン人記 1冊 ㊦文政11 ㊦福島
 * 文政11年(1828)八丈島船がルソンへ
 漂着
199. カカヤン漂流記 1冊 ㊦文政11-13 ㊦
 内閣 ㊦通航一覽続輯卷81・異国漂流記
 続集 荒川秀俊編 地人書館 昭39
200. 加能漂流譚 金沢 石川県図書館協会 昭
 13.3 77p 21cm (加賀能登郷土図書
 叢刊) 複刻 昭47.6 *本書は安永4年
 から約70年間に起った漂流事件の口書5
 種を編纂したもの。栗ヶ崎の者朝鮮漂
 着一巻口書・鹿磯村市之丞等無人嶋へ漂
 着の次第口書・大念寺新村吉左衛門唐國
 へ漂着一件口書・塵濱村清兵衛バタンへ
 漂着の次第口書・皆月村弥三兵衛異國へ
 漂着の次第口書 附録:浦手形の事・異
 國船漂着の節御扶持人十村等心得方覚書・
 加能漂流譚解説:輪島の船 朝鮮に漂着
 の事・輪島の水主共朝鮮漂着談
201. 金石漁夫漂流物語 1冊 ㊦南部金石浦漁
 夫漂泊物語(内) ㊦美濃部作右衛門
 ㊦宝暦2 ㊦岩手
202. カムチャッカ漂流記-嘉永3年 ㊦通航一
 覽続輯 卷98・異国漂流記続集 荒川秀
 俊編 地人書館 昭39
203. 賀茂村権吉長五郎唐国漂流帰国之次第
 →唐国漂流帰国之次第
204. 加茂村長五郎権吉尋書 →天明年間漂流覚書
205. 俄羅斯紀聞 ㊦4集40冊 早大本 *〔1
 集〕3.光太夫物語 5.仙台漂流人口書
 9.漂民紀事・幸太夫口語筆受被・北様略
 聞〔2集〕13.幸太夫帰朝記(3種)
 17.北海漂民見聞録〔4集〕32.魯西亜国
 漂流記
206. 唐泊浦孫三郎口書 からどまりうらまごさ
 ぶろうくちがき 1冊 ㊦国会(漂流記
 叢書26) *筑前伊勢丸の漂流
207. 唐泊孫七漂海話 からどまりまごしちびょ
 うかいばなし 1冊 ㊦明和7 ㊦竹柏
208. 唐泊孫七漂流物語 1冊 ㊦九大
209. 唐泊孫七漂話 1冊 ㊦宝暦12 ㊦宮書
 *筑前唐泊水手漂流一件
210. 寛永韃 漂流記 かんえいだったんひょう
 りゅうき 1冊 ㊦無窮神習 *正保元
 年(1644)越前三国の藤左衛門持船三隻
 に58名が分乗
211. 寛永漂民記 4巻1冊 ㊦天理 ㊦稀書複
 製会新生期
212. 環海異聞 15巻首1巻16冊 ㊦大槻茂實
 (磐水)問・津太夫等答・志村弘強(石
 浜)記 ㊦文化4 ㊦国会(7冊)(漂
 流記叢書51)・内閣(10冊)(6冊)
 (3部)・静嘉(6冊)(3冊)(筆熊

手13-15)・東洋岩崎・宮書(手島惟敏写9冊)(8冊)・東博(文政2鳥居平八郎写4冊)(天保11写5冊)・岡山大池田(6冊)・九大(9巻9冊)(16冊)(7冊)(3巻3冊)・京大(16冊)・(15冊)(7冊)(3冊)・京大富士川(巻1・6・7・9・11)・教大(9冊)・慶大(5冊)・慶大富士川(10冊)・神戸大(16冊)(8冊)・国学院(13巻17冊)(8巻8冊)・早大(2部)・東大(16冊)(8巻8冊)・東北大狩野・北大・名大皇学・秋田・大阪府(首巻・巻5・13-15欠、10冊)(8冊)(1冊)・京都府(巻1・8欠、11冊)・道庁(15冊)・長崎(6冊)(2冊)・日比谷加賀(文化4写5巻6冊)・日比谷近藤(6冊)・日比谷東京・宮城(5冊)・宮城伊達・浅野(17冊)・岩瀬(10冊)・刈谷(4冊)・長崎博・函館(5冊)・蓬左(8冊)(3冊)・鳥取字倍神社・大橋(3冊)・彰考(欠本、1冊)・尊経(6冊)・竜野(文化4写6冊)・成田(2冊)・阪急池田(14冊)・旧佐倉中・旧三井本居・仙台伊達家・延岡内藤家(7冊)・荻毛利家・京外大(4冊)(5冊)(10冊)・同志社(16冊)(8冊)(3冊) ㊦校訂漂流奇談全集(続帝国文庫)・南蛮紀文選・北門叢書4・環海異聞 石井研堂校訂 叢文社 昭51・南蛮稀聞帳

213. 環海異聞(大槻茂質問) ㊦静嘉(「漂客記聞」、15巻7冊)・香川大神原(16巻10冊)(巻1欠、15冊)・東北大狩野(「漂客記聞」、巻1-4・首巻、2冊)・竜谷(15巻4冊)・岩手(「漂客記聞」、1冊)・岡山県(嘉永7写5冊)・道庁(「漂客記聞」、15巻5冊)・足利(「環海紀聞」、弘化2北爪尚卿・長谷川宗一写15巻9冊)(「環海紀聞」、異本、10巻5冊)・豊橋(15巻4冊)

214. 寛政九年漂流并無人嶋より帰着之次第 かんせいくねんひょうりゅうならびにむじんとよりきちやくのしだい 1冊 ㊦金沢市加越能 *寛政元年(1790)薩摩藩領志布志の中山三左衛門持船 住吉丸(16反帆)無人島へ漂着

215. 寛政九年巳十月能州鳳至郡鹿磯村市之丞加州石川郡大野村長之丞無人島漂着一件 かんせいくねんみのじゅうがつのうしゅうふげしぐんかいそむらいちのじょうかしゅういしかわぐんおおのむらちょうのじょうむじんとうひょうちやくいっけん 1冊 ㊦旧浅野

216. 寛政九年無人島江漂流之者於八丈島口書 かんせいくねんむじんとうへひょうりゅうのもののはちじょうじまにおけるこうしよ 1冊 ㊦金沢市加越能

217. 寛政九年無人島ヨリ帰着之次第并口書之写 →無人島ヨリ帰着之次第并口書之写

218. 寛政五癸丑年九月十八日漂民上覧之記 かんせいごさちゅうのとしくがつじゅうはちにちひょうみんじょうらんのかき 1冊 ㊦同志社

219. 寛政五癸丑年漂民御覧之記 かんせいごさちゅうのとしひょうみんごらんのかき 1冊 ㊦慶大

220. 寛政五年勢州漂民問答 1冊 ㊦京大富士川(世界諸国方角遠近捷見と合)

221. 寛政四子年十一月松前表赤人一件 →赤人一件

222. 寛政四子年漂流人幸太夫その外松前表へ帰着一件 かんせいしねのとしひょうりゅうにんこうだゆうそのほかまつまえおも

- てへきちゃくいっけん ㊦桂川甫周(国瑞) ㊦国会(春雨楼叢書の内)
223. 寛政四壬子年ムスコヘヤの都ヲロシヤより送り来る漂流人伊勢白子船頭幸太夫江附添来候医師米田元丹咄留書 かんせいしじんしのとし・・・ ㊦天理〔徳川史料〕第12冊)
224. 寛政四年壬子伊勢白子船神昌丸漂流記
→伊勢白子船神昌丸漂流記
225. 寛政漂流話 かんせいひょうりゅうばなし 1冊 ㊦九大
226. 寒沢秘説 1冊 ㊦松平定信 ㊦東大史料(松平定晴蔵本写)・桑名松平家 *文化元年(1804)にロシアから帰還した奥州船若宮丸水主津太夫の説話
227. 広東 かんとん ㊦岡部三左衛門 *日本漂流書目による
228. 広東船漂流実録 1冊 ㊦元貞 ㊦寛政8 ㊦中山久四郎
229. 広東漂流記 1冊 ㊦内閣(正徳元-4)〔「広東漂着日本人帰国之記」、正徳元-4)・東大史料(正徳2)・日比谷近藤(チフラン漂流人略話記と合)・中山久四郎
230. 広東漂流記 1冊 ㊦吉田左太夫 ㊦正徳3 ㊦日比谷近藤(大正15写)・宮城
231. 広東へ漂流覚書 1冊 ㊦国会(春雨楼叢書の内)・東北大狩野 ㊦近世漂流記集 荒川秀俊編 法政大学出版局 1969
*正徳元年(1711)筑後国有馬玄番の御城米を積んだ船が漂流したもの 主人公は久留米の岡野三左衛門

232. 広東物語 1冊 ㊦国会(巻5、漂流記叢書6附録)・東北大狩野〔「広東国へ漂着船帰朝物語」、弘化3写)・日比谷近藤(明和4写)
233. 観音丸呂宋漂流記 かのんまるるそんひょうりゅうき ㊦異国漂流奇譚集 石井研堂編 昭2 *天保12年(1841)奥州伊達の観音丸(又は観吉丸)(500石積)の漂流
234. 寛文十三年伊勢松坂七郎兵衛等蝦夷漂流一件 →伊勢松坂七郎兵衛等蝦夷漂流一件
235. 寛文十三年韃旦国漂流記 かんぶんじゅうさんねんだつたんこくひょうりゅうき 1冊 ㊦岡田伊三次郎 *文明移入に関する古書展覧会目録による
236. 寛文漂流バタン国物語 →バタン国物語
237. 寛文無人島漂流記 →無人島漂流記

き

238. 紀伊国日高郡園浦天寿丸虎吉船亜墨利加漂流記聞 →亜墨利加漂流記聞
239. 紀伊国漂流民一件書類 きいのくにひょうりゅうみんいっけんしゅるい 2冊 ㊦京大(大正元井上善助蔵本写)
240. 奇観録 1冊 ㊦亀井南冥訳 ㊦寛政6 ㊦国会(漂流記叢書39)(漱芳閣叢書料25)・宮書(留取丹心を付す)・京大(中鏡の付)・早大(自筆) ㊦九大医報10の3 *桂川甫周「漂民御覧之記」の漢訳
241. 岸本浦長平漂流記 きしものうらちょうへいひょうりゅうき 1冊 ㊦岸本浦長

平無人島へ漂流之記・土州香我美郡岸本
浦長平天明五年巳正月晦日出船以来漂流
記 ㊦天明5 ㊦国会(土佐国群書類従
漂流)・内閣(同上)・京大(同上)・
東大史料(同上)・高知(同上) ㊦史
籍集覧 史料叢書

242. 岸本浦長平無人島江漂流して帰る事跡 ㊦
国会(御見聞録 中) ㊦日本庶民生活
史料集成 5巻 漂流: 無人島漂流記
宮本常一等編 三一書房 1968
243. 紀州口熊野漂流断 1冊 ㊦渡辺千秋 ㊦
日本庶民生活史料集成 5巻 漂流 宮
本常一等編 三一書房 1968
244. 紀州人福州漂流記 1冊 ㊦京大 * 住徳
丸福州漂流記と同内容
245. 紀州船一葉丸漂流一件覚 きしゅうせんい
ちようまるひょうりゅういつけんおぼえ
1冊 ㊦安永8 ㊦国会(漂流記叢書29)
246. 紀州善助渡米録 3冊 ㊦那波希顔 ㊦弘
化元 ㊦岡田伊三次郎 * 文明移入に関す
る古書展覧会目録による・永住丸漂流記
247. 紀州善助米利幹漂流記 きしゅうぜんすけ
めりけんひょうりゅうき 1冊 ㊦岡田
伊三次郎 * 文明移入に関する古書展覧
会目録による
248. 紀州船米国漂流記 ㊦校訂漂流奇談全集
(統帝国文庫)
249. 紀州蘭浦漂流記 きしゅうそのうらひょう
りゅうき 1冊 ㊦能勢矩政 ㊦東博
(嘉永5写) * 天寿丸漂流記
250. 紀州日高郡志賀屋伝蔵舟漂流人覚書 きし
ゅうひだかぐんしがやでんぞうふねひよ

うりゅうじんおぼえがき 1冊 ㊦安永
8 ㊦国会(漂流記叢書30)

251. 紀州漂着船被仰出書 きしゅうひょうちゃ
くせんおおせいたされしょ 1冊 ㊦神宮
252. 紀州漂民西班牙語学初歩 きしゅうひょう
みんいすばにやごがくしょほ 1冊 ㊦
井上善助編 ㊦京大(大正元写)
253. 紀州漂民西班牙綴字書 きしゅうひょうみ
んいすばにやつづりじしょ 1冊 ㊦外
国語 ㊦井上善助編 ㊦京大(大正元写)
254. 紀州漂流人西洋諸国之聞書 きしゅうひょ
うりゅうじんせいようしよこくのきさが
き 1冊 ㊦京大
255. 北亜墨利加人漂流口書 きたあめりかじん
ひょうりゅうくちがき 1冊 ㊦弘化4
㊦長崎
256. 北亜墨利加船応接記漂流人護送 ㊦近世漂
流記集 荒川秀俊編 法政大学出版局
1969
257. 北亜墨利加渡船次第 きたあめりかとはく
しだい ㊦国会(漂流記叢書70)
258. 儀兵衛漂流記 1冊 ㊦津軽船頭 ㊦学士
院 * 寛政7年(1795)津軽の徳永丸
(百石積)船頭儀兵衛と水主5名馬丹島
へ漂着 カガヤン・マニラ・マカオ・広
東・乍浦から長崎へ帰った
259. 紀民漂流記 2冊 ㊦高知
260. 紀民漂流記事 2巻2冊 ㊦水栗竜秀 ㊦
嘉永2 ㊦内閣
261. 九助並弥市漂流記 きゅうすけならびにや

- いちひょうりゅうき 1冊 ㊦嘉永5
㊦岩瀬
262. 牛泉秘説 1冊 ㊦東大史料・桑名松平家
* ペトロパウロフスクから脱走して文化
3年(1806)にエトロフ島のシベトロ番屋
に着いた奥州船慶祥丸沖船頭継右衛門ら
の申立記事
263. 享保十三戌申年中天竺之内馬丹嶋江流れ候
水主口書 きょうほじゅうさんじゅつし
んのとしちゅうてんじくのうちはたんじ
まえながれそうろうかここうしょ 1冊
㊦国会(漂流叢書4)
264. 享保年間難船漂流人口書写 其他 きょう
ほうねんかんたんせんひょうりゅうにん
こうしょうつし 1冊 ㊦早大
265. 享和三年癸亥漂流台灣チョプラン嶋之記
きょうわさんねんきがいひょうりゅうた
いわんちよふらんとおのき 台北 台灣叢
書会 昭和14 82.8, 17p 図15(愛
書 第12輯) * 順吉丸(船頭文助)漂流記
266. 漁夫漂流始末記 1冊 ㊦岩瀬
267. 近世漂流記事 荒川秀俊編 法政大学出版
局 1969 468p 19cm * 韃靼・大明・
朝鮮・順歴誌・広東へ漂流覚書・南部人
漂流記・宝暦漂流物語 全・漂流譚 全・
華夷九年録 全・魯西亞國漂流民記・満
次郎漂流記・初太郎漂流記・漂流船聴書・
彦蔵漂流記(木版本)・無人しまへ漂着
之もの吟味書・巴旦人漂流記・北亞墨利
加船応接記漂流人護送・上海航記
268. 近世漂流談 1冊 ㊦神宮(嘉永6写)
269. 金蔵ヲロシヤ行 1冊 ㊦文化11 ㊦宮書
* 金蔵書上
270. 於クナシリ仙台石巻漂流船之砌御用状案文
写 くなしりにおけるせんたいいしのま
きひょうりゅうせんのみきりごようじょ
うあんぶんうつし 1冊 ㊦天保5年
㊦函館
271. 久保義兵衛漂流記 1冊 ㊦寛政7 ㊦天
理古義堂(「松前箱館名前之船徳永丸船頭
久保義兵衛漂流記」・伊藤東里写)
- け
272. 藝州善松北米漂流譚 ㊦異国漂流奇譚集
石井研堂編 福永書店 昭2
273. 源左衛門唐土漂流記 1冊 ㊦異国江漂着
仕候船頭水主口上・漂流雑話 ㊦元禄5
㊦内閣
274. 献上之御時規由来並用法之覚 →時規物語
275. 元和漂流記 ㊦異国漂流奇譚集 石井研堂
編 福永書店 昭2
276. 元文四年遠州荒井宿甚八等申上 →無人島
漂着記
277. 元文四年無人島漂着船頭水主口書写 →無
人島漂着船頭水主口書写
278. 元文四無人嶋ヨリ帰来セル遠州荒井之者
尋問記 1冊 ㊦国会(漂流叢書7)
- こ
279. 弘化乙巳漂民日記 こうかいつしひょうみ
んにっき 1冊 ㊦宇田川興斎 ㊦弘化
3 ㊦東大史料 * 弘化2 →乙巳漂客
紀聞 いつしひょうかくきぶん
280. 弘化元年天野屋手船幸宝丸漂流一件聞書

→幸宝丸漂流一件聞書

281. 弘化新聞亜墨船事状 → 亜墨船事状

282. 弘化丙午海外異話 こうかへいごかいがい
いわ 1冊 ㊦鹿大

283. 幸大夫 1冊 (俄羅斯紀聞1集 第9巻)
早大

284. 幸大夫磯吉俄羅斯漂着記 こうだゆういそ
きちおろしゃひょうちゃくき ㊦東北大
狩野 (船頭小平治台湾漂流記と合1冊)

285. 幸太夫磯吉御覧記 こうだゆういそきち
らんき 1冊 ㊦岡田伊三次郎 * 文明
移入に関する古書展覧会目録による

286. 幸太夫磯吉神昌丸漂流并帰国記 → 神昌丸
漂流并帰国記

287. 幸太夫磯吉引替 ㊦国会 (不忍叢書2)

288. 幸太夫磯吉漂泊物語 1冊 ㊦実録 ㊦国
会 (漂流記叢書43)

289. 幸太夫磯吉吹流レ候一件 1冊 ㊦漂民幸
太夫磯吉帰国紀事 ㊦中里仲舒 ㊦内閣
* 天明2 - 寛政4

290. 幸太夫帰朝記 1冊 ㊦幸太夫帰朝之記
㊦早大 (3種、俄羅斯紀聞2集第3巻の
内) ・蓬左

291. 幸太夫口語筆受被 こうだゆうこうごひつ
じゅひ 1冊 ㊦幸太夫口語筆受 ㊦川
口三省 ㊦早大 (俄羅斯紀聞の内) ・旧
彰考 (寛政5、漂民御覧記・北槎略聞と
合)

292. 幸大夫上覧記 ㊦宮書 (片玉集100)

293. 光太夫説話露国事情一斑 1冊 * 明治文
献目録による

294. 幸太夫船一件写 こうだゆうせんいっけん
うつし 1冊 ㊦国会 (漂流記叢書40)

295. 幸太夫大全 1冊 ㊦東北大 (文化5写)

296. 幸太夫談話 1冊 ㊦国会・内閣 (北辺紀
聞7)

297. 幸太夫日記 1冊 ㊦寛政3 ㊦林若吉
* 露文、嘉永以前西洋輸入品及参考品目
録による

298. 幸太夫に付添松前より来る米田元丹といふ
医師物語 ㊦宮書 (片玉集100)

299. 光太夫話 こうだゆうばなし 1冊 ㊦九
大 * 伊勢大黒屋光太夫天明2年漂流譚

300. 幸太夫漂流記 1冊 ㊦岡田伊三次郎 *
文明移入に関する古書展覧会目録による

301. 幸太夫漂流談 1冊 ㊦慶大・宮城 * 魯
西亜漂流記 → 漂流記

302. 光太夫物語 1冊 ㊦早大 (俄羅斯紀聞1
集第3巻の内)

303. 幸太夫物語 1冊 ㊦東北大狩野 (狩野亨
吉写)

304. 幸太夫物語 1巻 ㊦宝永8刊 * 選訳古
書解題による

305. 幸太夫問答 → 漂民御覧之記

306. 幸大夫を送来る阿魯西亜人松前侯え差出候
書の写 こうだゆうをおくりきたるおろ
しあじんまつまえこうへさしいだしそ
うしょうのうつし ㊦宮書(片玉集100)

307. 校訂漂流奇談全集 石井研堂校訂 東京
博文館 明治33.7 1000p 20cm (統
帝国文庫 第22編) * 近世漂流年表・
韃靼漂流記・台州漂客記事・阿州船無人
島漂流記・日州船漂落紀事・番人打破船・
馬丹島漂流記・遠州船無人島物語・竹内
徳兵衛魯國漂流談・志州船台湾漂着話・
吹流天竺物語・南海紀聞・安南國漂流物
語・奥州人安南國漂流記・薩州人唐國漂
流記・神昌丸魯國漂流始末・鳥島物語・
無人島談話・漂流日記・無人島漂流口書・
松米丸魯國漂流記・環海異聞・南漂記・青
森港儀兵衛漂流始末口書・松前人韃靼漂
流記・漂客加察哈出奔記・督乘丸魯國漂
流記・永寿丸魯國漂流記・文化十三丙子薩
州漂客見聞録・ペラホ物語・漂客寿三郎
手簡・亜墨新話・漂客談奇・紀州船米國
漂流記・附録：海外異聞・山田仁左衛門
渡唐録・天竺徳兵衛物語・ジャガタラ文・
阿蘭陀文

308. 江南商話 ㊦戸部徳進(春行) ㊦文化5
㊦国会(1冊)(土佐国群書類従 漂流)・
内閣(同上)・京大(同上)・東大史料
(同上)・高知(同上)

309. 江南船浦戸沖漂着記 1冊 ㊦東博(文政
10写)

310. 幸宝丸漂流一件聞書 1冊 ㊦弘化元年天
野屋手船 ㊦国会(漂流記叢書84)

311. 幸宝丸漂流記 ㊦異国漂流奇譚集 石井研
堂編 福永書店 昭和2

312. 吳国江漂流仕候奥州之者七人口書
→漂流口状

313. 児島郡日比村者朝鮮漂着留 こじまぐんひ
びむらのものちょうせんひょうちゃくと
め 1冊 ㊦岡山大池田

314. 児島郡松太郎漂流記 1冊 ㊦岡山県(文
化11写)

315. 孤嶋漂流記 1冊 ㊦高知(寛政10写)

316. 御領国之船唐漂着之儀付締方 ごりょうこ
くのふねからへひょうちゃくのぎにつき
しまりかた 1冊 ㊦沖繩

317. 金毘羅利生物語 →漂海記

さ

318. 坐臥記 さがき ㊦桃西河 ㊦出雲文庫 1
* 大阪北堀江の備前屋亀次郎にチャータ
ーされた肥前寺江村の金右衛門船の水主、
出雲国島根県三保関の住人米屋喜助伴清
蔵が天明7年(1787)に鳥島に漂着した
ときの漂流記

319. 薩州税所長左衛門漂流一件 さっしゅうさ
いしよちょうざえもんひょうりゅういつ
けん 1冊 ㊦文化12 ㊦内閣(今村源
右衛門日記抄等を付す)

320. 薩州人唐国漂流記 1冊 ㊦安永漂流紀聞・
長崎御役所口書扣薩州人唐土漂着一条
㊦安永3 ㊦国会(漂流叢書1)・京大
(海外異聞の内)・無窮神習(安永漂流
紀聞) ㊦校訂漂流奇談全集(統帝国文
庫)

321. 薩州人漂流 →薩人漂流記

322. 薩州人漂流記事 1冊 ㊦文化13 ㊧旧彰考
323. 薩州船清国漂着談 ㊨異国漂流奇譚集 石井研堂 福永書店 昭和2 *元文6年(1741)薩州船(19反帆)沖船頭伝兵衛と水主19名、琉球からの帰途中米島より漂流、舟山列島の一小島へ漂着
324. 薩州漂客見聞録 1冊 ㊩文化十三 丙子歳薩州漂客見聞録(原)・薩州漂客聞見録 ㊦文化13 ㊧国会(漂流叢書13)・内閣(外国紀聞8・9)・静嘉・早大 ㊨校訂漂流奇談全集(統帝国文庫) *文化12年(1815)薩摩伊勢田丸(690石積、23反帆)沖船頭宅右衛門、上乗り藩士3名と従者9名、大島人8名及び水主25名、併せて46名大島から鹿児島へ向う途中、大島沖から流され広東の碣石鎮へ漂着
325. 薩州ヨリ送越候無人島漂流日本人一件 さつしゅうよりおくりこしそうろうむじんとうひょうりゅうにほんじんいつけん 1冊 ㊧東大史料・長崎
326. 薩人唐国漂着申口書付 さつじんとうこくひょうちゃくもうすくちがきつけ 1冊 ㊧東大本居 *文化12・13
327. 薩人漂海記 ㊧佐和幸斎 ㊨早大(華谷叢書1集)
328. 薩人漂流記 ㊨文化 ㊩薩州人漂流 ㊧内閣(1冊)・官書(1冊)・桑名松平家(「薩州人漂流」5冊)・鹿児島玉里(「様子書」1冊)(「口書」1冊) *文化12、13
329. 薩南国喜三右衛門船尾張国長右衛門船年月同時漂流記 →永寿丸漂流記
330. 薩摩大島漂流人一件 1冊 ㊧東大本居
331. 薩摩国喜三右衛門船尾張国長右衛門船年月同時漂流記 さつまのくにきざえもんぶねおわりのくにちょうえもんぶねねんげつどうじひょうりゅうき →永寿丸漂流記 えいじゅまるひょうりゅうき
332. 薩摩国喜三左衛門船漂流記 付尾張国長右衛門船漂流記 ㊧国会 *薩州永寿丸漂流記
333. 薩摩国種ヶ島漂流 ㊧九大(中山国奉書・渡天・八丈島漂流・唐国広東漂流・朝鮮国奉書と合1冊)
334. 薩摩国与吉其外者共朝鮮へ漂流致シ定法ノ送方ニ不相成乗戻長門宇津港へ漂流一件 さつまのくによさちそのほかのものどもちょうせんへひょうりゅういたししょうほうのおくりかたにあいならずのりもどしながとうつみなとへひょうりゅういつけん 1冊 ㊧長崎奉行所 ㊨長崎
335. 薩摩藩両士漂流口書 1冊 ㊧国会(漂流叢書1)
336. 薩摩漂流記 1冊 ㊧旧彰考(安永写)
337. 薩摩ヨリ送越所無人島漂流日本人一件 さつまよりおくりこすところのむじんとうひょうりゅうにほんじんいつけん 1冊 ㊧長崎奉行所 ㊦嘉永4 ㊨長崎
338. 讃岐船頭漂流談 1冊 ㊧東北大狩野
339. 讃岐高松の百姓吉右衛門等漂流記 1巻 ㊧海外異聞の内
340. 参考漂流人始末聞書 さんこうひょうりゅうにんしまつきさがき 2巻 ㊨1巻2冊 ㊩参考漂客伝 ㊧小梁処士 ㊦天保12

㊦内閣・慶大富士川・神戸大・東大・東北大狩野（嘉永6写）・旧浅野・中浜博氏

341. 讃州船島脱航談 ㊦異国漂流奇譚集 石井研堂編 福永書店 昭2

342. 讃州船漂流記 さんしゅうぶねひょうりゅうき 1冊 ㊦京大（武道撫萃録 382）

343. 撒土微私漂流記 さんどびしひょうりゅうき 1冊 ㊦内閣（天保9写）・尊経閣
㊦北前船長者丸の漂流 高瀬重雄著 清水書院 1974 p209-216 * 越中富山の平兵衛等

344. 讃民漂到島図之説 さんみんひょうとうとうずのせつ 1冊 ㊦国多吉右衛門等
㊦官書（静幽堂叢書51）

し

345. 資治雑笈 ㊦欠本、5輯目録共94冊 蓬左本 * 1輯 南海紀聞（欠）・半田村重吉船長日記・2輯 亜墨竹枝・漂民日記・伯耆人漂流談・尾張人漂流記

346. 志州船台湾漂着話 ㊦宝暦七丑九月吹流候船人小平治口上書 ㊦宝暦9 ㊦校訂漂流奇談全集（続帝国文庫）

347. 志州船頭小平治漂流一件 ㊦内閣（「志州船頭小平次吹流一件」、諸家随筆10）・官書（諸家随筆10）・蓬左（同上）

348. 志州船頭漂泊記 1冊 ㊦宝暦七年 ㊦東大本居

349. 志州船頭漂流譚 ししゅうせんどうひょうりゅうだん 1冊 ㊦香川大神原（江戸

末期写）

350. 志州鳥羽小平次船漂泊物語 → 漂落紀聞

351. 志州鳥羽小平治船漂流之聞書 ㊦国会（漂流記叢書13）

352. 志州鳥羽小平治漂流記 ㊦官書（池底叢書 94）

353. 志州鳥羽船外国江吹流候一件 ㊦国会（弘化3写、漂流記叢書12）

354. 志州鳥羽船頭外国へ吹流し候一件 1冊
㊦宝暦7 ㊦九大

355. 志州鳥羽船頭帰国 ㊦国会（安政4写、漂流記叢書23）

356. 志州鳥羽船頭小平治難舟書付之写 ししゅうとばせんどうこへいじなんしゅうかきつけのうつし ㊦国会（漂流記叢書21）

357. 志州鳥羽船頭小平次難風吹流帰国之次第 ししゅうとばせんどうこへいじなんふうふきながしきこくのしだい ㊦国会（天明3写、漂流記叢書19）

358. 志州鳥羽船頭小平治漂流談 1冊 ㊦東北大狩野

359. 志州鳥羽船頭小平次吹流サレ外国所々咄之写 ししゅうとばせんどうこへいじふきながされがいくところどころはなしのうつし 1冊 ㊦日比谷近藤

360. 志州鳥羽船漂流顛末 1冊 ㊦東大

361. 志州鳥羽の船漂流物語 1冊 ㊦神戸大

362. 志州鳥羽之者吹流レ帰帆口上書 1冊
 ㊦大阪府(神息事劔の両刃ヲ片刃ニ制を付す)
363. 志州鳥羽漂流人聞書 ㊦宮書(椿亭叢書8)
364. 志州鳥羽布施田浦小平治船台湾国漂流記
 1冊 ㊦明和8 ㊦神戸大
365. 志州鳥羽布施田浦船頭小平次外国物語 1冊
 ㊦漂流外国紀談 ㊦同志社
366. 志州鳥羽布施田浦船頭小平治控 1冊 ㊦
 宝暦9 ㊦栗田
367. 志州鳥羽布施田浦漂民記 附 野作騒動聞書
 1冊 ㊦弘化3 ㊦日比谷近藤
368. 志州鳥羽布施村船頭吹流次第 ㊦宝暦七歳
 丑九月 ㊦国会(寛政9写、漂流記叢書16)「志州鳥羽流船目録」、漂流記叢書15)
369. 志州鳥羽流船記 1冊 ㊦宝暦12 ㊦三重
 県立図書館
370. 志州鳥羽流船留書 1冊 ㊦寛政8 ㊦九大
371. 志州鳥羽流船目録 →志州鳥羽布施村船頭
 吹流次第
372. 志州鳥羽領小平次外国咄し ししゅうとば
 りょうこへいじがいこくばなし ㊦吹流
 ㊦国会(漂流記叢書20)
373. 志州吹流船 ししゅうふきながしぶね 1冊
 ㊦日比谷東京 * 宝暦9—文政9
374. 志州布施田小平次流船物語 1冊 ㊦宝暦
 9 ㊦三重県立図書館
375. 志州布施村小平治帰国口上書 ししゅうふ
 せむらこへいじきこくこうじょうがき
 ㊦九大文化(常州多珂郡磯原村船頭左太
 夫安南漂流記等と合1冊)
376. 志州布施田村小平治舟唐へ流レ行ク次第
 ししゅうふせたむらこへいじふねからへ
 ながれゆくしだい ㊦国会(天明2写、
 漂流記叢書22)
377. 実録幸太夫磯吉漂泊物語 →幸太夫磯吉漂
 泊物語
378. 支那漂流記 2冊 ㊦同志社(海表異聞
 39—40) * 讃岐国塩飽牛嶋源左衛門船
 船頭水主14人
379. 支那漂流記 4冊 同志社(海表異聞41—
 44) * 仙台気仙沼村大嶋屋嘉兵衛船漂
 流之事
380. 志摩国難船にて唐より送り被返候口書 し
 まのくになんせんにてからよりおくりか
 えされそうろうくちがき 1冊 ㊦嘉永
 7 ㊦九大
381. 志摩国吹流船聞書写 しまのくにふきなが
 しぶねききがきうつし 1冊 ㊦金刀比
 羅(宝暦7写)
382. ジャガタラ文 じゃがたらぶみ ㊦長崎夜
 話艸の内 ㊦校訂漂流奇談全集(続帝国
 文庫)・婦人文庫文集名媛遺芳
383. 暹羅国漂流奇談 しゃむこくひょうりゅう
 きだん 1冊 ㊦内閣(文政11写) * 仁
 寿丸栄助等
384. 上海航記 ㊦近世漂流記集 荒川秀俊編
 法政大学出版局 1969

385. 重吉漂流記 岸尚洋新訳 海洋文学社 昭5

386. 従前之唐国外国等へ漂着イタシ候者共名前
じゅうぜんのとうごくがいこくとうへひ
ようちゃくいたしそうろうものどもなま
え 1冊 ㊦長崎 *貞享元一寛政

387. 〔順吉丸漂流記〕 1冊 ㊦内閣(享和2
至文化6写)

388. 松栄丸唐国漂流記 ㊦国会(鶯宿雑記の内)
㊦校訂漂流奇談全集(続帝国文庫)

389. 松歳丸遭難記 1冊 ㊦嘉永極月 ㊦河村
秀前 ㊦福島(昭和写)

390. 商船漂寄廣東記 1巻 ㊦高知(元文2写)

391. 正徳元年肥前国商船広東漂流一件 しょう
とくがねんひぜんのくにしょうせんか
んとんひょうりゅういつけん ㊦内閣
(漂流雑記3)

392. 清国漂流記 1冊 ㊦教大

393. 清国漂流図 3軸 ㊦森山貞次郎撰、西清
美等画 ㊦早大 *文化7薩藩長久丸

394. 清国福建省江漂流記 しんこくふっけんし
ょうへひょうりゅうき 1冊 ㊦宝暦元
㊦学書言志

395. 清国蘭邪浦漂着見聞記 しんこくらんじゃ
ほひょうちゃくけんもんき 1冊 ㊦京大

396. 神昌丸漂流記 1冊 ㊦国会(寛政11写、
漂流記叢書44)・京都府(安政2写)・
日比谷近藤(文化14伊藤信国写)

397. 神昌丸漂流一件 1冊 ㊦日比谷近藤

398. 神昌丸漂流記 1冊 ㊦天明2 ㊦国会・
内閣・竹柏・竜谷・同志社

399. 神昌丸漂流并帰国記 1冊 ㊦幸太夫磯吉
㊦国学院

400. 神昌丸漂流民記 1冊 ㊦金刀比羅

401. 神昌丸漂流問答 1冊 ㊦九大(文化5写)

402. 神昌丸魯国漂流始末 しんしょうまるろこ
くひょうりゅうしまつ ㊦校訂漂流奇談
全集(続帝国文庫)

403. 清太郎聞書(仮称) ㊦通航一覽統輯 巻
116 *「班節録」という書物からの採録

404. 辛丑異国漂流記 しんちゅういこくひょう
りゅうき ㊦通航一覽統輯 第3巻所収
*万次郎漂流記

405. 清朝沙汰 寛永二十年越前国新保村之者撻
狙国江参帰朝仕言上書 1冊 ㊦尊経

406. 神力丸一条 1冊 ㊦旧蓬左

407. 神力丸航海日誌 1冊 ㊦千賀信之 ㊦鶴
舞 ㊦神力丸航海日誌〔付文久三年尾張
藩用船航海記(翻刻)〕川合彦充(海事
史研究15 1970.10 136-161頁)

408. 神力丸馬丹漂流口書 ㊦異国漂流奇譚集
(石井研堂編 福永書店 昭和2)

409. 神力丸漂流一件 2冊 ㊦備前 ㊦国会
(漂流記叢書64)

410. 神力丸漂流記 1冊 ㊦享和3 ㊦大橋
㊦南部叢書10

す

411. 水府船頭安南漂着図 1冊 ㊦同志社(地図1枚もの53.5×54cm彩色入り) * 地図の左下に「水府船頭水主安南漂着記附図明和六年己巳秋七月八日従水府借之写」の肉筆あり、本書は常陸磯原(多賀郡)の弥八持船、姫宮丸(12反帆)の沖船頭佐源太と水主5名が安南に漂着したもの

せ

412. 勢州白子浦幸大夫帰国記 ㊦静嘉(他と合1冊)
413. 勢州白子漂民御覧問答記 せいしゅうしろこひょうみんごらんもんどうき 1冊
㊦勢州白子船光太夫記事(外) ㊦桂川国瑞(甫周)編 ㊦国会(漂流記叢書33)
414. 勢州白子神昌丸光太夫上乘水主拾五人漂流発端并ヲロシア国中往来道法記 1冊
㊦桂川甫周 ㊦京外大
415. 勢州白子神昌丸漂流一件 1巻 ㊦桂川甫周 ㊦京大(武道蕪萃録274)
416. 勢州白子神昌丸船船頭漂流記 1冊 ㊦三重県立図書館(寛政6写)
417. 勢州白子漂民御覧御回答記 せいしゅうしろこひょうみんごらんごかいとうき 2冊 ㊦岡田伊三次郎 * 文明移入に関する古書展覧会目録による
418. 勢州白子船光太夫記事 → 勢州白子漂民御覧問答記
419. 勢州白子船神昌丸漂流之記 1冊 ㊦国会

(漂流記叢書41)

420. 勢州白子船漂流書 せいしゅうしろこぶねひょうりゅうしょ 1冊 ㊦蓬左
421. 勢州白子村漂民言上之次第 ㊦大阪府(「魯西亜問記」、1冊)(斑狐問答集と合1冊)
422. 勢州船北海漂着記 ㊦異国漂流奇譚集(石井研堂 福永書店 昭和2) * 万治3年(1661)伊勢松阪船の船頭七兵衛と水主14名、エトロフ島へ漂着
423. 勢州難舟物語 1冊 ㊦京大 * 幸太夫・磯吉漂流記事
424. 勢州ノ者魯西亜江漂着帰国之漂民御覧之記 せいしゅうのものろしあへひょうちやくきこくのひょうみんごらんのき ㊦桂川甫周 ㊦内閣(外国通覧3)
425. 勢州松坂の船蝦夷島之漂着奥州船唐国之漂着(内) → 蝦夷嶋漂着
426. セイホレ江対話 せいほれえたいわ 1冊
㊦文久元 ㊦神戸大
427. 西洋亜西亜州之内魯西亜国船渡来始末并日本漂流人異国遍歴之話 → 魯西亜国船渡来始末并日本漂流人異国遍歴之話
428. 西洋漂流物語 * 日本漂流書目による
429. 浙江漂流帰帆(宝暦2年) ㊦異国漂流記集 荒川秀俊編 吉川弘文館 昭37
* 宝暦3年(1752)奥州仙台気仙沼から出港した13人乗の商船が舟山に漂着
430. 千石積栄寿丸沖船頭善助口書 1冊 ㊦京

外大

431. 善助自筆和漢対照漂流始末 1冊 * 日本漂流書目による
432. 善助初太郎漂流記 ㊦異国漂流記続集 5
通航一覽続輯漂流記選 荒川秀俊編 地
人書館 昭39
433. 善助漂流記 ㊦教大(3巻3冊)・岩瀬
(1冊)
434. 仙台御来船異邦江漂流録 せんだいごらい
せんいほうへひょうりゅうろく 1冊
㊦磯川 * 寛政5-文化3
435. 仙台左平津太夫漂流 3冊 ㊦同志社(海
表異聞 74~76)
436. 仙台船漂着唐山記 1冊 ㊦奥民唐土漂流
記 ㊦内閣 * 宝暦3・4
437. 仙台船ロシア漂流聞書 1冊 ㊦仙台船魯
西亜漂流聞書 ㊦茶図成實(文久3写)・
旧彰考
438. 仙台船魯西亜漂流書 せんだいせんろしあ
ひょうりゅうしょ 1冊 ㊦永井惣兵衛
編 ㊦明大(文化5写)
439. 仙台漂民從魯齊亜所贈之状 1冊 ㊦函館
(嶮谷叢説 函館本1)
440. 仙台漂流人口書 ㊦早大(俄羅斯紀聞1集
第5巻)
441. 船頭幸太夫歸郷始末 1冊 ㊦高知

そ

442. 増訂海外異聞 →海外異聞

443. 相馬十三夜丸広東漂流記 1冊 ㊦宝暦4
㊦福島(昭和写)
444. 続海外異聞 12巻12冊 ㊦大槻茂楨(盤里)
編 ㊦静嘉(巻2・11欠、10冊) * 存
巻は中山聘使録・漂南聞略・広東漂船様
記・聞槎白語・無人島談話二附録・無人
島談話・南島漂流記・異国漂流記・寧波
船筆記・北槎小録
445. 続環海異聞 7巻7冊 ㊦大槻茂楨(盤里)
㊦静嘉

た

446. 大幸雑話 2巻2冊 ㊦松平定信 ㊦桑名
松平家 * 神昌丸沖船頭大黒屋光太夫の
談話
447. 太黒屋幸太夫ロシア漂着一件聞書 1冊
㊦桂川甫周 ㊦長崎(寛政7写)
448. 台州漂客記事 ㊦校訂漂流奇談全集(続帝
国文庫)
449. 大日本土佐国漁師漂流記 だいにほんとき
のくにりょうしひょうりゅうき →満次
郎漂流記
450. 大念寺新村吉左衛門唐国漂着一件口書 だ
いねんじしんむらきちざえもんとうごく
ひょうちゃくいつけんくちがき ㊦加能
漂流譚 石川県図書館協会 昭13(加賀
能登郷土図書叢刊)
451. 大明漂流実記 だいまんひょうりゅうじつ
き 1冊 ㊦宝暦11 ㊦日比谷近藤(昭
和写)

452. 大湾国漂泊物語 たいわんこくひょうはく
ものがたり 1冊 ㊦吉右衛門等 ㊦東
北大狩野
453. 台湾漂流 1冊 ㊦同志社(海表異聞47)
* 宝暦7年9月志州船頭小平次船
454. 台湾漂流記 1冊 ㊦内閣 ㊦日本庶民生
活史料集成 5巻 漂流 三一書房 1968
* 船頭小平次等口供書、宝暦7-9
455. 高田屋嘉兵衛等漂流一件 1冊 ㊦文化9
㊦金沢市加越能
456. 高田屋嘉兵衛魯西亜国渡海記 1冊 ㊦京
都府(嘉永6写)
457. 竹内藤右衛門異国物語 1冊 ㊦龍谷(写
本を複写したもの) * 性海寺墓地内の
藤右衛門の写真2葉が巻頭と次頁に貼布
されている
458. 竹内徳兵衛魯国漂流談 ㊦校訂漂流奇談全
集(続帝国文庫)
459. 太三郎の記 1冊 ㊦同志社(海表異聞 77)
460. 韃靼茶話 だつじくちゃわ 2編2冊 ㊦日
比谷近藤 * 韃靼天竺へ漂着之者口上覚
461. 韃旦国江漂流新話 だつたんこくへひょう
りゅうしんわ 1冊 ㊦九大
462. 韃旦国漂流記 ㊦豊橋(他と合1冊)
463. 韃旦国漂流奇聞 1冊 ㊦京大(天竺徳兵
衛紀聞・庄の浦仙女物語・妖怪聞書を付
す)
464. 韃旦・大明・朝鮮・順歴誌 ㊦近世漂流記

集 荒川秀俊編 法政大学出版局 1969

465. 韃旦漂流記 斉藤清衛監修 清水文雄校註
春陽堂 昭和17 138p 図版 地図(新
文庫8) * 韃旦漂流記・馬丹島漂流記・
遠州船無人島物語・神昌丸魯国漂流始末・
じゃがたら文
466. 韃靼漂流記 1冊 ㊦韃靼物語 ㊦国田兵
右衛門・宇野与三次郎等 ㊦正保3 ㊦
国会(漂流叢書2)・宮書(新井白石写)
(「漂流記」)(静幽堂叢書51)・京大(「越
前国之者韃靼へ漂流ノ口上書」・享保2
写)・教大・早大・東北大狩野(「韃靼漂
流譚」)・宮城青柳・刈谷・日比野諸家(2
部) ㊦校訂漂流奇談全集(続帝国文庫)・
古老遺筆(明治元) * 寛永21年越前三
国浦竹内藤左衛門等漂流

467. 韃靼物語 → 韃靼漂流記

468. 伊達家書簡1通 ㊦高知 ㊦皆山集 45巻
所収 * 万次郎に英学を習いたい旨の土
佐山内家宛書簡

ち

469. 筑州唐泊浦孫七天竺語 ちくしゅうからど
まりうらまごしちてんじくかたり 1冊
㊦栗田 ㊦日本庶民生活史料集成 5巻
漂流 三一書房 1968
470. 筑人孫七漂海話 1冊 ㊦国会
471. 筑前唐泊浦水主孫七天竺異聞物語 → 天竺
異聞物語
472. 筑前国唐泊の孫七漂海話 1冊 ㊦同志社
473. 筑前国人呂宋福州漂着記 ちくぜんのかくに

びとるそんふくしゅうひょうちゃくき

1冊 ㊤京大(増訂海外異聞の内)

474. 筑前国漂流人一件之書 ちくぜんのかくにひ
よりゅうにんいっけんのしょ 1冊

㊤旧浅野

475. 筑前船漂流記 ちくぜんぶねひょうりゅう
き 1冊 ㊤岡田伊三次郎 * 文明移入
に関する古書展覧会目録による

476. 筑前孫太郎漂流記 1冊 ㊤明和年間 ㊤
旧彰考

477. 知多郡亀崎村七三郎漂流談 ㊤安政尾張人
漂流記 ㊤安政6 ㊤蓬左(資治雑笈2
輯)

478. チフラン漂流人略話 1冊 ㊤函館(嶮谷
叢書 函館本 2)

479. 中古叢書 ㊤国会(149冊 目録1冊)*
85・86: 呂宋国漂流人之記を収録

480. 中天竺之内馬丹嶋江漂流ノ舟水主共口書
→馬丹嶋漂流記

481. 中天竺馬丹国物語 元祿七漂流記 1冊
㊤宮内庁 * 六蔵・伝右衛門等

482. 中天竺馬丹物語 →馬丹嶋漂流記

483. 中天筑馬嶋江漂流記 1冊 ㊤彰考館(享
保4写)

484. 朝鮮物語 京都大学文学部国語国文学研究
室編 複製版: 京都 1970 * 樋旦漂流記

485. 長平書付写 ちょうへいかきつけうつし

1冊 ㊤土州 ㊤東大

486. 長平嶋物語 高知県香美郡岸本町青年団編
大正 15.2 49p 19cm

487. 長平漂流記 野村長平 高知県立中芸高校
昭39.2 65p 19枚 27cm

488. 長平無人島漂流絵図 1軸 ㊤高知

489. 長平物語 1冊 ㊤同志社

490. 塵浜漂流記 →異国物語

491. 塵浜村清兵衛ボタンへ漂着の次第口書
→異国物語

492. 陳世徳筆語船頭清蔵安南国物語 ちんせい
とくひつごせんどうきよぞうあんなんこ
くものがたり ㊤京大(増訂海外異聞の
内)

493. 珍説書漂流船記事 ちんせつしよひょうり
ゅうせんきじ 1冊 ㊤文久元辛酉年
㊤旧浅野

494. 椿亭叢書 31冊 ㊤宮書 長崎 * 第8冊:
志州烏羽漂流人聞書・吹流船話 第9冊:
山田仁左衛門略伝・漂民吉次郎覚書・漂
民長兵衛書上・魯西亞教諭信牌写・漂民
御覧之記・魯西亞漂流人談話聞書・西間
切大島間志村漂民名簿

つ

495. 通航一覧 350巻付録23巻凡例絵目2巻絵
図1帙 ㊤外交 ㊤林緯・宮崎成身等編
㊤嘉永6 ㊤内閣(稿本、322巻付録22
巻、有欠、続輯共414冊)(巻1-24、

続輯共26冊)・京大(巻25-272、有欠、141冊)・東大史料(186巻付録12巻、有欠)・日大(付録共9冊)・道庁(巻273-321、27冊) ㊦通航一覧(国書刊行会 明45 複製:清文堂 1967) *永禄9-文政8

496.通航一覧続輯 151巻付録26巻 ㊦外交 ㊦林輝・宮崎成身等編 ㊦内閣(稿本、142巻付録26巻、有欠、通航一覧と合414冊)(巻1-4、通航一覧と合26冊)(巻1-4、明治写1冊)・東博(有欠、68冊)・京大(巻8-44・47-63・81、46冊)・東大史料(142巻付録26巻、有欠)・道庁(巻84-103、10冊) ㊦通航一覧続輯(清文堂 昭43-48)

497.通信全覧 初編106巻総目2巻類輯目録1巻 英国来翰5巻・2編186巻総目2巻類輯目録1巻303冊 ㊦外交 ㊦慶応3 ㊦内閣(稿本)・東大史料(欠本、初編類輯24冊2編類輯41冊) *安政6-万延元 ㊦通信全覧(雄松堂書店 昭58)

498.続通信全覧 ㊦外務省外交史料館(編年之部505巻、類輯之部1366巻) ㊦続通信全覧 編年之部1~ 雄松堂出版 昭58~

499.津輕船御馳走談 ㊦異国漂流奇譚集 石井研堂編 福永書店 昭2 *宝暦6年(1756)津輕石崎村の沖船頭治右衛門と水主3名 朝鮮江原道の江陵の沿岸に漂着

500.津輕船頭儀兵衛漂流記 →儀兵衛漂流記

501.津太夫佐兵衛よりの聞書写 つだゆうさへえよりのきさがきうつし 1冊 ㊦国会 *寛政5オロシヤ国漂流記

て

502.天竺異聞物語 1冊 ㊦筑前唐泊浦水主孫七 ㊦東北大狩野

503.天竺渡海物語 1冊 ㊦天竺徳兵衛 ㊦国会(宝暦7写、水荃難類記の内)・国会亀田(「播州高砂浦船頭徳兵衛天竺渡海物がたり」)・学習院(雕虫居写本の内)・神戸大・横浜市大・宮城西小 ㊦日本文庫10

504.天竺徳兵衛覚書 1冊 ㊦岩瀬(天保3写)

505.天竺徳兵衛記 1冊 ㊦京大(寛保3写、自越前国到韃靼漂泊船書を付す)

506.天竺徳兵衛渡天海陸物語 1冊 ㊦京都府

507.天竺徳兵衛渡天之記 1冊 ㊦無窮神習

508.天竺徳兵衛渡天物語 ㊦京大(武道撫萃録382)

509.天竺徳兵衛筆記 1冊 ㊦東大

510.天竺徳兵衛漂流記 ㊦元文2 ㊦国会(松前出帆漂流話等と合1冊)

511.天竺徳兵衛物語 1冊 ㊦東北大狩野・京都府(武家法度・詩題と合)(1冊)・旧浅野

512.天竺渡天海陸物語 1冊 ㊦天理古義堂

513.天竺渡天物語 1冊 ㊦国会(漂流記叢書94)

514.天竺漂流記 1冊 ㊦天竺漂流珍物語集

㊦東北大狩野

515. 天竺漂流珍物語集 →天竺漂流記

516. 天竺物語 1冊 ㊦国会(延享4写、漂流記叢書95)(宝暦7写、漂流記叢書97)「高砂舟頭町徳兵衛天竺へ渡り候物語」、漂流記叢書96)(1冊)・静嘉・宮書(静幽堂叢書51)・学士院・東大本居(「海陸道法次第天竺物語」) ㊦古老遺筆(明治29)

517. 天寿丸漂流記 上・下巻1冊 ㊦龍谷 * 上巻は「天寿丸オロシア廻り漂流記」下巻は「天寿丸唐土廻り漂流記」「天寿丸漂客内佐蔵聞書附録(嘉永七年寅七月)」「長崎表江イギリス人御忠節御奉行衆江直々御達申上度との前口上写」からなる

518. 天寿丸漂流談 1冊 ㊦嘉永2 ㊦岡田伊三次郎 * 文明移入に関する古書展覧会目録による

519. 伝蔵五右衛門萬次郎亜墨利加漂流記 2巻2冊 ㊦龍谷

520. 天徳丸台湾漂流記(2篇) - 「漂民帰郷録」と「神嶋外浦要吉台湾漂流一件」(史料紹介) 石井謙治(海事史研究21号、昭48.10 p117-137)

521. 天徳丸漂流始末口写 附 漂流説語 てんとくまるひょうりゅうしまつくちうつし 1冊 ㊦早大

522. 天保三壬辰漂流記 てんぼうさんじんしんひょうりゅうき 1冊 ㊦宮書(手島惟敏写)*ハタン国漂流備前国人帰朝一件

523. 天保三年異国江漂流之口書 てんぼうさん

ねんいこくへひょうりゅうのくちがき

1冊 ㊦金沢市加越能

524. 天保三年卯四番唐船より送来候漂流人一件 てんぼうさんねんようばんとうせんよりおくりきたりそうろうひょうりゅうにん いっけん 1冊 ㊦鹿児島

525. 天保十一年異国江漂流之口書 てんぼうじゅういちねんいこくへひょうりゅうのくちがき 1冊 ㊦金沢市加越能

526. 天保十二年紀州牟婁郡善助阿波板野郡初太郎が丑年カリホルニヤに至りた紀事 ㊦東大史料(西海遺珠の内) * 摂津西宮の永住丸(1200石積)漂流記

527. 天保十年奥州気仙郡庄兵衛船漂流の書付 てんぼうじゅうねんおうしゅうけせんぐんしょうべえふねひょうりゅうのかきつけ ㊦東大史料(西海遺珠の内)

528. 天保辛丑漂流記事 てんぼしんちゅうひょうりゅうきじ →天保漂流記

529. 天保漂流記 1冊 ㊦天保辛丑漂流記事 ㊦大槻清崇 ㊦弘化2 ㊦長崎(2部)・旧彰考

530. 天保漂流記 1冊 ㊦九大(安政3写)

531. 天保漂流記海外異聞抄 1冊 ㊦霞湖漁叟 ㊦日比谷近藤(海外異聞考を付す) * 海外異聞抄出

532. 天明幸太夫磯古魯西亜漂流記 てんめいこうだゆういそきちろしあひょうりゅうき 1冊 ㊦無窮神習

533. 天明二年駿河沖ヨリ漂流寛政五年帰国漂人

口書 てんめいにねんするがおきよりひ
ょうりゅうかんせいごねんきこくひょう
じんくちがき 1冊 ㊦旧浅野

534. 天明年間漂流覚書 1冊 ㊦加茂村長五郎
権吉尋書 ㊦天明8 ㊦日比谷近藤

535. 天明年中漂流之記 1冊 ㊦蓬左

536. 天明漂民記録 1冊 ㊦寛政5 ㊦日比谷
東京

537. 天明漂流記 1冊 ㊦日比谷近藤 ㊦新た
に発見された天明漂流記—無人島漂流帰
着書—狩野鐘太郎(伝記10巻8号昭18・8
28—35頁)

と

538. 東帰異聞雑記 1冊 ㊦東大史料(東京都
酒井新次郎蔵本写)・同志社(安政2写)
* 天寿丸漂流記

539. 東航紀聞 10巻6冊 ㊦岩崎俊章編 ㊦国
会・国学院(嘉永4写6巻6冊)・鳳鳴
青山・成田(3冊) ㊦日本庶民生活史
料集成 5巻 漂流 宮本常一等編 三
一書房 1968 * 天保12善助・弥市メキ
シコ漂流記

540. 唐国広東漂流 とうごくかんとんひょうり
ゅう ㊦九大(薩摩国種ヶ島漂流等と合
1冊)

541. 唐国漂流記 1冊 ㊦同志社(天保13写)

542. 唐国漂流記 1冊 ㊦京大(宝暦14写、猪
飼氏旧蔵書 24帙)・宮城小西(安永7
写)

543. 唐国漂流帰客談 とうごくひょうりゅうき

かくだん 1冊 ㊦寛保2 * 明治文献
目録による

544. 唐国漂流帰国の次第 1冊 ㊦賀茂村権吉
長五良 ㊦国会(万延元写、漂流記叢書
47) * 天明7

545. 唐国漂流人口書 とうごくひょうりゅうに
んくちがき 1冊 ㊦鶴舞

546. 唐国福建省江漂着仕候奥州南部之者六人口
書 とうごくふっけんしょうへひょうち
ゃくつかまつりそうろうおうしゅうなん
ぶのものろくにんくちがき 1冊 ㊦漂
着者口書 ㊦宝暦元 ㊦国会(「唐国福建
省へ致漂着候奥州南部之者六人口書」、
漂流記叢書8)・内閣・学書言志(姫陽
陰語と合) * 寛延3年(1750)南部尾
崎白浜村の善之丞持船神力丸(16反帆)
の沖船頭又五郎と水主7名、岩城沖で漂
流、福州へ漂着

547. 唐国福建省漂着之口書 とうごくふっけん
しょうひょうちやくのくちがき ㊦内閣
(外国通覧5)

548. 唐国福建省江漂流記 とうごくふっけんし
ょうへひょうりゅうき 1冊 ㊦学書言志

549. 唐国福建省江漂流記問答 とうごくふっけ
んしょうへひょうりゅうきもんど ㊦
内閣(外国通覧5)

550. 唐国ヨリ送来候漂流人之儀ニ付書面 とう
ごくよりおくりきたりそうろうひょうり
ゅうにんのぎにつきしよめん 2冊 ㊦
文化13 ㊦内閣

551. 東西異聞 6巻6冊 ㊦一色広信(見竜)
問・菅生信胤記 ㊦安政2序 ㊦東大・
兵庫善福寺・茶凶成實(1冊)・龍谷(6

冊) * 栄力丸漂流記

552. 唐船八丈島漂流記 → 八丈島漂流記
553. 東轆漂談 2巻4冊 ㊟一色広信等 ㊟教大(稿本)・龍大 * 歡喜丸の漂流記
554. 唐土天竺へ渡海物語 1冊 ㊟香川大神原(宝永8加地昌繩写)
555. 唐土漂流記 1冊 ㊟宮城 * 浙江省漂流記・広東漂流記聞・轆靱漂流記・徳兵衛渡竺記を収む
556. 唐土漂流記 1冊 ㊟内閣 * 寛政7-11、寛政十一年末九月長崎ニ而御穿儀口上書・写・青森港儀兵衛等漂流始末口書を収む
557. 唐土漂流記 1冊 ㊟神宮(天保14写)
558. 唐土漂流之嚟 とうどひょうりゅうのはなし 1冊 ㊟金原文十 ㊟天保10 ㊟学書言志
559. 東備尻海浦船漂流記 とうびしりみのうらふねひょうりゅうき 1冊 ㊟東博(文政13写)
560. 東洋漂流記 → 土佐国船子洋流日記
561. 督乗丸船長日記 ㊟異国漂流奇譚集 石井研堂編 福永書店 昭2
562. 督乗丸魯国漂流記 1冊 ㊟漂客談話督乗丸長右衛門志摩国小平治 ㊟長右衛門・小平次 ㊟文化13 ㊟東北大(宝暦11写)岡田伊三次郎 ㊟校訂漂流奇談全集(続帝国文庫)
563. 徳兵衛天竺物語 1冊 ㊟国会(漂流叢書

3)

564. 徳兵衛物語 1冊 ㊟静嘉堂(文化4写)
565. 時計献上の漂民 ㊟異国漂流奇譚集 石井研堂編 福永書店 昭2
566. 時規物語 とけいものがたり ㊟献上之御時規由来並用法之覚 ㊟遠藤高環 ㊟嘉永2 ㊟宮書(明治写11冊)・金沢市加越能(時計函記を付す、26冊) ㊟日本庶民生活史料集成 5巻 漂流 宮本常一等編 三一書房 1968
567. 土佐国漁船漂流之記 ㊟国会(膺懲叢書2)
568. 土佐国群書類従 ㊟160巻拾遺70巻内7巻欠、総目録2冊共304冊 内閣本 *〔漂流〕77清水浦琉球船漂着聞書・難風流船物語 78八丈島漂渡記 79南京朱心如船漂着之記・土佐国船無人嶋漂流之記上・泉之波有手船記 80無人嶋漂流記 81土州香我美郡岸浦浦長平天明五年巳正月晦日出船以来漂流記・土州高岡郡福嶋浦福吉屋浅平漂流記 82下田日記 83江南商話・84松平土佐守小中入浜万次郎儀北亜墨利加在留中及見聞候始末相糺候趣申上候書付・漂民録・亜墨利加詞 85漂民紀事・漂海異聞
569. 土佐国中浜万次郎漂流記 1冊 ㊟教大
570. 土佐国幡多郡中の浜浦万次郎一代記 ㊟若江南風氏(小松島市) ㊟建依別(高知県警) 第5、7、8号所収
571. 土佐国幡多郡中ノ浜村漁人万次郎異国漂流之次第図書実録 とさのくにはたぐんなかのはまむらぎょじんまんじろういくひょうりゅうのしだいずしよじつろく 1冊 ㊟日比谷近藤

572. 土佐国人亜墨利加国江漂流記 とさのくに
びとあめりかこくへひょうりゅうき 1
冊 ㊦中浜万次郎 ㊦東北犬狩野(嘉永
7南麓社写)

573. 土佐国人漂流記 とさのくにびとひょうり
ゅうき 1冊 ㊦嘉永4 ㊦尊経

574. 土佐国漂流人申口聞書 ㊦高知・真覚寺(土
佐市宇佐) * 万次郎漂流記で、身元確
認調書など土佐での記録

575. 土佐国船子洋流日記 とさのくにふなこよ
うりゅうにつき 1冊 ㊦東洋漂流記
㊦神戸大

576. 土佐国船無人島漂流記 とさのくにぶねむ
じんとうひょうりゅうき 2巻 ㊦関重
家 ㊦宝暦9 ㊦国会(土佐国群書類従
漂流)・内閣(上巻、土佐国群書類従
漂流)・京大(土佐国群書類従 漂流)・
東大史料(同上)・高知(同上)

577. 土佐国万治郎異国物語 →異国物語

578. 土佐国万次郎漂流記 ㊦岩瀬(嘉永5写)
* 万次郎のアメリカ妻の記事あり

579. 土佐人漂流帰国ノ記 →漂流之記

580. 土佐船漂流記 * 日本漂流書目による

581. 土佐伝蔵漂流記 ㊦宮書(南陽叢書1)

582. 土佐中浜万次郎漂流記 1冊 ㊦九大

583. 土佐漂客談考 とさひょうかくだんこう
1冊 ㊦安政元 ㊦学習院

584. 土佐漂流人口書 とさひょうりゅうにんく

ちがき 1冊 ㊦国会(漂流記叢書69)

585. 土佐万次郎異国漂流次第図書実録
㊦日比谷

586. 土佐万次郎漂流記 1冊 ㊦岩瀬

587. 土州宇佐浦流者万次郎聞書 どしゅううさの
うらながれものまんじろうきさがき 1
冊 ㊦鈴鹿

588. 土州宇佐浦漁人北亜墨利加江漂流之記 1
冊 ㊦同志社 * 万次郎漂流記

589. 土州宇佐浦獵師漂流記 どしゅううさのう
らりょうしひょうりゅうき 1冊 ㊦東
大本居(カピタン封書和解写を付す)

590. 土州香我美郡岸本浦長平天明五年巳正月晦
日出船以来漂流記 どしゅううかがみぐん
きしものうらちょうへいてんめいごね
んみしょうがつみそかしゅっせんいらい
ひょうりゅうき →岸本浦長平漂流記

591. 土州漁夫亜墨利加漂流一件 ㊦田中滝治氏
(高知県南国市) * 万次郎漂流記で、
薩摩より幕府宛届出書 嘉永5年9月3
日御目付所宛記事等 32枚

592. 土州漁夫漂流記 3冊 ㊦神戸大 * 中浜
万次郎

593. 土州人中浜万次郎漂流記 ㊦日比谷近藤
(管見叢話1)

594. 土州人漂流記 1冊 ㊦国会(漂流記叢書
76)(「土州人漂流記」、嘉永6写、漂流
記叢書79)(宮塚叢書の内)・宮書(嘉
永5写)・田中滝治氏(嘉永6写)・岡
山大池田(異国へ漂流仕候陸奥国之者四

人口書等と合)

595. 土州船大阪船薩州船漂流譚 どしゅうせん
おおさかせんさっしゅうせんひょうりゅ
うだん 1冊 ㊦嘉永元 ㊦香川大神原
(佐藤霍舟写)
596. 土州船漂流紀聞 ㊦宮書(片玉集続集27)
597. 土州船無人島漂流譚 ㊦南海漂流譚 柴秀
夫編 双林社 昭18 *天明5年土州松
屋儀七船水主4人が鳥島に漂着 長平1
人生き残り、たまたま同島へ漂着した大
阪船、薩州船の乗組員と協力、船を造っ
て青ヶ島、八丈島を経て帰国
598. 土州高岡郡福島浦福吉屋浅平漂流記 どし
ゅうたかおかぐんふくしまのうらふくよ
しやあさへいひょうりゅうき →福島浦
浅平漂流記
599. 土州難船人帰朝記 どしゅうなんせんにな
きちょうき 1冊 ㊦嘉永5 ㊦米沢興讓
600. 土州幡多郡中浜万次郎漂流新聞書 どしゅ
うはたぐんなかはままんじろうひょうり
ゅうばなしききがき 1冊 ㊦嘉永7
㊦徳島
601. 土州漂流記 1冊 ㊦同志社 2部(嘉永
7写・荒本和一 昭16写) *万次郎漂
流記
602. 土州漂流人口書 どしゅうひょうりゅうに
んくちがき 1冊 ㊦嘉永4 ㊦米沢林
泉 *ジョン万次郎
603. 土州舟子万次郎異国江漂流之始末 どしゅ
うふなこまんじろういこくへひょうりゅ
うのしまつ 1冊 ㊦土州舟子万次郎漂

流始末 ㊦竹村修 ㊦天保12 ㊦内閣
(明治写)

604. 土州舟子万次郎漂流始末 →土州舟子万次
郎異国江漂流之始末
605. 土州万次郎亜墨利加漂流記 →亜墨利加漂
流記
606. 土州万次郎漂流記 1冊 ㊦静嘉(雑話を
付す)
607. 土州漁師帰朝記 1冊 ㊦山崎道生 ㊦国
会(漂流記叢書75)
608. 土人漂流異略記 1冊 ㊦礫川
609. 渡天 ㊦九大(薩摩国種ヶ島漂流等と合1
冊)
610. 鳥島物語 ㊦校訂漂流奇談全集(続帝国文
庫)

な

611. 長崎叢書 第5編 西道仙・安中半三郎校
長崎古文書出版会 明27 *長崎港艸
第7巻:日本人異国漂流雑記・漂流泊瀬
伝兵衛日録・奥州南部人漂流日録を含む
612. 長瀬村人取調書 1冊 ㊦姫路・田村家
(安政2写)
613. 長瀬邑人漂流記 前巻後巻及び漂民異聞
秘録 3巻1冊 ㊦奥多昌忠聞記 ㊦同
志社(安政2写) *「日本庶民生活史
料集成」所収の「長瀬村人漂流談」上中
下3巻と大部分同じで、「漂民異聞秘録」
は巻之中に相当する

614. 長瀬村人漂流談 →長瀬村利七漂流談
615. 長瀬村利七漂流談 ㊦長瀬村人漂流談 ㊦
奥多昌忠編 ㊦国会（明治写2巻1冊、
漂流記叢書88）・京大（安政2写2巻1
冊）（安政7写1冊）・早大（1冊）・
蓬左（「嘉永伯耆人漂流談」、3巻、資治雜
笈2輯）・奥多孫太郎（安政3写1冊）
㊦長瀬村利七漂流談 松岡貞信訳 鳥取
県東伯郡羽合町 1980（現代語訳した
もので解説あり）・日本庶民生活史料集
成 5巻 漂流 三一書房 1968 ㊦長
瀬村利七漂流談 谷田亀寿編 昭13 *
嘉永3 伯耆国人利七の志摩沖遭難記事
616. 中浜万次郎資料集 坂井昌夫編 高知放送
史談会 昭44.3 221p（放送史談会叢
書 第1集）
617. 中浜万次郎漂海記 1冊 ㊦内閣 *天保12
618. 中浜万治郎漂流紀事 1冊 ㊦内閣（明治
写） *天保12—嘉永4
619. 名古屋人漂流記 1冊 ㊦伊藤常足 ㊦天
理吉田
620. 南海紀聞 ㊦青木興勝（定遠） ㊦寛政4
序 ㊦国会（2巻1冊）・国会白井（天
保7写1冊）・内閣（2巻2冊）（明治
写1冊）・宮書（2巻2冊）・東博（抄、
1冊）・蓬左（1冊）・無窮神習（2巻
1冊） ㊦宮書・香川大神原・京大・教
大（巻1欠）・神戸大・東大・京都府・
日比谷加賀・福岡・岩瀬・栗田・茶因成
實 ㊦校訂漂流奇談全集（統帝国文庫）・
日本庶民生活史料集成 5巻 漂流 三一
書房 1968・異国漂流記統集 荒川秀俊
編 地人書館 昭39 *版本は5巻5冊
備前唐泊の伊勢丸船頭重右衛門水主孫太
郎等20人
621. 南海漂流譚 柴秀夫編 東京 双林社 昭
18 203p 図4 地図1 18.6cm *解
説・福建廈門寧波難風渡唐帰朝記・異国
漂流談・遠州船無人島漂流記・土州船無
人島漂流譚・孫太郎ボルネオ漂流談・安
南国漂流記・馬丹島漂流物語・近世漂流
年表
622. 南国奇話 1冊 ㊦勝之助 ㊦天保3 ㊦
京都府 ㊦海表叢書3 更生閣書店 昭
2、3 南蛮紅毛史料1 *神力丸馬丹
漂流口書
623. 難船一件 1冊 ㊦設楽八三郎 ㊦内閣
*弘化4—嘉永2
624. 難船記 2巻2冊 ㊦国学院
625. 難船記 2冊 ㊦峰斎泉密 ㊦東博（安政
2 青島彦一郎写）
626. 難船帰朝異国嶋物語 1冊 ㊦岩手 *パ
ラウ嶋漂流記の異本
627. 難船紀聞 1冊 ㊦大田草編 ㊦早大（手
稿本）
628. 難船記録 1冊 ㊦寛政6 ㊦九大文化
629. 難船取扱一件 1冊 ㊦九大文化
630. 難船取扱書 ㊦九大文化（御評定所日記等
と合1冊）
631. 難船取扱及船数録 なんせんとりさばきお
よびふなかずろく 1冊 ㊦多田六右衛
門 ㊦金沢市加越能
632. 難船人帰朝記事 ㊦嘉永5 ㊦九大（嘉永
7写1冊）（「難船人帰朝記」、安政3小
川某写1冊）・東大史料（1冊）・京都

府(「難船人帰朝記」、2冊)・高知(兼松文書の内)・高知市民図・深瀬昭氏・日比谷近藤(2巻2冊)・米沢興譚(3巻、下巻欠、1冊)・中浜博氏(難船人帰朝記、1冊)

633. 難船之節控 なんせんのせつひかえ 1冊
 ㊦明和元 ㊧神戸大

634. 難船秘書 1冊 ㊧内閣 *寛政12—文化2

635. 難船漂流人口書写 其他 なんせんひょうりゅうにんくちがきうつし 1冊 ㊦享保年間 ㊧早大

636. 難船物語聞書写 なんせんものがたりきがきうつし →尾州知多郡半田村重吉物語 びしゅうちたぐんはんだむらじゅうきちものがたり

637. 南島漂流記 1冊 ㊦天保10 ㊧静嘉(炎島履霜録を付す)

638. 南島漂流記 ㊧静嘉(続海外異聞の内)

639. 南蛮紀文選 三島才二校訂編纂 聚芳閣大15 *西洋紀聞(新井白石)・長崎夜話草(西川正休)・野叟独語(杉山人)・環海異聞(大槻茂質)・蘭説弁惑(有馬元晃)・亜墨新話(那波希顔)・曉窓追録(栗本 紉)

640. 南瓢記 5巻5冊 ㊦枝芳軒静之 ㊦寛政9序、同10刊 ㊧内閣(「南漂記」、1冊)・東北大(「南漂記」)・東北大狩野(1冊) ㊦国会(漂流記叢書3)(5巻1冊)・国会亀田・京大・教大・神戸大・早大・東北大狩野(巻5補写)・岡山県(「異国奇譚南瓢記」)・京都府・日比谷近藤・刈谷・栗田・同志社 ㊦校訂漂流奇談全集(続帝国文庫)・異国漂流記続集 荒川

秀俊編 地人書館 昭39

641. 難風にて中天竺ハタン島漂着者口書 なんぶうにてちゅうてんじくはたんとうひょうちやくしゃくちがき ㊧教大(燈下雜記20・21)

642. 難風流船物語 →八丈島瓢話

643. 南部釜石浦漁夫漂泊物語(内) →釜石漁夫漂流物語

644. 南部漁民漂流記 1冊 ㊧国会(漂流記叢書9)

645. 南部商船ホロムシリ島漂流記 1冊 ㊦南部領牛滝村福浦村慶祥丸ホロムシリ島江漂着ニ而エトロフ島シベトロ江渡来之一件・漂流人共口書写 ㊧内閣(2部)
 * 享和3—文化3

646. 南部人漂流記 ㊦近世漂流記集 荒川秀俊編 法政大学出版局 1969

647. 南部人福建府漂流記 1冊 ㊧国会・東大本居

648. 南部船浙江漂着録 なんぶせんせつこうひょうちやくろく ㊧宮書(片玉集99)

649. 南部叢書 南部叢書刊行会編 昭和2～6 11冊 *10: 無人島漂流物語・無力丸漂流記・パラウ漂流記・小友船漂流記・大阪船漂着記等を収録

650. 南部領牛滝村福浦村慶祥丸ホロムシリ島江漂着ニ而エトロフ島シベトロ江渡来之一件・漂流人共口書写 →南部商船ホロムシリ島漂流記

651. 南部流船一件 1冊 ㊧日比谷近藤

652. 南洋漂流記 1冊 ㊟東洋岩崎
653. 南洋無人島漂流記 1冊 ㊟栄右衛門等
㊟東北大狩野
654. 南洋無人嶋漂流記 ㊟寛成元 ㊟内閣（漂流記の内）

に

655. 二伊勢人の漂流聞書 1冊 ㊟国会（漂流叢書9）
656. 西間切大島間志村漂流民名簿 ㊟宮書（椿亭叢書9）・長崎（同上）
657. 日州志布志船漂流記 1冊 ㊟国会（漂流記叢書50） * 寛政元年栄左衛門漂流記
658. 日州船漂落記事 ㊟曾榮 ㊟校訂漂流奇談全集（続帝国文庫） * 元禄9年（1696）日向志布志の弥左衛門持船（15反帆）の冲船頭少左衛門と水主4名無人島へ漂流
659. 日本海防史料叢書 第5巻 住田正一編
海防史料刊行会 昭7 * 漂流記事を収録
660. 日本財政経済史料 巻之7 経済之部4
大蔵省編 財政経済学会 大正12.1
* 第2：外国通商 1 漂着船並漂流民
p885～932

661. 日本支那朝鮮各国人漂流及送還記録 1冊
㊟東博（江戸中期写）

662. 日本庶民生活史料集成 第5巻漂流 宮本
常一等編 東京 三一書房 1968 * 時
規物語（遠藤高環）・蕃談（古賀謹一郎）
東航紀聞（岩崎俊章）・紀州口熊野漂流
嘶（筆者不詳）・遠州船無人島物語（筆
者不詳）・無人島漂流記（筆者不詳）・

船長日記（池田寛親）・尾州大野村船漂
流一件（筆者不詳）・越前船漂流記（筆
者不詳）・呂宋国漂流記（大槻清崇）・
台湾漂流記（筆者不詳）・安南国漂流記
（筆者不詳）・東洋漂客談奇（吉田正登）
南海紀聞（青木定遠）・漂流天竺物語（筆
者不詳）・長瀬村人漂流談（奥田昌忠）・
漂流記（浜田彦蔵）・北槎聞略（桂川甫
周）・漂流註記：ロシアの東方進出と日
本の漂流民（中村喜和）・気象学からみ
た漂流記（倉嶋厚）・漂流船覚書（石井
謙治）・参考文献

663. 日本人異国漂流雑記 ㊟長崎叢書 第5編
西道仙・安中半三郎校 長崎古文書出版
会 明27

664. 日本人おらしや流れ行被助帰国之事 ㊟下
田市箕作・戸崎家蔵 * 伊豆の音吉の聞書

665. 日本人漂流之記 1冊 ㊟国会（漂流記叢
書80） * 万次郎漂流記

666. 日本人魯西亞国江漂流口書 にはんじんろ
しあこくへひょうりゅうくちがき ㊟文
化元 ㊟旧彰考（魯西亞使節之役人御答
書等と合1冊）

667. 日本漂流譚 石井民司編 東京 学齡館
明治26 2冊 国会（漂流記叢書2）

の

668. 能州羽咋郡麩浜村清兵衛異国漂流口書写
のうしゅうはくいぐんちりはまむらせい
べえいこくひょうりゅうくちがきうつし
1冊 ㊟国会 ㊟異国漂流記集 荒川秀
俊編 吉川弘文館 昭37 * 備前の神力
丸の乗組員14名のうち、能登の清兵衛の
口書

669. 能登国清兵衛異国江漂流之始末 のとのく
にせいべえいこくへひょうりゅうのしま
つ 1冊 ㊦九大

は

670. ハタン延宝書 ばたんえんぱうしょ 1冊
㊦延宝8 ㊦天理(文政2奇山写)
671. 馬丹記 1冊 ㊦東大史料(東京都関野貞
蔵本写)
672. 巴旦国漂流記 ばたんこくひょうりゅうき
1冊 ㊦神戸大(天保15写)
673. 波旦国漂流人覚書 ばたんこくひょうりゅ
うにんおぼえがき 1冊 ㊦九大(嘉永
2写)
674. 馬旦国母後須島漂流日記 ばたんこくほご
すとうひょうりゅうにっき 1冊 ㊦片
山栄蔵 ㊦岡山山池田 *天保元-3
675. バタン国物語 1冊 ㊦寛文漂流 ㊦国会
*ばたん物語・中天竺之内バタン国エ被
吹流人々三年目ニ致帰国口書写 →馬丹
島漂流記
676. 馬丹国物語 ばたんこくものがたり 1冊
㊦中天竺 ㊦六蔵・伝右衛門等 ㊦宮書
677. 巴丹人漂流記 ㊦近世漂流記集 荒川秀俊
編 法政大学出版局 1969
678. 巴旦島漂流記 2巻2冊 ㊦天保2 ㊦東
北大(天保11上野十之助写1冊)・東北
大狩野(天保13川上義孝写)・京都府(「巴
旦漂流実録」、天保3写1冊)・岩瀬(「巴
旦漂流記」、嘉永4山本錫夫写、亜墨利
加漂流口書・墨夷漂流記と合1冊)・長
崎博(「破旦漂流聞書」) *文政13漂流

679. 馬丹島漂流記 1冊 ㊦国会(「享保十三戊申
年中天竺之内馬丹嶋江流れ候水主口書」、
漂流叢書4)・(「中天竺馬丹物語」、寛政11
写、漂流記叢書7)・(「中天竺之内馬丹嶋
江漂流ノ舟水主共口書」、安政5写、漂流
記叢書6)・内閣(「中天竺馬丹島之記」、
寛政2・3写、漂流雜記1)・京大(「巴旦国
物語」)(増訂海外異聞の内)・東北大狩野
(「馬丹島漂流」、佐渡事略を付す)・(「中天
竺馬丹島漂流之記」、文政13写)・日大(「中
天竺馬丹嶋漂流記」)・磯川(「中天竺波丹
物語」)・旧彰考(「中天竺馬丹嶋江漂流記」)
㊦校訂漂流奇談全集(続帝国文庫)・南
海漂流譚 柴秀夫編 双林社 昭18
*尾張知多郡船頭孫左衛門等の漂流記
680. 巴旦漂流記 巴旦島漂流記を見よ
681. 八丈島記 ㊦高知(延享3谷写) *紀州
船窪津より清水へ向う途中足摺から流さ
れ八丈島へ漂着
682. 八丈島漂渡記 ㊦池則満 ㊦延享3 ㊦国
会(土佐国群書類従 漂流)・内閣(同上)・
京大(同上)・東大史料(同上)・高知
(同上)
683. 八丈嶋漂流 はちじょうじまひょうりゅう
㊦九大(薩摩国種ヶ島漂流等と合1冊)
684. 八丈島漂流覚書 3冊 ㊦慶大
685. 八丈島漂流記 1冊 ㊦唐船 ㊦宝暦3
㊦内閣(南京商船漂着房州記を付す)
686. 八丈島飄話 ㊦難風流船物語 ㊦国会(土
佐国群書類従 漂流)・内閣(同上)・京
大(同上)・東大史料(同上)・高知
(同上)
687. 八丈島難風漂流之記 1冊 ㊦東博(江戸

末期写)

688. 八多郡中浜万次郎噺聞書写 ㊦丸亀(嘉永5写)

689. 初太郎北亜米利加漂流記 1冊 ㊦岡田伊三次郎 * 文明移入に関する古書展覧会目録による

690. 初太郎漂流記 ㊦近世漂流記集 荒川秀俊編 法政大学出版局 1969・初太郎漂流記 河野太郎編 徳島県教育会出版部 1970 (初太郎漂流記の資料として「亜墨新話」・「長尾市太郎成立書並系図」・「亜墨竹枝」のほか「郷土人物誌の記述」「其後の永住丸漂流者の動向」を収めている)

691. 初太郎米国談 4冊 ㊦天保15序 ㊦神戸大

692. パラウ漂流記 1冊 ㊦文政9 ㊦岩手(「パラウ島漂流記」) ㊦南部叢書10・異国漂流記続集 荒川秀俊編 地人書館 昭39

693. 蕃国記 3巻3冊 ㊦龍谷 * 天寿丸漂流記

694. 播州人米国漂流始末 ㊦異国漂流奇譚集 石井研堂編 福永書店 昭和2
* 嘉永3年(1850)摂津の永力丸の沖船頭万蔵と水主16名、江戸を立てて紀州沖で漂流・アメリカ捕鯨船に洋上で救出、サンフランシスコへ

695. 播州高砂住異名天竺徳兵衛渡天物語〔薩州税所長右衛門漂流一件〕 1巻 ㊦高知(元文元写)

696. 播州高砂徳兵衛天竺物語 1冊 ㊦享保13 ㊦神戸 → 天竺渡海物語

697. 播州彦蔵漂流記 → 漂流記

698. 番人打破船 ㊦校訂漂流奇談全集(続帝国文庫) * 正徳2年、奥州の荒浜と相馬の乗組員8名、中国の南海地方に漂着

699. 蛮人漂着 ㊦寛政5 ㊦改定史籍集覧16
* 寛政5年露国より我漂流人を送り来れることを記す

700. 半田重吉漂流記 1冊 ㊦文化10 ㊦岩瀬

701. 半田村重吉船長日記 はんだむらじゅうさちふなおさにつき ㊦蓬左(資治雑笈1輯)

702. 蕃談 3巻3冊 ㊦別蕃譚 ㊦次郎吉述、古賀増編 ㊦内閣・東洋岩崎(編者自筆)・鹿兒島大玉里・九大(5冊)・京大・教大(撒土微私漂流記を付す、6冊)・神戸大・東大史料(6冊)・東北大狩野(3巻5冊)・京都府(6冊)・道庁・富山(3巻6冊)(3冊)・岩瀬(6冊)・蓬左・大橋・尊経・茶図成實(6冊)(1冊)・旧浅野 ㊦日本庶民生活史料集成 5巻漂流 宮本常一等編 三一書房 1968 * 天保9年(1838)越中富山の長者丸(650石積)の漂流記

703. 蕃譚 ばんだん → 蕃談

ひ

704. 彦蔵漂流記 → 漂流記

705. 肥後国漂民澳門ヨリ長崎へ送書翰 ひごのくにひょうみんまかおよりながさきへおくるしょかん 1冊 ㊦天保12 ㊦宮書(手島惟敏写)

706. 尾薩漂民私記 ㊦藤隆則 ㊦京大(嘉永3

- 写2冊）・函館(3冊)・旧彰考(1冊)
同志社(2冊)
707. 尾州大野村船漂流一件 1冊 ㊦池田昭
㊧日本庶民生活史料集成 5巻漂流 宮
本常一等編 三一書房 1968 *寛文8
年バタン島に漂着した権田孫左衛門船
708. 尾州知多郡半田村重吉物語 ㊦難船物語聞
書写(外) ㊧国会(文政11写、漂流記
叢書62) →半田重吉漂流記 →半田村
重吉船長日記
709. 秘説漂流録 5巻5冊 ㊧東北大狩野・日
比谷近藤 *漂流談奇・異国船浦賀渡来
一件を収む・全5冊のうち万次郎関係1.
2の34枚分
710. 美世利国漂泊録 びせりこくひょうはくろ
く 1冊 ㊧国会(漂流記叢書58) *寛
政5年奥州平之丞漂流記
711. 備前岡山広瀬町漂流記 1冊 ㊧正宗
712. 備前尻海村植三郎漂干朝鮮国記 びぜんし
りみむらつちさぶろうちようせんこくに
ただようのき 1冊 ㊧岡山市(享保元
写)
713. 備前神力丸漂流一件 →神力丸漂流一件
714. 備前難船記 1冊 ㊦金沢屋忠助 ㊧天保
元 ㊧正宗
715. 備前国尻海村五左衛門難船記 びぜんのく
にしりみむらござえもんなんせんき 1
冊 ㊧文政2 ㊧岡山市
716. 常陸川尻琉球船漂着記 ㊧彰考(薩摩宝島
異国船乱妨記と合1冊)
717. 備中船子徳兵衛漂流記 びっちゅうふなこ
とくべえひょうりゅうき 1冊 ㊧旧浅野
718. 漂海異聞 ㊦山崎道生 ㊧嘉永6 ㊧国会
(土佐国群書類従 漂流)・内閣(同上)・
京大(同上)・東大史料(同上)・高知
(同上)
719. 漂海記 1冊 ㊦金毘羅利生物語 ㊧日比
谷近藤
720. 漂海記 11冊 ㊧岡山市
721. 漂海紀聞 5巻5冊 ㊦川上親信編 ㊧鹿
児島大玉里 ㊧漂海紀聞一文化九・十三年
薩摩永寿丸、カムチャッカ漂流記一 木
崎良平 井田好治共編 鹿児島大学教養
部歴史研究室 昭40
722. 漂海記聞 5冊 ㊧岡田伊三次郎 *文明
移入に関する古書展覧会目録による
723. 漂海雑誌 5冊付録1冊 *寛永一安永、
日本漂流書目による
724. 漂海始末 1冊 ㊦新山質 ㊧学書言志
*戊申漂海記事
725. 漂海咨文 ひょうかいしもん 8冊 ㊦近
藤守重編 *日本漂流書目による
726. 漂海叢書 ㊧東北大狩野(第1欠、4冊)
*2・文化元年魯西亞属島内ホロムシリ
島へ漂流ノ口書並外2種、3・魯西亞国
へ漂流人口書写ノ事・魯西亞国船渡来始
末並日本漂流人異国遍歴之話、4・魯西
亜船ヨリ差戻候唐太島エトロフ島番人共
南部大膳大夫家来大村次五郎吟味仕候処
申上候書、5・魯西亞属島長夷マキセン
ケンコウリツ外男女拾三人エトロフ島へ渡
来仕候一件吟味仕候趣申上候書付

727. 漂海談 1冊 ㊦竹村安五郎 ㊦神宮(文化2写)

728. 漂海漫草 ひょうかいまんそう 1冊 ㊦深堀魯(楳伍) ㊦国会鸚軒(文久2写)同志社(文久2写) * 深堀大明寺漁夫菊蔵、仁蔵、和七、末蔵と五嶋漁夫等14名が嘉永3年五嶋をたって釣松魚で台風にあい漂流、8人が溺死、6人が唐土に漂着、嘉永5年帰国

729. 漂海録 ㊦荒井盛従・富塚有義 ㊦安永7 ㊦異国漂流記続集 荒井秀俊編 地人書館 昭和39 * 安永5年清国へ漂流した牡鹿郡小竹浜の永福丸の漂流記

730. 漂客東察加出奔記 ひょうかくかむさっかしゅっぱんき ㊦文化元年魯西亞属島内ホロムシリ島へ漂流ノ口書 ㊦文化4 ㊦国会(魯西亞国漂流二実記の内)・東北大狩野(漂海叢書2) ㊦校訂漂流奇談全集(続帝国文庫)

731. 漂客記 1冊 ㊦神戸大

732. 漂客聞書 1冊 ㊦神宮・磯川(「漂客記聞書」)

733. 漂客紀事 1冊 ㊦児玉琮(玉卿) ㊦文化元跋 ㊦内閣(版本写)・東大史料 ㊦国会(漂流記叢書91)(1冊)・内閣・東博・京大・慶大斯道・神戸大・埼玉・長崎・桜山・茶岡成實・無窮織田 * 安永9、唐船房海漂着記事

734. 漂客奇談 1冊 ㊦桑名松平家(6種)

735. 漂客奇談 → 漂客談奇 ひょうかくだんき

736. 漂客紀譚 ひょうかくきだん 1冊 ㊦日比谷近藤 * 寛政6、陸奥船大乘丸安南

漂流記事

737. 漂客紀聞 1冊 ㊦神宮(嘉永5写)(嘉永6写)(「亜米利加ヨリ帰国聞書」嘉永6写) * 中浜万次郎漂流記事

738. 漂客紀聞 3巻 ㊦予州漂客記聞 ㊦由井幹 ㊦弘化3序 ㊦内閣(文鳳堂雜纂61)

739. 漂客紀聞(著者不明) ㊦岡山大池田

740. 漂客記聞 ㊦京大(岩垣氏遺著及旧蔵書5帙) * 越中人多三郎上状

741. 漂客見聞録 3冊 ㊦牧志摩守編 ㊦国会 * 中浜万次郎等漂流口上書

742. 漂客語録 1冊 ㊦中浜万次郎 ㊦高知

743. 漂客寿三郎手簡 → 漂民寿三郎之書翰

744. 漂客寿三郎通信 → 漂民寿三郎之書翰

745. 漂客次郎吉話 ひょうかくじろきちばなし ㊦天理(海防彙議14)

746. 漂客叢話 1冊 ㊦尊經 * 文政一天保、伊予遠江越中人等漂流記事

747. 漂客談奇 ㊦吉田正誉(文治) ㊦嘉永5 ㊦国会(嘉永6栗田寛写1冊)(3巻3冊)(「漂客奇談」・漂流記叢書65、1冊)(「漂客奇談」・土佐漂流人口書と合、漂流記叢書69)(漂流記叢書66・67、1冊本2部)(漂流記叢書68、2巻2冊)・内閣(1冊)・静嘉(「漂流談奇」1冊)・宮書(1冊)・東博(3冊)・香川大神原(2冊)・九大(1冊)・京大(1冊)・神戸大(2冊)(「漂客奇談」1冊)・国学院(1冊)・早大(「土佐漂客談奇」1冊)(「漂客談話」1冊)(1冊本2部)・

東大(「漂流奇談」、1冊)・東大史料(1冊)・東北大狩野(「漂客譚」、1冊)(「漂流談奇」、2巻、秘説漂流録の内)・京都府(1冊)・日比谷近藤(3巻3冊)(1冊)(「漂客奇談土州中之浜漂人異話」、1冊)(「漂流談奇」、2巻、秘説漂流録の内)岩瀬(「漂客奇談」、1冊)・蓬左(2巻2冊)・米沢林泉(窪田梨溪写1冊)・神宮(嘉永7写1冊)・尊経(1冊)・茶図成實(1冊)(「漂客奇談」、1冊)・穂久邇(1冊)・礪川(1冊)・旧浅野(1冊) ㊦校訂漂流奇談全集(統帝国文庫)・日本庶民生活史料集成 5巻漂流 三一書房 1968・異国漂流記集 荒川秀俊編 吉川弘文館 昭37 *天保12-嘉永4、土佐国漁人伝蔵・中浜万次郎等漂流記事

748. 漂客譚記 ひょうかくだんき 2巻2冊
㊦東北大狩野 *文政11、八丈島漁船仁寿丸カカヤン漂流記事

749. 漂客談話督乗丸長右衛門志摩国小平治
→督乗丸魯国漂流記

750. 漂客聞見亜墨利加新話 →亜墨利加新話

751. 漂客物語 1冊 ㊦国会

752. 漂客夢物語 1冊 ㊦岩瀬 *摂州兎原郡大石村栄力丸亜米利加漂流

753. 漂語6種 1冊 ㊦大鳥富士太郎 *文明移入に関する古書展覧会目録による

754. 漂船記 1冊 ㊦東大(天保8写) *文化13

755. 漂船紀聞 1冊 ㊦九大

756. 漂異紀畧 川田維鶴撰 ㊦京外大(嘉永5写4巻4冊) 松岡鬼一氏・住吉神社・

高知県立郷土文化会館・中浜博氏 *伝蔵・万次郎等の漂流記

757. 漂船護送汐路 1軸 ㊦小島潜 ㊦東北大狩野

758. 漂船秘録 2巻2冊 ㊦異国奇談 ㊦国会(漂流記叢書42) *勢州幸太夫・奥州長右衛門等漂流

759. 漂船秘録 6巻 ㊦宝暦元 ㊦桑名松平家 *船頭又五郎口書等

760. 漂着口書嘶草 ひょうちゃくくちがきはなしぐさ 1冊 ㊦岡山大池田

761. 漂着使記録 ひょうちゃくしきろく ㊦多田新蔵・阿比留平次 ㊦正徳6 ㊦九大文化(破船漂民護送使記録・和漂民記録と合1冊)

762. 漂着者口書 →唐国福建省江漂着仕候奥州南部之者6人口書

763. 漂着常陸国人滞在日記 ひょうちゃくひたちのくにびとたいざいにつき 1冊 ㊦道光20(天保11) ㊦沖繩

764. 漂到巴旦国讃民口状 ひょうとうはたんこくさんみんこうじょう ㊦勝之助 ㊦官書(静幽堂叢書51)

765. 漂南紀略 →漂南聞略

766. 漂南新話 1冊 ㊦漂南新語(内) ㊦寛政11序 ㊦内閣(外国紀聞12)・早大・東大

767. 漂南聞略 3冊 ㊦漂南紀略 ㊦大槻茂質 ㊦国会・静嘉(統海外異聞の内)

768. 漂人談話（正徳2年）㊦異国漂流記集
荒川秀俊編 吉川弘文館 昭37
769. 漂船遺聞 1冊 ㊦菽園外史 ㊦東北大狩野
770. 漂船新話 1冊 ㊦日比谷近藤（文政4 藤田某写） * 唐泊浦孫七物語
771. 漂泊珍話 2冊 ㊦曲水庵 ㊦旧浅野（文政元写）
772. 漂泊之者共相尋候口上覚 ひょうはくのものどもあいたずねそうろうこうじょうおぼえ 1冊 ㊦早大 * 寛延3年神力丸
773. 漂泊物語 1冊 ㊦成文政9 ㊦岩手 * ベラヲ島漂流物語
774. 漂夫譚 ㊦近世漂流記集 荒川秀俊編 法政大学出版局 1969
775. 漂民異聞 3巻3冊 ㊦大阪府
776. 漂民記 →漂民御覧之記
777. 漂民聞書 12巻5冊 ㊦村上範致・萱生景福・稻熊元長 ㊦成安政3 ㊦村上正敏（自筆） ㊦三河文献集成 近世編上 昭38（宝飯地方史資料13）
778. 漂民聞書 ㊦漂民録・漂流人間書・漂流談 ㊦漂流記 ㊦国会（土佐国群書類従 漂流）内閣（同上）・京大（同上）・東大史料（同上）・高知（同上）
779. 漂民帰郷録 1冊 ㊦松平公益会 * 天徳丸漂流記で水主新蔵が国元で取調べをうけた際の口書の写し
780. 漂民帰国之記 1冊 ㊦石川六右衛門 ㊦寛政5 ㊦徳島
781. 漂民紀事 ㊦国会（土佐国群書類従 漂流）内閣（同上）・京大（同上）・東大史料（同上）・高知（同上） * 嘉永5年末宇佐浦役場にて伝蔵、五右衛門の談話
782. 漂民紀事 ㊦早大（俄羅斯紀聞 1集 第9巻）
783. 漂民紀州藤代村長兵衛書上 ひょうみんきしゅうふじしろむらちょうべえかきあげ ㊦官書（椿亭叢書26）
784. 漂民奇談 1冊 ㊦富永正謙 ㊦官書（「漂民奇談序」、片玉集52）・神宮（文久元写）
785. 漂民吉次郎覚書 ㊦官書（椿亭叢書9）
786. 漂民帰朝類聚 3巻3冊 ㊦吉田為政 ㊦嘉永4 ㊦東洋岩崎（嘉永6写）
787. 漂民後記 1冊 ㊦九大
788. 漂民御覧之記 1冊 ㊦漂民記・漂民台覧之記・漂民御覧記・漂民上覧記 ㊦桂川甫周（国瑞） ㊦成寛政5 ㊦国会（「漂民台覧之記」、神昌丸異国漂流話を付す）（「漂流言上記」、享和4西尾内記写、漂流問答話と合）（「勢州白子船光太夫記事」、漂流記叢書33）（「漂民談」、漂流記叢書34）（漂流記叢書35）（「魯西亞国江漂民問答」漂流記叢書36）（亞墨利加漂流記を付す、漂流記叢書37）（漂流記叢書38）（「漂民帰朝記」、井弘光写、好古堂漫録8）（漱芳閣叢書料11）（鶯宿雜記別録の内）（蝦夷乱初発記の付）・内閣（北槎略聞抄を付す）（「漂民御上覧之記」、明治写）（「勢州ノ者魯西亞江漂着帰国之漂民御覧之記」外国通覧2）（雜綴3種の内）（「漂民上覧之記」、羅斯海録の付）・官書（椿亭叢書9）（1冊）・九大・京大（「漂民問答記」）（寛政6写、魯西亞国一覽を付す）

(「吹上秘書」・東方珍話を付す)・京大富士川(漂流私記と合)・同志社(1冊)・京外大(1冊)・龍谷(1冊)・神戸大学学院(「漂民記」)(1冊)・早大(「漂民記」)(2部)・東大(「漂民上覧記」・旧竈叢書5)(1冊)・東大史料(「勢州白子漂民御覧問答記」・中山久四郎蔵本写)・東北大狩野(「幸太夫問答」)・岡山県(「漂民記」)・京都府(寛政6写)・高知・道庁(落葉集の内)(目佐万之内)(蝦夷記聞の内)(蝦夷乱初発記と合、2部)(建州女真始末と合、2部)・長崎・日比谷近藤(「漂民台覧之記」)(2部)・三重県立図書館(「漂民上覧記」)・宮城(「漂民上覧記」・魯西亜漂流記・漂流人魯西亜談話を付す)(1冊)・宮城西小・刈谷函館(文化4水野時来写)・米沢林泉(琉客記談を付す)・神宮(寛政6写)(「漂民上覧之記」)(1冊)・尊経(筆叢6)(1冊)・天理吉田(「漂民上覧記」)・羽間・穂久邇(「漂民記」)・磯川(「幸太夫磯吉之記」)・旧浅野(「漂民記」)(「吹上秘抄」)(1冊)・旧彰考(幸太夫口語筆受・北槎略聞と合)・東洋岩崎(魯西亜国漂船聞書の付)・日比谷諸家(嘉永5石嶋泰照写)・栗田(魯西亜国漂民記の付)・神宮(「魯西亜問答」・文化3写)

789. 漂民口状 1冊 ㊦丙戌 ㊦呉国江漂流仕候奥州之者七人口書 ㊦文政9 ㊦内閣
* 文政3-8

790. 漂民幸太夫磯吉帰国紀事 → 幸太夫磯吉吹流し候一件

791. 漂民始末 1冊 ㊦近藤守重編 ㊦旧彰考

792. 漂民寿三郎之書翰 1冊 ㊦寿三郎 ㊦天保12 ㊦東大(文久2写)・岡田伊三次

郎(「漂客寿三郎通信」) ㊦校訂漂流奇談全集(統帝國文庫)(「漂客寿三郎手簡」)

793. 漂民象胥 ひょうみんしょうしよ 1冊
㊦京大・東大本居

794. 漂民上覧記 → 漂民御覧之記

795. 漂民新話 3巻付1巻4冊 ㊦神戸大
* 土佐国伝蔵等米国漂流記

796. 漂民台覧之記 → 漂民御覧之記

797. 漂民対話 2冊 ㊦京大(弘化2写)

798. 漂民長兵衛書上 ひょうみんちょうべえかきあげ ㊦宮書(椿亭叢書9)

799. 漂民継右衛門以下之儀菊地惣内上書 ひょうみんつぎえもんいかのぎきくちそうないしょうしよ ㊦政治 ㊦函館(嶮谷叢説 太田本1)

800. 漂民日記 ㊦蓬左(資治雑笈2輯)

801. 漂民筆録 1冊 ㊦鳴沢益・王寿珍 ㊦文政4 ㊦東大

802. 漂民聞記 ひょうみんぶんき 2巻2冊
㊦神戸大

803. 漂民報曙 ひょうみんほうこん 1冊 ㊦桂川甫周 ㊦慶大

804. 漂民録 → 漂民聞書

805. 漂洋瑣談 ㊦中浜博氏(中日病院外科医長)

806. 漂落紀聞 1冊 ㊦志州鳥羽小平次船漂舶物語 ㊦内閣 * 宝暦7-9

807. 漂流 1冊 ㊦岩瀬 * カカヤン暹羅国漂流記事

808. 漂流異国人御札書並再御札書 びょうりゅういこくじんおただしがきならびにふたたびおただしがきうつし 1冊 ㊦嘉永元 ㊦函館

809. 漂流異国物語 2巻 ㊦国学院(安政2写)

810. 漂流異譚開国之滴 上 ジョセフ・ヒコ原著 鷗洲散士補訳 東京 博聞社 明26.11 236p

811. 漂流一件上書 1冊 ㊦九大

812. 漂流異聞 1冊 ㊦天保15 * 明治文献目録による

813. 漂流異話 1冊 ㊦西川吉之助 * 嘉永3-7、播州浅右衛門等米国へ漂流記事、開国文化史料大観による

814. 漂流御届留書 びょうりゅうおとどけとめがき 1冊 ㊦京大 * 宝暦7・文政9

815. 漂流唐着話 1冊 ㊦京大

816. 漂流記 1冊 ㊦国会(慶応元写、漂流記叢書89) * 文久元年尾州船漂流記

817. 漂流記 2巻2冊 ㊦彦蔵漂流記・アメリカ彦蔵漂流記・播州彦蔵漂流記 ㊦彦蔵 ㊦文久3序 ㊦国会(漂流記叢書86)(2巻2冊)・国会亀田・内閣(1冊)・静嘉・東博・九大・京大(1冊)・京外大・同志社・神戸大・東北大狩野・日比谷東京・茶図成簀・無窮神習(1冊)・竜門・旧浅野(1冊) ㊦文明源流叢書3・異国漂流奇譚集 石井研堂編 福永書店 昭和2・異国漂流記集 荒川秀俊編 吉

川弘文館 昭37・日本庶民生活史料集成 5巻漂流 三一書房 1968 * 嘉永3-安政元

818. 漂流記 ㊦九大(正徳3写1冊)(2軸)(1冊)・教大(1冊本2種)・東大史料(福井白道寺蔵本写1冊)(蒲堂叢書の内)・彰考(鹿島治乱記と合1冊)・旧彰考(8冊)(欠本、1冊)(1冊)・旧三井鶯軒(1冊) ㊦寛政元版-東外大(1冊)、刊年不明-岡山大池田(2冊)・九大(2巻)・岡山県(1冊)・長崎(1冊)・上田花月(天保7、2冊) ㊦吉備群書集成5 * 岡山藩の廻米船神力丸の漂流記で、上巻は御札一件請取渡前後御届書類、下巻は漂流人十四人の口上書

819. 漂流記 1冊 ㊦静嘉(巴丹米利堅漂流記)(1冊)・岩瀬 * 寛政5年勢州幸太夫漂流記

820. 漂流記 3冊 ㊦同志社 * 1巻: 勢州白子村彦兵衛手船神昌丸幸太夫并磯吉事十二ヶ年以前ヲロシアの国江漂流致し此度送来候趣札候一件 2巻: [津太夫、儀平ら漂流者らの聞書](文化2年) 3巻: 西洋欧羅巴洲之内魯西亜国渡来始末并日本漂流人美国編歴之話

821. 漂流記 1冊 ㊦国会(漂流記叢書31) * 天明元、能登清兵衛漂流記事

822. 漂流記 1冊 ㊦宮書(手島惟敏写) * 宝暦度福建漂流記等

823. 漂流記 1冊 ㊦宮書(手島惟敏写) * 寛永度韃靼漂流記等

824. 漂流記 1冊 ㊦頼惟完 ㊦浅野 * 陳世徳ばなし・船頭清蔵安南ばなしを収む

825. 漂流記 1冊 著勝之助 写竜谷
826. 漂流記 2巻2冊 写米沢林泉 * 若宮丸
ロシア漂流記事
827. 漂流記 3巻 著山脇敬李 写岡山県
828. 漂流記 1冊 写内閣 * 台湾漂流記・志
州鳥羽流船記・呂宋国江漂流帰朝御吟味
口書写・南洋無人嶋漂流記を収む
829. 漂流記 1冊 写岡田伊三次郎 * 紀州弥
市米国漂流記事、文明移入に関する古書
展覧会目録による
830. 漂流記 1冊 写高知 * 赤岡浦松屋萬七
船百石積5人乗る難風に逢漂流の次第
831. 漂流聞書 1冊 写桑名松平家
832. 漂流聞書 1冊 写京外大(弘化4写)
* 摂津永住丸の善助の漂流記
833. 漂流紀事 著黒田行 * 本朝医家著述目録
による
834. 漂流記事 1冊 写磯川(文化7写)
* 寛政・文化、唐船漂着記事
835. 漂流帰国記 1冊 写東大史料(蒲堂叢書
の内)
836. 漂流記集 2冊 著万寿堂 写岩瀬
837. 漂流記集 写九大文化 * 津田村勝之助断
之覚・漂流事略・寒川郡津田村百姓漂流
記を収む
838. 漂流記抄録 1冊 写内閣(明治写)
839. 漂流記叢書 写119冊 国会本 1日本漂

流譚(活) 2漂流島物語 3南瓢記(版
本) 4異国漂渡記 5越州三国浦新保
村住人異国物語 6中天竺之内馬丹嶋江
漂流ノ舟水主共口書(付広東物語5) 7
中天竺馬丹物語 8宝暦元年未十二月廿
一日唐国福建省江致漂着候奥州南部之者
六人口書 9南部漁民漂流記 10享保四
年筒山船漂流一件口上書 11異国漂流船
談 12志州鳥羽船外国江吹流候一件 13
志州鳥羽小平治船漂流之聞書 14志州流
船記書上写 15志州鳥羽流船目録 16宝暦
七歳丑九月志州鳥羽布施村船頭吹流次第
17・18異国漂流談(2部) 19志州鳥羽
船頭小平次難風吹流帰国之次第 20吹流
志州鳥羽領小平次外国咄し 21志州鳥羽
船頭小平治難舟書付之写 22志州布施田
村小平治舟唐へ流レ行ク次第 23志州鳥
羽船頭帰国 24海難断物語 25筑前国唐
泊津孫太郎漂流一件口上書 26唐泊浦孫
三郎口書 27安南国漂流記 28・29紀州
船一葉丸漂流一件覚 30紀州日高郡志賀
屋伝蔵舟漂流人覚書 31漂流記 32於路
志屋江漂流記 33勢州白子漂民御覧御問
答記 34漂民御覧之記(漂民談) 35漂
民御覧之記 36漂民御覧之記(魯西亜国
江漂民問答) 37漂民御覧之記(付亜墨
利加漂流記) 38漂民御覧記 39奇観録
40幸太夫船一件写 41勢州白子船神昌丸
漂流之記 42異国奇談漂船秘録 43夷録
幸太夫磯吉漂泊物語 44神昌丸漂民記
45蝦夷関係記事雑纂 46孤島漂流難船日
記 47賀茂村権吉長五良唐国漂流帰国之
次第 48漂流無人嶋始末 49無人嶋へ漂
着一件 50日州志布志船漂流記 51環海
異聞 52呂宋国漂流記 53魯西亜漂流記
54おろしや国江漂流人口書留 55奥州人
魯西亜国漂流物語 56欧羅巴国漂流記
57文化元年九月長崎渡来魯西亜船取調べ
の次第 58美世利国漂泊録 59永寿丸魯西
亜国漂着始末口上書 60文化十四年尾州
半田村百姓吹流候一件 61船長日記 62

尾州知多郡半田村重吉物語 63漂流人口書 64備前神力丸漂流一件 65漂客奇談 66-68漂客談奇(3部) 69土佐漂流人口書・漂客奇談 70嘉永六年丑八月漂流人直嘶聞書・北亜墨利加渡船次第 71万次郎譚和解船話2 72万次郎譚和解船話坤 73大日本土佐国漁師漂流記(版本) 74亜米利加漂流譚(活) 75土州漁師帰朝記 76土州人漂流記 77土佐国万治郎異国物語 78漂流之記 79土州人漂流記 80日本人漂流之記 81亜墨利加漂流記 82漂流人善助初次郎口書写 83漂流人弥市之記 84弘化元年天野屋手船幸宝丸漂流一件聞書 85漂流舟記 86漂流記(版本) 87亜墨利加漂流記 88長瀬村人漂流談 89漂流記 90明治五壬申正月廿一日漂流著信記 91漂客紀事 92環海航路日記 93航海日記 94天竺渡天物語 95天竺物語 96高砂舟頭町徳兵衛天竺え渡り候物語 97天竺物語

840. 漂流奇談(天保12) ㊦異国漂流記集 荒川秀俊編 吉川弘文館 昭37

841. 漂流奇談(堀熙明編) →栄力丸漂流記談

842. 漂流記談 2巻2冊 ㊦教斎編 ㊦京大

843. 漂流奇譚華夷九年録 →華夷九年録

844. 漂流記談鈔録 ひょうりゅうきだんしょうろく 1冊 ㊦宮書

845. 漂流帰朝話説 1冊 ㊦日比谷近藤

846. 漂流紀聞 ㊦内閣(寛保元・2、1冊)・教大(1冊)・慶大(文化4小笠原道端写、阿魯齊亜人物図志の付)・蓬左(3巻3冊)・高知(3冊文化7)

847. 漂流帰来記 1冊 ㊦学書

848. 漂流久蔵見聞記 1冊 ㊦旧浅野

849. 漂流記録 1冊 ㊦成嘉永5 ㊦九大

850. 漂流口書 ひょうりゅうくちがき ㊦無人島漂流口書 ㊦寛政9 ㊦校訂漂流奇談全集(続帝国文庫)

851. 漂流見聞記 ひょうりゅうけんもんき 1冊 ㊦早崎益寿 ㊦嘉永6 ㊦京都府

852. 漂流雑記 6冊 ㊦内閣(寛政2・3写)
* 1・中天竺馬丹島之記、2・寛永二十一年越前三国浦竹内藤右衛門等韃靼漂流一件、3・寛文十三年伊勢松坂七郎兵衛等蝦夷漂流一件・正徳元年肥前国商船広東漂流一件、4・享保四年遠江国荒居基八等無人島漂流一件、5・宝暦十一年仙台領木村屋茂右衛門船清国漂流始末・明和二年常陸磯原村船頭友七等安南漂流一件、6・宝暦十一年仙台領木村屋茂右衛門船清国漂流

853. 漂流雑記 1冊 ㊦東北大狩野・刈谷

854. 漂流雑記 1冊 ㊦龍谷 * 神昌丸漂流記・西魯亜國漂流記・巴旦漂流記・大清國漂流船志摩国布施田村小平次一件・安南国并南京江漂流記を収録

855. 漂流私記 1冊 ㊦京大富士川(漂民御覧記と合)・延岡内藤家(天明2写)

856. 漂流七天竺話 ひょうりゅうしちてんじくばなし 3巻1冊 ㊦内閣(天保5写)
* 宝暦12-安永3

857. 漂流実録 1冊 ㊦東大史料(東京都酒井新太郎蔵本写)

858. 漂流始末聞書 1冊 ㊦神戸大 * 中浜万次郎

859. 漂流始末口書 ㊦青森港儀兵衛 ㊧寛政11
㊨校訂漂流奇談全集(統帝国文庫)
860. 漂流島物語 1冊 ㊩国会(漂流記叢書2)
861. 漂流小唐船一件 ひょうりゅうしょうとう
せんいつけん 1冊 ㊩長崎 * 安政2
- 3
862. 漂流事略 ㊧天明8 ㊩九大文化(漂流記
集の内) * 善吉・伊兵衛広東漂流記事
863. 漂流船一件 1冊 ㊩教大
864. 漂流船紀 1冊 ㊩京都府
865. 漂流船聞書 ㊩内閣(土佐国群書類従 拾
遺 漂流)・高知(同上)
866. 漂流船聴書 ㊦近世漂流記集 荒川秀俊編
法政大学出版局 1969
867. 漂流船口書 1冊 ㊧明和8 ㊩宮書(安
永2写)
868. 漂流船物語 1冊 ㊩学士院
869. 漂流船行衛 ひょうりゅうせんゆくえ 1
冊 ㊧文政3 ㊩延岡内藤家
870. 漂流叢書 ㊩13冊 国会本 * 1 松平薩摩
守家池永喜三左衛門同中原仲左衛門口
書 2 越前国三国浦新保村佐内藤左衛門
同子藤蔵等覚書 3 徳兵衛天竺物語 4 享
保十三戊申年中天竺之内馬丹嶋江流れ候
水主口書 5 西洋人が唐国ヨリ買取シ茶
之高 6 ペラホ物語 7 元文四無人嶋ヨ
リ帰来セル遠州荒井之者尋問記 8 安南
国漂流物語 9 二伊勢人の漂流記聞書・
寛政五漂民記 10 山田仁左衛門渡唐録
11 阿蘭陀国々改并行状 12 異国江漂流仕

り候陸奥国之者四人口書 13文化十三丙
子歳薩州漂客見聞録

871. 漂流台湾国書付写 ひょうりゅうたいわん
こくかきつけうつし 1冊 ㊩神戸大
* 志州島羽船頭小平治台湾漂流記事
872. 漂流談 1冊 ㊧天保15 ㊩早大
873. 漂流談奇 → 漂客談奇 ひょうかくだんき
874. 漂流談記 2巻 ㊩日比谷近藤(秘説漂流
録の内)
875. 漂流談雑綴 ひょうりゅうだんざつてつ
1冊 ㊩岡田伊三次郎 * 文明移入に関
する古書展覧会目録による
876. 漂流中見聞実況上申書 ひょうりゅうちゅう
うけんもんじっきょうじょうしんしよ
1冊 * 日本漂流書目による
877. 漂流珍談 2冊 ㊩萩毛利家
878. 漂流珍話 2巻2冊 ㊦空斜山人 ㊧嘉永
2 ㊩香川大神原(自筆稿本)
879. 漂流土佐人口書 ひょうりゅうとさじんく
ちがき 1冊 ㊧嘉永4 ㊩宮書
880. 漂流泊瀬伝兵衛日録 ㊦長崎叢書 第5編
西道仙・安中半三郎校 長崎古文書出版
会 明27
881. 漂流并無人島より帰着の次第 ひょうりゅう
うならびにむじんとうよりきちゃくのし
だい 1冊 ㊧寛政9 ㊩金沢市加越能
882. 漂流日記 ㊦校訂漂流奇談全集(統帝国文
庫) * 天明5 - 寛政2、土州鏡の郡赤
岡浦松尾儀七船船頭水主4人

883. 漂流日記 1冊 ㊦岡山大池田
884. 漂流人 ひょうりゅうにん 1冊 ㊦京大
(文化8)・桜山(「飄流人」)
885. 漂流人異国辺歴の話 ひょうりゅうにんい
こくへんれきのはなし ㊦道庁(魯西亜
国船渡米之始末と合1冊)
886. 漂流人異国物語 1冊 ㊦神戸大 * 紀州
久五郎・善助漂流記事
887. 漂流人異出嘶 ひょうりゅうにんいしゅつ
ばなし 1冊 ㊦安政元 ㊦鳥取
888. 漂流人一件 ㊦国会(不忍叢書7)・東博
(嘉永4写1冊)・岡山大池田(天保3、
8冊)
889. 漂流人一件大阪御留書抜 ひょうりゅうに
んいっけんおおさかおとめかきぬき 1
冊 ㊦文政12 ㊦岩手 →融勢丸唐流帰
国記
890. 漂流人一件下方申出写 ひょうりゅうにん
いっけんくだしかたもうしでうつし 1
冊 ㊦旧浅野 * 直兵衛等2名口上
891. 漂流人異話 1冊 ㊦神宮(安政元写)
892. 漂流人異話下書 ひょうりゅうにんいわし
たがき 1冊 ㊦旧浅野
893. 漂流人請取始末 1冊 ㊦宝暦元 ㊦岩手
* 白浜・大畑・釜石の舟乗福建へ漂流還
送の始末
894. 漂流人請取人始末 1冊 ㊦宝暦2 ㊦岩
手 * 厦門へ漂流の神力丸乗組員請取の
始末
895. 漂流人御尋書 ひょうりゅうにんおたずね
がき 1冊 ㊦岩手(天保12)(天保12
-14)
896. 漂流人書上之写 ひょうりゅうにんかきあ
げのうつし 1冊 ㊦九大
897. 漂流人聞書 1冊 ㊦大阪市大森
898. 漂流人聞書 1冊 ㊦稲毛実 * 国学者伝
記集成による
899. 漂流人帰国口書 ひょうりゅうにんきこく
くちがき 1冊 ㊦国学院
900. 漂流人帰国口書写 ひょうりゅうにんきこ
くくちがきうつし 1冊 ㊦明和4 ㊦
東大史料
901. 漂流人帰朝一件留 1冊 ㊦明和8 ㊦内閣
902. 漂流人口書 1冊 ㊦寛政11 ㊦桑名松平
家 * 青森船頭儀兵衛等唐国漂流記
903. 漂流人口書 1冊 ㊦亥之助等 ㊦島原
904. 漂流人口書 1冊 ㊦国会(漂流記叢書63)
* 天保元、神力丸漂流の始末
905. 漂流人口書 1冊 ㊦宇治甚助等 ㊦岡山県
906. 漂流人口書 ㊦東博(安永3写1冊)・岡
山大池田(6冊)
907. 漂流人口書写 ひょうりゅうにんくちがき
うつし 1冊 ㊦神戸大・日比谷加賀
(弘化2写)
908. 漂流人口書其外品々写 ひょうりゅうにん
くちがきそのほかしなじなうつし 9冊
㊦天保4 ㊦岡山大池田

909. 漂流人口供 ひょうりゅうにんこうきょう
1冊 ㊦嘉永5 ㊦穂久通

910. 漂流人口上書 ひょうりゅうにんこうじょう
うがき 1冊 ㊦岡山大池田

911. 漂流人口上聞書 ひょうりゅうにんこうじ
ょうききがき 1冊 ㊦岡山県

912. 漂流人私記 1冊 ㊦栗田 * 寛政5、幸
太夫・磯吉漂流記事

913. 漂流人直物語聞書 ひょうりゅうにんじき
ものがたりききがき 1冊 ㊦文政13
㊦九大文化

914. 漂流人始末聞書 1冊 ㊦竜谷(嘉永5写)
中浜博 * 万次郎等

915. 漂流人始末之事 1冊 ㊦天保4 ㊦岡山市

916. 漂流人鳩物語 1冊 ㊦同志社(夢廻屋宋
蝶 天保2写) * 天明7年12月大阪北
堀江船の船頭儀三郎ら11名が仙台荒浜か
らの帰途犬伏崎(銚子)沖から漂出し、
土佐の漂民長平が独り淋しく暮らしてい
る無人島へ漂着し、6年後に薩摩志布志
の住吉丸も漂着、土佐漂民(1名)、大
阪漂民(8名)、志布志漂民(4名)の
13名が流木で船を造り、青ヶ島を経て八
丈島にたどりつく

917. 漂流人書状写 1冊 ㊦肥後寿三郎等 ㊦
東北大狩野

918. 漂流人次郎吉物語 1冊 ㊦次郎吉 ㊦高
岡 ㊦北前船長者丸の漂流 高瀬重雄著
清水書院 1974 217-245頁 * 長者丸
の漂流記「蕃談」とは別系統の写本で挿
絵なし

919. 漂流人善助聞書 1冊 ㊦京外大

920. 漂流人善助初次郎口書写 ひょうりゅうに
んぜんすけはつじろうくちがきうつし
1冊 ㊦国会(弘化2写、漂流記叢書82)
* 天保12

921. 漂流人唐国ヨリ連渡一件 ひょうりゅうに
んとうごくよりつれわたしいっけん 1
冊 ㊦安永4年 ㊦礪川

922. 漂流人土佐国万次郎口書 ㊦田中滝治氏
(高知県南国市) * 嘉永4年初期の作
成か。とくに持ち帰った品物の詳細な記
述あり

923. 漂流人共相咄候儀 別段書留置奉差上候書
付(通航一覧 巻321収録)

924. 漂流人豊田郡瀬戸田船乗善蔵異国見聞筆記
ひょうりゅうにんとよたぐんせとだふな
のりぜんぞういこくけんもんひっき 1
冊 ㊦旧浅野

925. 漂流人取調書 1冊 ㊦京外大(宝暦2写)
* 南部神力丸唐国(福州)漂流記

926. 漂流人南海談 1冊 ㊦岡山市

927. 漂流人之記 1冊 ㊦国会(中古叢書第86
冊) * 宝暦2年呂宋国へ漂流セル船夫
ニ彼国風俗ヲ尋問シタルモノニシテ菅沼
下野守上書ニカカル

928. 漂流人の噺を聞書 ひょうりゅうにんのは
なしをききがき 1冊 ㊦日比谷近藤
(文化8写)

929. 漂流人咄聞書 ひょうりゅうにんはなしき
きがき 1冊 ㊦京大(万延元写)

930. 漂流人日高郡蘭浦新町庄左衛門船天寿丸沖
船頭九助事虎吉初五人の者共申口書 1
冊 ㊦日比谷近藤

931. 漂流人平左衛門外十五人持戻並貨物請取帳
ひょうりゅうにんへいざえもんほかじゅ
うごにんもちもどりならびにもらいもの
うけとりちょう 1冊 ㊦安政元 ㊦東
大史料

932. 漂流人申口在館唐人共ニ御尋ニ付御覚書
→漂流人申口覚書

933. 漂流人申口覚書 ひょうりゅうにんもうし
ぐちおぼえがき 1冊 ㊦漂流人申口在
館唐人共ニ御尋ニ付御覚書 ㊦鹿児島大
玉里 *文化12・13

934. 漂流人物語記 1冊 ㊦九大

935. 漂流人問答始末 1冊 ㊦山岡新 ㊦日比
谷加賀(寛政7写)

936. 漂流人弥市長崎奉行所ニテ請取方等ノ手続
書 ひょうりゅうにんやいちながさきぶ
ぎょうしょにてうけとりかたとうのてつ
づきしょ 1冊 ㊦京大

937. 漂流人弥市之記 1冊 ㊦国会(漂流記叢
書83)・九大 *天保12

938. 漂流之覚書 1冊 ㊦小竹浜六兵衛 ㊦早大

939. 漂流之記 1冊 ㊦竜谷 *宝暦3年南部
佐井船の船頭竹内徳兵衛ら17名の漂流記

940. 漂流之記 1冊 ㊦土佐人漂流帰国ノ記
(外) ㊦国会(漂流記叢書78)

941. 漂流之次第口上書 ひょうりゅうのしだい
こうじょうがき 1冊 ㊦旧浅野

942. 漂流之者共於長崎被相尋候申口 ひょうり
ゅうのものどもながさきにおいてあいた
ずねられそうろうもうしぐち 1冊
㊦九大 *水戸磯原村船頭

943. 漂流之者於長崎被相尋候申口安南国逗留中
見聞仕雑談 ひょうりゅうのものながさ
きにおいてあいたずねられそうろうもう
しくちあんなんこくとうりゅうちゅうけ
んもんつかまつるぞうだん 1冊 ㊦日
比谷近藤(文化2写)

944. 漂流ハケ条 ㊦京都府(乾巻、1冊)

945. 漂流譚一土佐国万次郎帰朝 ㊦田中滝治氏
(高知県南国市) *嘉永5年高知城下
帰着まで

946. 漂流譚 ひょうりゅうばなし 1冊 ㊦鈍
通子 ㊦寛政5刊 ㊦神戸大

947. 漂流秘録 ㊦桑名松平家(欠本、3冊)

948. 漂流舟記 ひょうりゅうぶねき 1冊 ㊦
国会(嘉永6写、漂流記叢書85) *嘉
永2年紀州九助等漂流記

949. 漂流万次郎帰朝談 ㊦異国漂流奇譚集 石
井研堂編 福永書店 昭和2 *天保
12—嘉永4

950. 漂流民伊兵衛口上書写 ひょうりゅうみん
いへえこうじょうがきうつし 1冊 ㊦
寛政3 ㊦京大

951. 漂流民書上留 ひょうりゅうみんかきあげ
とめ 4巻4冊 ㊦京大 *文政8—安
政5

952. 漂流民帰国記 *日本漂流書目による

953. 漂流民郷覧記 ひょうりゅうみんきょうらんき 1冊 ㊟稲毛実 * 国学者伝記集成による
954. 漂流無人嶋始末 ひょうりゅうむじんとうしまつ 1冊 ㊟国会(漂流記叢書48)
* 天明7年能登市之丞等漂流記
955. 漂流物語 1冊 ㊟京大 * 船頭善助口書
956. 漂流物語 2冊 ㊟鈴木服 * 国学者伝記集成等による
957. 漂流模様横文字扣 ひょうりゅうもようよこもじひかえ 1巻 * 日本漂流書目による
958. 漂流問答話 ひょうりゅうもんどうばなし ㊟国会(享和4写、漂流言上記と合1冊)
959. 漂流夢物語 ひょうりゅうゆめものがたり 1冊 ㊟安政4 ㊟九大・岩瀬 * 徳兵衛が備中へ帰郷したのちの聞書とみられる
960. 漂流呂宋国記 ひょうりゅうるもんこくき 1冊 ㊟九大
961. 閩省漂流南部人護送始末雑録 びんしょうひょうりゅうなんぷうじんごそうしまつづつろく 1冊 ㊟内閣(寛延3・4年山崎寿写)

ふ

962. 吹流佐礼記 ふきながされき 6冊 ㊟旧彰考
963. 吹流志州鳥羽領小平次外国咄し→志州鳥羽領小平次外国咄し
964. 吹流船話 ふきながれせんわ ㊟宮書(椿

亭叢書8)

965. 吹流天竺物語 ふきながれてんじくものがり 1冊 ㊟明和7 ㊟岡田伊三次郎 ㊟校訂漂流奇談全集(続帝国文庫)
* 筑前国唐伯浦孫七話
966. 福建廈門寧波難風渡唐帰朝記 ふくけんあもいにんぱーなんぷうとうとうきちやうき ㊟南海漂流譚 柴秀夫編 双林社 昭18
* 奥州釜石神力丸の漂流記
967. 福建省漂着記 1巻 ㊟高知(明和5写)
968. 福島浦浅平八丈島物語聞書 ふくしまのうらあさへいはちじょうじまものがたりききがき 1冊 ㊟文化10 ㊟高知
969. 福島浦浅平漂流記 ふくしまのうらあさへいひょうりゅうき ㊟土州高岡郡福島浦福吉屋浅平漂流記 ㊟西山直亮 ㊟文化11 ㊟国会(土佐国群書類従 漂流)・内閣(同上)・京大(同上)・東大史料(同上)・高知(同上)
970. 福州へ漂流蘇生物語 1冊 ㊟京都府(天明2写) * 安永8、紀伊国伝蔵中国南部へ漂流始末
971. 福吉丸漂流口上書 ふくよしまるひょうりゅうこうじょうがき 1冊 ㊟奥州亘理郡荒浜木村屋茂右衛門持船 ㊟東北大狩野(天明6写)
972. 船長日記 ふなおさにつき 3巻3冊 ㊟池田寛親 ㊟文政5自序 ㊟国会(3冊)(漂流記叢書61)(鶯宿雑記の内)・内閣(2部)・静嘉(文政写、付録共4冊)(3巻3冊)・宮書(手島惟敏写5巻2冊)(3巻3冊)・東博(3巻3冊)(2冊)・九大(3巻2冊)・京大(3冊)

(1冊)・教大・神戸大(5冊)(3冊)・早大・同志社(5冊)(海表異聞62-66)龍谷(4冊)・東大(付録共4冊)・東大史料(「尾州名護屋船長日記」、1冊)・東北大狩野(天保6松斎写3巻1冊)・広島大(5冊)・明大・葵(2巻2冊)・秋田(図を付す、4冊)・大阪府・京都府(2冊)・道庁(「布那遠佐日記」、5巻3冊)・日比谷加賀(付録共4冊)・日比谷近藤(弘化3写)・足利(付録共4冊)・刈谷・鶴舞(1冊)・豊橋(弘化2鈴木孝平写3巻1冊)(3巻1冊)・蓬左(「半田村重吉船長日記」、資治雑笈1輯)・栗田(5冊本2部)・金刀比羅(1冊)・無窮神習・旧浅野(1冊)・旧彰考・延岡内藤家(器物図説を付す、5冊) ㊦海事史料叢書5・異国漂流奇談集 石井研堂、昭和2・船長日記 玉井幸助、校訂解説、昭和18・船長日記 北条明直訳 筑摩書房 昭和36(世界ノンフィクション全集24)・重吉漂流記 船長日記新訳 岸尚洋[石渡昭二]訳 海洋文学社 昭和5・日本庶民生活史料集成5巻漂流 宮本常一等編 三一書房 1968 *文化10年尾張船頭重吉漂流

973. 文化元年魯西亞国船渡来始末並日本漂流人異国編歴之話 1冊 ㊦大阪府

974. 文化元年魯西亞属島内ホロムシリ島へ漂流ノ口書 ぶんかがんねんろしあぞくとうないほろむしりとうへひょうりゅうのくちがき →漂客東察加出奔記 ひょうかくかむさっかしゅっぱんき

975. 文化九年高田屋嘉兵衛等漂流一件 1冊 ㊦尊経

976. 文化五辰年当十一月入津之辰七番唐船より送来候外国漂流日本人申口書拔 1冊 ㊦鹿児島

977. 文化薩人漂流記 →薩人漂流記

978. 文化十三丙子歳薩州漂客見聞録 ぶんかじゅうさんへいしのとしさっしゅうひょうかくけんぶんろく →薩州漂客見聞録

979. 文化十二乙亥薩州漂客見聞録 ぶんかじゅうにいつがいさっしゅうひょうかくけんもんろく 1冊 ㊦無窮神習

980. 文化十四巳年尾州半田村百姓吹流之一件 ㊦国会(漂流記叢書 第60)

981. 文化丁卯漂流人口書 ぶんかていぼうひょうりゅうにんくちがき 1冊 ㊦文化4 ㊦内閣(南部藩士千葉政之進筆記を付す)

982. 文化錦 2冊 ㊦西洋亜細亞州之内魯西亞国舟渡来始末并日本漂流人異国辺歴之話 ㊦国会 *文化元

983. 文化年中漂流記 1冊 ㊦内閣(天保7写) *文化10-14、尾州重吉等

984. 文化四年上総沖江唐船漂着記 ぶんかよねんかずさおきへとうせんひょうちやくき ㊦香川大神原(享和元年五嶋之阿蘭陀船漂着記と合1冊)

985. 文化六年台湾漂流記 1冊 ㊦教大

986. 文化六年天徳丸台湾漂着記 1冊 ㊦大阪府 *富田屋三次郎船

987. 文久元年辛酉年珍説書漂流船記事 →珍説書漂流船記事

988. 文政九丙戌年於長崎漂流人請取御用記 ぶんせいくへいじゅうつのとしながさきにおいてひょうりゅうにんうけとりごようき 1冊 ㊦岩手 *パラオ島へ漂流の閉伊

郡磯鶏村神社丸

989. 文政十年唐国江漂流始末口書 ぶんせいじ
ゆうねんとうごくへひょうりゅうしまつ
くちがき 1冊 ㊦金沢市加越能

990. 文政漂流記 3冊 ㊦珍説 ㊦大阪府

991. 文政漂流譚 1冊 * 明治文献目録による

992. 文明漂流叢書 第3冊 国書刊行会 大正
3 * 漂流記(亜米利加彦蔵)を収録

993. 噴揚私記 ふんようしき 1冊 ㊦静嘉
* 幸大夫漂流帰国事

へ

994. 丙戌漂民口状 へいじゅうつひょうみんこう
じょう → 漂民口状

995. ペラホ物語 1冊 ㊦ペラポ物語 ㊦西田
直養 ㊦天保6 ㊦国会(漂流叢書6)・
内閣(墨海山筆別集11)・静嘉(温古堂
叢書10)・京大(漂流叢書4)・無窮神
習(自筆) ㊦校訂漂流奇談全集(続帝
国文庫)

996. ヘラヲ島漂着之記 1冊 ㊦文政2 ㊦東
博・岩手(「ヘラヲ島漂流之記」)

ほ

997. 伯耆人漂流談 ほうきじんひょうりゅうだ
ん → 長瀬村利七漂流談 ながせむらり
しちひょうりゅうだん

998. 寶刀丸漂流記 福井図書版刊 昭15 * 文
政9年、越前四箇浦を出帆した船頭善右
衛門以下10人、揚子江下流の張静三村に
漂着

999. 宝暦元辛未年福建漂流記 ほうりゃくがん
しんぴのとしふっけんひょうりゅうき
1冊 ㊦教大

1000. 宝暦九己卯年壬七月志州島羽船頭船吹流之
一件 ほうりゃくくきぼうのとしうるう
しちがつししゅうとばせんどふねふき
ながれのいっけん ㊦学習院(筆叢の内)

1001. 宝暦九年台湾漂民之記 ㊦教大(嶮谷叢説
那珂本8)・函館(同上)

1002. 宝暦九年漂流記 ㊦内閣(外国通覧4)
* 志摩国漁民台湾漂着記

1003. 宝暦十一年仙台領木村屋茂右衛門船清国漂
流 ほうりゃくじゅういちねんせんだいら
ょうきむらやもえもんぶねしんこくひょ
うりゅう 1冊 ㊦内閣(漂流雑記6)

1004. 宝暦十一年仙台領木村屋茂右衛門船清国漂
流始末 ほうりゃくじゅういちねんせん
だいらょうきむらやもえもんぶねしんこ
くひょうりゅうしまつ ㊦内閣(漂流雑
記5)

1005. 宝暦十二年琉球船漂着之事 ㊦内閣(土佐
国群書類従 拾遺 漂流)

1006. 宝暦七歳丑九月志州島羽布施村船頭吹流次
第 → 志州島羽布施村船頭吹流次第

1007. 宝暦七丑九月吹流候船人小平治口上書
→ 志州船台湾漂着話

1008. 宝暦七年丑九月志州島羽浦船頭漂流一件
㊦異国漂流記集 荒川秀俊編 吉川弘文
館 昭和37 * 冲船頭小平治と水主5名

1009. 宝暦七年小平次台湾漂流記 1冊 ㊦無窮
神習

1010. 宝暦七年志州船頭小平次漂流記 1冊 ㊦
神戸大

1011. 宝暦七年志州船頭漂泊記 → 志州船頭漂泊記

1012. 宝暦漂流記 1冊 ㊦刈谷

1013. 宝暦漂流物語 ㊦近世漂流記集 荒川秀俊編 法政大学出版局 1969 * 宝暦2年、仙台領気仙沼村の船頭伝兵衛等が難風にあい、翌年3月シナの舟山沖で救助された漂流物語

1014. 宝暦四仙台領大島屋嘉兵衛等清浙江省寧波漂流記 → 宝暦四年奥仙台之民唐土浙江省漂流記

1015. 宝暦四年奥仙台之民唐土浙江省漂流之記
ほうりゃくよねんおくせんだいのたみとうどせつこうしょうひょうりゅうのき
㊦宝暦四仙台領大島屋嘉兵衛等清浙江省寧波漂流記 ㊦教大(嶺谷叢説那珂本8) 函館(同上)

1016. 北海漂民見聞録 1冊 (俄羅斯紀聞 2集第7巻) ㊦早大

1017. 北際漂譚 ほくさいひょうだん 5巻付録1巻 ㊦川上親信編 ㊦文政8 ㊦宮書(古賀燾等写3冊)・東北大狩野(巻1、1冊)・旧彰考(5冊)・桑名松平家(5冊) * 薩州永寿丸漂流記

1018. 北槎異聞 4巻4冊 ㊦篠本廉(竹堂) ㊦寛政5序 ㊦国会(北槎小録・北槎余録を付す、2冊)・内閣・東北大狩野・道庁(北槎小録・北槎余録を付す、5冊)(4冊)・旧三井本居(6冊) ㊦北門叢書6

1019. 北槎小録 1冊 ㊦北槎異聞小録 ㊦愛問主人(新楽閑叟) ㊦文化4 ㊦国会(北槎異聞の付)・内閣(明治写、北槎余録と合)(北槎余録と合)(1冊)・静嘉(続海外異聞の内)・京大(2冊)(1冊)・竜谷・道庁(北槎異聞の付)(2部)・岩瀬、なお2隻譚奇の内

1020. 北槎聞略 11巻 ㊦桂川国瑞(甫周) ㊦寛政6 ㊦国会(3冊)・内閣(魯西亜略記・地図・器什・衣服図を付す、12冊2軸)(魯西亜略記・地図を付す、4冊9枚)(魯西亜略記を付す、6冊)(「北槎聞略附図」、1軸)・静嘉(10巻5冊、2部)(9巻6冊)・宮書(5冊)(巻4、1冊)・京大(付録1巻共9冊)・慶大富士川(1冊)・東北大狩野(文政8晚翠軒写、付録共5冊)・広島大(10巻8冊)・道庁(図共6冊)(5冊)・栗田(7冊)・竜野(抄、2冊)・天理(10巻5冊)・亀井高孝 ㊦北槎聞略 亀井高孝、昭和12・再刊昭和40・日本庶民生活史料集成 5巻漂流 三一書房 1968

1021. 北槎聞略抜書 1冊 ㊦京外大(天保12写)

1022. 北槎余録 ㊦国会(北槎異聞の付)・内閣(明治写、北槎小録と合1冊)(北槎小録と合1冊)・道庁(北槎異聞の付)

1023. 北槎略聞 1冊 ㊦吉田篁墩 ㊦寛政5 ㊦内閣(抄、漂民御覧之記の付)・旧彰考(1冊)(漂民御覧記等と合)

1024. 北辺探事 2冊 ㊦魯国日本交通史・北辺秘録 ㊦大槻玄沢 ㊦文化3 ㊦国会・内閣(林氏蝦夷紀事抄録・江戸元文四年己未御記録を付す)(補遺、4冊)・静嘉(補遺共1冊)・京大・早大(補録抄録1巻・補遺3巻共5冊)・東大史料

(「北辺秘録」、桑名松平家蔵本写1冊)
(「魯国日本交通史」、東京都大槻文彦蔵本
写5冊)(補遺、1冊)・道庁(「魯西亜
聞書」、1冊)(5冊)(1冊本2部)・
宮城(1冊)・宮城伊達(1冊)・旧浅
野(1冊)・桑名松平家(「北辺秘録」、1
冊) ㊤北門叢書6

1025. 北門叢書 大友喜作解説・校訂 北光書房
昭18~19 6冊 *第4環海異聞(大槻
玄沢)・第6北槎異聞(篠本廉)・北辺
探事(大槻玄沢)・北辺探事補遺(同)

1026. 墨海山筆 ㊤内閣(111巻別集11巻内41巻
欠、目録共84冊)[別集]11にペラボ物
語を収録

ま

1027. 孫太郎ボルネオ漂流談 ㊤南海漂流譚 柴
秀夫編 双林社 昭18

1028. 松平阿波守殿御糺漂流民口上留写 まつだ
いらあわのかみどのおただしひょうりゅ
うみんこうじょうとめうつし 1冊
㊤竜谷

1029. 松平薩摩守家来池永喜三左衛門同中原仲左
衛門口書 1冊 ㊤国会(漂流叢書1)

1030. 松平修理大夫手船朝鮮国江致漂流候一件
まつだいらしゅりだいぶてぶねちょう
せんこくへひょうりゅういたしそうろう
いっけん 1冊 ㊤長崎奉行所公事方
㊤元治元 ㊤長崎

1031. 松平修理大夫領分ノモノ 朝鮮国江致漂流候
一件 まつだいらしゅりだいぶりょうぶ
んのものちょうせんこくへひょうりゅう
いたしそうろういっけん 1冊 ㊤長崎
奉行所公事方 ㊤文久2 ㊤長崎

1032. 松平土佐守小人万次郎相糺書付 1冊
(土佐国群書類従巻84の内) ㊤内閣・
東大史料・国会・京大(図) *江戸表
での陳述公記録

1033. 松前出帆漂流話 まつまえしゅっぱんひょ
りゅうばなし ㊤寛政3 ㊤国会(天竺
徳兵衛漂流記・無名国江漂流譚と合1冊)
*天明8-寛政2、南部藩船頭善吉等の
広東漂流口書

1034. 松前人轡輶漂流記 まつまえにんだつたん
ひょうりゅうき ㊤校訂漂流奇談全集
(続帝国文庫) *寛政7年昆布採り船
松前西在突符村孫太郎安次郎重兵衛ら3
名は奥尻島の突符村地光で吹き流され、
吉林のイビタンに漂着

1035. 松前船清国漂流記 1冊 ㊤東北大(天保
5写)

1036. 松前船漂着広記等 まつまえせんひょうち
ゃくこうきとう ㊤東北大狩野(肥前国
平戸島千里浜鄭氏遺蹟碑記並銘・鄭氏遺
蹟碑陰記等と合1冊)

1037. 松前箱館名前の船徳永丸船頭久保義兵衛漂
流記 まつまえはこだてなまえのふねと
くえいまるせんどうくぼぎへえひょうり
ゅうき →久保義兵衛漂流記

1038. 漫子亜墨利加雑話 まんしあめりかざつわ
1冊 ㊤離船人帰朝記 ㊤東大史料(2
部)

1039. 万次郎一世記 ㊤蓬左

1040. 萬次郎杯往還聞書 1冊 ㊤高知(嘉永5)

1041. 万次郎外四人漂流一件 ㊤田中瀧治氏(高
知県南国市) *万次郎関係17枚、ほか

に嘉永6年浦賀表より注進状等

1042. 万次郎北米漂流記 1冊 ㊦岡田伊三次郎
* 文明移入に関する古書展覧会目録による
1043. 万次郎譚和解船話 まんじろうだんわけせんわ 1冊 ㊦太虚道人 ㊦国会(第2編、漂流記叢書71)(坤、漂流記叢書72)
* 嘉永6-7
1044. 満次郎漂流記 1冊 ㊦大日本土佐国漁師漂流記 ㊦鈍通子編 ㊦国会(漂流記叢書73)(1冊)・九大・教大・東北大狩野・京外大・岡山県・高知・日比谷近藤・磯川・高橋正 ㊦近世漂流記集 荒川秀俊編 法政大学出版局 1969 * 明治11版(「亜米利加漂流譚」)あり
1045. 万次郎漂流紀事 * 日本漂流書目による
1046. 万次郎漂流細書 ㊦田中滝治氏(高知県南国市) * 嘉永5、6、7年と3度追記。
万次郎のアメリカ妻の記あり
1047. 万次郎漂話 1冊 ㊦宮書
1048. 万次郎物語 1冊 ㊦高知(伊藤丑太郎嘉永5年写)

み

1049. 三宅八丈漂泊憂物語 みやけはちじょうひょうはくうれいものがたり 1冊 ㊦日比谷近藤(八丈島物語を付す)
1050. 美世利国漂泊録 1冊 ㊦国会(「漂流記叢書」58) * 仙台帰着後の撰者不詳の私撰漂流記で片仮名まじり。寛政5年奥州平之丞漂流記

む

1051. 陸奥船南洋漂流記一天保10年 ㊦通航一覽続輯巻150・異国漂流記続集 荒川秀俊編 地人書館 昭39 * 天保11年陸奥国小友浦庄兵衛船
1052. 陸奥船漂流記 1冊 ㊦東大本居
1053. 陸奥国若宮丸漂流記 むつのくにわかみやまるひょうりゅうき 1冊 ㊦宮城伊達
1054. 無人しまへ漂着之もの吟味書 ㊦近世漂流記集 荒川秀俊編 法政大学出版局 1969
1055. 無人島江漂着之記 むにんとうへひょうちやくのき ㊦内閣(外国通覧1)
1056. 無人島記 1冊 ㊦天明7 ㊦内閣(明治写)
1057. 無人島記 1冊 ㊦宮書(片玉集76)・神宮
1058. 無人島記 ㊦林子平 ㊦内閣(外国通覧2)
1059. 無人島帰着之次第 1冊 ㊦市之丞・長兵衛 ㊦東大 * 天明7年(1788)大阪北堀江亀次郎船(船頭儀三郎と水主10名)
1060. 無人島帰国物語 1冊 ㊦道庁(天保14写)
* 享保4年(1720)遠州新居浜船
1061. 無人島談話 2巻付1巻3冊 ㊦曾繁編
㊦寛政9自跋 ㊦国会(2巻付1巻1冊、2部)・国会白井(2巻付1巻1冊)・内閣(明治写、琉球人漂着記を付す、2巻付1巻1冊)(3冊)・静嘉(2巻1冊)(続海外異聞の内)(2部)・東洋岩崎・宮書(5冊)(片玉集続集27)・

- 東博（江戸末期写）（3冊）・九大（1冊）・京大（2巻付1巻2冊）・東大（2冊）・東北大狩野・岩瀬（1冊）・刈谷（3冊）（5冊）・杏雨（東博蔵本写）・神宮・高木・無窮神習（4巻2冊）・旧彰考（2冊）㊦校訂漂流奇談全集（続帝国文庫） *寛政元年志布志住吉丸
1062. 無人島談話 ㊦静嘉（続海外異聞の内）
*土州赤岡浦松屋儀七船頭漂流記
1063. 無人島之記 1冊 ㊦渡辺金太夫等編 ㊦東北大狩野
1064. 無人島之記 1冊 ㊦小直久等 ㊦国会
*大阪北堀亀次郎等書上
1065. 無人嶋之記 2冊 ㊦内閣（文政4写）
*享保4・天明5・7
1066. 無人島之記 ㊦内閣（地勢提要の付）
1067. 無人島噺 むにんとうばなし ㊦高知（万囊の内）
1068. 無人島漂客 1冊 ㊦岡田伊三次郎 *土佐岸本浦長平等漂流記、文明移入に関する古書展覧会目録による
1069. 無人島漂着記 1冊 ㊦元文四年遠州荒井宿甚八等申上 ㊦内閣
1070. 無人島漂着記 1冊 ㊦寛政9 ㊦東洋岩崎
1071. 無人島漂着記 5巻2冊 ㊦京大（慶応元写）
1072. 無人島漂着帰帆 1冊 ㊦寛政10 ㊦史料館祭魚洞 *浦手形出島役人手控
1073. 無人島漂着者始末書 むにんとうひょうちやくしゃしまつしよ ㊦嘉永7 ㊦国会（加模西葛杜加国風説考等と合1冊）
1074. 無人島漂着船頭水主口書写 むにんとうひょうちやくせんどうかこくちがきうつし 1冊 ㊦元文四年 ㊦磯川
1075. 無人島漂着之始末 1冊 ㊦旧浅野
1076. 無人島漂着之者共始末書 むにんとうひょうちやくのものどもしまつしよ 1冊 ㊦東大
1077. 無人島漂着物語 ㊦寛政元 ㊦南部叢書10
1078. 無人嶋漂到記 1冊 ㊦東北大狩野
1079. 無人島漂流書附 1冊 ㊦九大
1080. 無人嶋漂流記 ㊦宮書（池底叢書94） ㊦異国漂流記集 荒川秀俊編 吉川弘文館 昭和37
1081. 無人島漂流記 1冊 ㊦寛文 ㊦内閣（未六月無人島ヨリ帰国之もの三人申口・辰巳無人島訴状並口上留書を付す）
1082. 無人島漂流記 1冊 ㊦樋口醉山 ㊦寛政10 ㊦無窮神習
1083. 無人島漂流記 ㊦元文4 ㊦九大文化（常州多珂郡磯原村船頭左太夫安南漂流記等と合1冊）
1084. 無人島漂流紀聞 1冊 ㊦内閣（外国紀聞28）
1085. 無人島漂流口書 →漂流口書
1086. 無人島漂流談話 1冊 ㊦長崎博 *天明4

1087. 無人島漂流之書付 1冊 ㊦寛政9 ㊦東博

1088. 無人嶋へ漂着一件 1冊 ㊦国会(漂流記叢書49) * 寛政元年日州志布志栄左衛門漂流記

1089. 無人島へ漂流并帰帆 むにんとうへひょうりゅうならびにきはん 1冊 ㊦竜谷

1090. 無人島へ漂流の者於八丈嶋口書写 むにんとうへひょうりゅうのものはちじょうじまにおけるくちがきうつし 1冊 ㊦寛政9 ㊦金沢市加越能

1091. 無人島物産志 1冊 ㊦曾繁編 ㊦寛政9序 ㊦杏雨

1092. 無人島物語 1冊 ㊦善八 ㊦享保2 * 国書解題等による

1093. 無人嶋より帰国之者御調書上 むにんとうよりきこくのものおしらべかきあげ ㊦異国漂流記集 荒川秀俊編、吉川弘文館昭和37

1094. 無人島ヨリ帰着之次第并口書之写 むにんとうよりきちゃくのしだいならびにくちがきのうつし 1冊 ㊦寛政九年 ㊦磯川

め

1095. 迷復記 ㊦菊莊翁編 ㊦安永9序 ㊦内閣(12冊)(残欠、1冊)・宮書(松前東蝦夷地阿魯西亞人来船を付す、片玉集後集17-19)・東北大狩野(7巻7冊)・岩手(内閣蔵本写1冊)

1096. 墨是可新話 めきしこしんわ ㊦田中基文・賀来佐之 ㊦内閣(5巻5冊)・島原(弘化4写、付録目録共9巻) ㊦墨是可新話一島原松平文庫に眠るメキシコ漂

流秘書一入江滑著 現代出版社 1969

1097. 米利幹漂流記 めりけんひょうりゅうき 1冊 ㊦旺墨新話 ㊦早大

や

1098. 大和船道之島船漂着之節在番公事 やまとぶねみちのしまぶねひょうちやくのせつざいばんくじ 1冊 ㊦沖繩

ゆ

1099. 融勢丸唐流歸國記 ㊦異国漂流奇譚集 石井研堂編 福永書店 昭2

よ

1100. 欧羅巴国漂流記 よおろっばこくひょうりゅうき 1冊 ㊦国会(明治写、漂流記叢書56) * 寛政5奥州左平等漂流記

1101. 吉田蛮史 ㊦山本宗明 ㊦竜谷(2冊)・岩瀬(1冊)

1102. 予州漂客記聞 →漂客記聞

り

1103. 琉球船漂着始末 3冊 ㊦文政2 ㊦内閣(明治写)・旧彰考

1104. 流蕃通書 10巻10冊 ㊦次郎吉述、憂天生編 ㊦九大(10巻9冊)・京大・岩瀬・岡田伊三次郎 →蕃談

る

1105. 呂宋国江漂流帰朝御吟味口書写 るそんこくへひょうりゅうきちやうござんみくちかきうつし ㊦明和元 ㊦内閣(漂流記

の内)

1106. 呂宋国の様子漂流人共江相尋候趣申上候書
付 るそんこくのようにすひょうりゅうに
んどもへあいたずねそうろうおもむきも
うしあげそうろうかきつけ 2冊 ㊦呂
宋国漂流人之記 ㊦菅沼定秀 ㊦宝暦3
㊦国会(中古叢書85・86)

1107. 呂宋国漂流記 1冊 ㊦呂宋漂流記 ㊦大
槻清崇編 ㊦弘化2 ㊦国会(好古堂漫
録7)(漂流記叢書52)(弊函一掃7)・
内閣(明治写)・静嘉(昭和写)(1冊)・
宮書(静幽堂叢書51)・東博(「天保辛丑
呂宋国漂流記」)・東大(嘉永5写)(1
冊)・東大史料・東北大狩野(2部)・
龍谷(1冊)・同志社(1冊)・岡山県・
京都府(蒸気船訳・鷺毛筆余と合)(1
冊)・高知(弘化2写)・長崎・日比谷
近藤(嘉永7百花園主人写)・足利(旅
の流塵62)・岩瀬・神宮・尊経・竹柏
㊦異国漂流記集 荒川秀俊編、吉川弘文
館 昭和37・異国漂流奇譚集(「観音丸
呂宋漂流記」、石井研堂、福永書店 昭和
2)・日本庶民生活史料集成 5巻漂流
三一書房 1968 *天保12-14

1108. 呂宋国漂流人記 るそんこくひょうりゅう
にんき ㊦内閣(海防彙議続2)・京大
(同上)

1109. 呂宋国漂流人之記 ㊦国会(中古叢書85・
86)

1110. 呂宋漂流記 →呂宋国漂流記

ろ

1111. 魯国事情聞書 1冊 ㊦国会亀田 *文化
2年大黒屋幸太夫談話

1112. 露国漂流記 1冊 ㊦文化3序 ㊦神戸大

1113. 魯国へ漂流の記 1冊 ㊦寛政5 ㊦旧彰
考 *仙台若宮丸

1114. 魯西亜教諭信牌写 ㊦宮書(椿亭叢書9)
長崎(同上)

1115. 魯西亜国衣類器物披露来由書 ろしあこく
いるいきぶつひろうらいゆしょ 1冊
㊦小栗重吉 ㊦京大・岩瀬(「半田重吉漂
流記」)・京外大 ㊦魯西亜国衣類器物披
露来由書(昭和10) *文化10カムチャ
ツカ漂流

1116. 魯刺亜国江漂流人蛮国之話 ろしあこくへ
ひょうりゅうにんばんこくのはなし 1
冊 ㊦京大(文化2写)

1117. 魯西亜國見聞記 3冊 ㊦京外大 *仙台
若宮丸の津太夫らの漂流記

1118. 魯西亜国船渡来始末并日本漂流人異国遍歴
之話 ろしあこくせんといしまつなら
びににほんひょうりゅうにんいこくへん
れきのはなし 1冊 ㊦西洋亜細亜州之
内 ㊦魯西亜国船渡来之始末並日本漂
流人異国遍歴之話 ㊦文化2 ㊦九大(「西
洋欧羅巴洲之内魯西亜国舟渡来始末并日
本漂流人異国遍歴之話」)・早大・東北大
狩野(1冊)(漂海叢書3)・大阪府
(「文化元年魯西亜国船渡来始末並二日本
漂流人異国遍歴之話」)・道庁・日比谷近藤

1119. 魯西亜國漂客紀聞 首巻序例附言目録 1巻
15巻16冊 ㊦龍谷 *仙台若宮丸の津太
夫らの漂流記

1120. 魯西亜国漂客記聞 6巻2冊 ㊦日比谷近
藤

1121. 魯西亜国漂着始末口上書 ろしあこくひょう
うちゃくしまつこうじょうがき 1冊
㊦永寿丸 ㊦国会（漂流記叢書59）＊
文化9 漂流
1122. 魯西亜国漂船聞書 10巻10冊 ㊦東洋岩崎
（漂民御覧之記を付す）＊幸太夫・磯
吉談話
1123. 魯西亜国漂民記 1冊 ㊦桂川甫周 ㊦神
戸大（文化11写）・栗田（文政8写、漂
民御覧之記を付す）（1冊）
1124. 魯西亜国漂民記 1冊 ㊦漂流人口上書
（内）㊦寛政5 ㊦国会 ＊幸太夫・
磯吉尋問記
1125. 魯西亜国漂民記 1冊 ㊦教大（異船一件
秘書類の内）
1126. 魯西亜国漂民記 ㊦近世漂流記集 荒川秀
俊編 法政大学出版局 1969
1127. 魯西亜国漂民幸太夫磯吉実記 1冊 ㊦京
都府
1128. 魯西亜国漂民実記 1冊 ㊦文化5 ㊦京
都府
1129. 魯西亜国漂流奥民口実一異国に漂流した陸
奥国之者四人口書 1冊 ㊦内閣（寛政
4至文化元年写）＊仙台若宮丸
1130. 魯西亜国漂流記 1冊 ㊦内閣（外国紀聞
18）・早大
1131. 魯西亜国漂流聞書 1冊 ㊦京都府 ＊文
化3 帰国談
1132. 魯西亜国漂流並洋中ニテ外国船江被助揚候
日本人一件 ろしあこくひょうりゅうな

らびにようちゅうにてがいこくせんへた
すけあげられそうろうにほんじんいっけ
ん 1冊 ㊦長崎 ＊慶応元-3

1133. 魯西亜国漂流二実記 1冊 ㊦国会 ＊督
乗丸魯国漂流記・漂客東察加出奔記
1134. 魯西亜国漂流人一件 1冊 ㊦東大
1135. 魯西亜国漂流之訳書及附録 1冊 ㊦東大
1136. 魯西亜国へ漂流人口書写ノ事 ろしあこく
へひょうりゅうにんくちがきうつしのこ
と ㊦東北大狩野（漂海叢書3）
1137. 魯西亜国より帰国の漂流人共申立御様子書
ろしあこくよりきこくのひょうりゅうに
んどももうしたてごようすがき 1冊
㊦日比谷東京
1138. 魯西亜視帰話 ろしあしきわ 1冊 ㊦津
太夫等 ㊦文化元 ㊦函館税関 ＊北海
道史料所在目録による
1139. 魯西亜船伊勢国ノ漂民道来記 1冊 ㊦九
大（寛政12大沼中時写）
1140. 魯西亜話 ㊦神戸大（1冊）・足利（旅の
流塵62・63、2冊）
1141. 魯西亜話 ろしあばなし 2冊 ㊦文化2
㊦内閣
1142. 魯西亜漂流記 1冊 ㊦国会（寛政5、漂
流記叢書53）・学士院・九大（「魯西亜漂
流記」、文化14）・京大（文化9）・教大・
東大史料（「薩人喜三左衛門以下廿三人魯
西亜漂流記」、文化9-14、2冊）・日比谷
近藤（仙台湾津太夫等、大正写）・宮城
（「露西亜漂流記」）・宮城西小（寛政5）・
穂久通（寛政5、弘化2写）・無窮神習

(寛政4-6)・旧彰考(2冊)(巻3のみ)

1143. 魯西亞漂流記 1冊 ㊦早大(俄羅斯紀聞4集 第2巻)

1144. 魯西亞漂流記帰国海路記 ㊦東大史料(西海遺珠の内)

1145. 魯西亞漂流人談話聞書 ㊦宮書(椿亭叢書9)

1146. 魯西亞漂流之訳書並日本へ帰国海路之様子訳 1冊 * 日本漂流書目による

1147. 魯西亞秘録 1冊 ㊦静嘉(文化2写)
* 寛政5漂流

わ

1148. 若宮丸漂流聞書 1冊 ㊦東博(文政7写)

欧文

1149. Kaigai ibun; a strange tale from overseas, or a new account of America compiled by Maekawa Bunzo and Sakai Junzo from the narrative of Hatsutaro, a Japanese castaway. Translated by Richard Zumwinkle, assisted by Tadanobu Kawai. Los Angeles, Dawson's Book Shop, 1970. 143p. 22cm. (Baja California travels series, 20)
Illustrations: pp. 92-143.

1150. The narrative of a Japanese; what he has seen and the people he has met in the course of the last forty years. By Joseph

Heeo, ed by James Mardoch.
〔Tokyo, Maruzen, 1895〕2v.

* 初版: 1863 本書は日本人の英文著書の最初のもの

第 二 部

漂流記関係文献目録

第二部 漂流記関係文献目録

1. 海外漂流年代記 二編 石塚重兵衛(豊芥子)編 嘉永7序刊
2. 幸太夫書する所の欧字 寺崎遊 (好古類纂 第11集 明26.4, p.74)
3. 近世漂流年表 (校訂漂流奇談全集 石井研堂校訂 博文館 明33.7, p.1~5) 同大
4. バイカル湖畔日本人の碑 小宮三保松 (考古界(考古学会)1編1号 彙報欄 明34.6) *これは明34年2月21日北海道毎日新聞の記事の転載である。
5. 土佐の長平漂流談 北村重敬著 東京 明 34.9 83 p. 22 cm
6. 秘魯国に漂着せし日本人 南方熊楠 (人類学雑誌 28巻10号 大正2.11) 同大
7. 漂流奇談全集を読み、て雑感を記す 幸田露伴 (海国公論 5回完 大正2~4.4)
8. 伊勢漂民の事績 新村出(史的研究 大正3.7; 続南蛮広記 岩波書店 大正14; 新村出選集 第2巻 養徳社 昭20.6, p.228~261 同大; 新村出全集 第6巻 筑摩書房 昭48.1, p.295~322 同大) *光太夫らの漂流記について
9. 明治以前布哇に於ける日本人 志賀重昂 (学生(富山房) 5巻12号 大正3.11, p.88~91) 同大
10. ジョセフ・ヒコ 手柄山人〔橋本政次〕著 兵庫県手柄山 郷土研究会 大正6, 88 p. 22 cm (郷土史話叢書)
11. 中浜萬次郎 石井民司著 博文館 大正8. 2 136 p. 23 cm (少年読本 第23編)
12. 大平洋の捕鯨船と開国 新村出 (歴史と地理 大正8.7; 新村出選集 第2巻 養徳社 昭20.6 p.262~273 同大; 新村出全集 第6巻 筑摩書房 昭48.1 p.323~331 同大)
13. モリソン号来航及撃攘に就いて 第1~2回 田保橋潔 (史学雑誌 33編1号, 3号 大正11.1, 3, p.33~52, 1~28) 同大
14. 露国における日本語学校の沿革 播磨樽吉 (史学雑誌 33編 10号 大正11.10 p.45~54) 同大
15. 日本財政経済史料 卷之七 経済之部四 大蔵省編 東京財政経済学会 大正12.1 p.885~932: 第2: 外国通商, 1.漂着船並漂流民 同大
16. 論国創刊日露辞典及其編纂者 亀田次郎 (国学院雑誌 29巻11号 大正12.11, p.57~81) 同大
17. 露国帰還の漂流民幸太夫 吉野作造著 文化生活研究会 大正13.9 240 p. (主張と閑談 第2輯) 同大
18. 文明移入に関する古書展覧会目録 荒木幸太郎編 大阪 蟹行学社 大正14.9 210 p. 27 cm 同大
19. 小栗重吉 (半田町史 第5編 雑事 第5章 人物列伝 第1節 雑伝 愛知県知多郡半田町編) 大正15 (複製版:

- 名著出版、昭48.11, p.416~420) 同大
20. 漂流民に関する文献 伊藤正
(読書人(第一出版協会)3巻4号 大正15.4, p.7~17) 同大
21. 写法新術及び其著者遠藤高環 三上義夫
(史学(三田史学会)5巻4号 大正15.11, p.53~94) 同大
22. 幕末史の研究 中野邊茂雄著 雄山閣 昭
2. * p.673~682 : 漂流帰国後の待遇
1. 仙臺漂流民太十郎の自殺 2. 奉行所の吟味 3. 一種の注意人物 同大
23. 日本漂流奇談 仲原善忠 イデア書院 昭
3. 8, 180 p.
24. 漂流奇談 船長日記補説 桃木武平 (海事資料叢書 巻5 巖松堂 昭4.10 p.3~22) 同大
25. 元狩野文庫本漂流記展覧目録 東北帝国大学附属図書館編刊 昭5, 20p. 同大
26. 海外漂流年代記 (海事史料叢書 13巻 住田正一編 巖松堂 昭5.9, p.217~272) 同大
27. 濱田彦造 (廿一大先覚記者傳 久保田辰彦編 大阪毎日新聞社 昭5.9, p.457~478) 同大
28. 中濱萬次郎漂流記 國澤新兵衛 (土佐史談 第37号(創立第20年記念号) 昭6, p.1~33) 同大
29. 徳川時代漂流記書目 上中下 (図書週報(沼津)第67~69号 昭6.9, p.272, 276, 280) * 抄録転載
30. 土佐漂着船に関する文献 関田駒吉 (土佐史談 第38号 昭7, p.38~51) 同大
31. 民間新聞創始者 ジョセフ・ヒコ氏の生涯 (禾舟漫筆 川嶋右次著 昭8.1)
32. 日本漂流民 井伏鱒二 (「随筆」昭8.5に収録, 「井伏鱒二全集」第9巻 筑摩書房 昭39.11.(同大)に収録) * 漂流民津太夫らのことを描いたもの
33. 気仙沼の春日丸漂流始末 千葉忠右衛門 (仙台郷土研究 第3巻第12号 昭8.12, p.21~25)
34. 英国政府と日本漂流民 奥平武彦 (明治文化研究論叢 一元社 1934, p.221~226) 同大
35. 維新前後の日本とロシア 平岡雅英著 ナウカ社 昭9.7, 413 p. 図, 19.5 cm
* 第5章: 最初の漂流帰還者伊勢の光太夫等 第6章: ロシアの日本語研究とわが漂流民 第9章: グロヴニン捕縛の意義および文化年間の漂流 第10章: 露米会社の対日交渉とプチャチンの長崎談判 同大
36. 帰朝後の漂流民光太夫と嗣子大黒梅陰 山崎徳吉 (伝記 2巻4号 昭10.4, p.93~102) 同大
37. 海外漂流年代記 (傳記 2巻 8号 昭10.8, p.111~113) 同大
38. カムチャッカ漂流民小栗重吉 堀川柳人 (傳記 2巻8号 昭10.8, p.88~96) 同大
39. 中濱萬次郎漂流記 中濱東一郎 (傳記 2巻8号, 昭10.8, p.114~124)

同大

40. 漂民光太夫と露使派遣事情 山崎徳吉
(伝記 2巻8号, 昭10.8, p.98~110)
同大

41. オロシヤ船 井伏鱒二著 (新潮 昭10.12;
新選名作叢書 金星堂 昭14.10; 新星社
昭21.7)

42. 徳川時代の漂流記 岩根保重 (立命館35
周年記念論文集 文学篇 立命館出版部
昭10.11月 p.1~21) 同大

43. 異国物語 東京 三秀舎 昭10.12 1冊
※異国物語考訳 橋川時雄著を合刻 同
大

44. 大黒屋光太夫の事 — 北槎聞略を中心とし
て — 亀井高孝 (鴨台史報 4 昭
11)

45. 大黒屋光太夫関係資料の二三に就いて —
本誌昨年四・八月号所載山崎氏の文献を
読みて — 大橋克郎 (傳記 3巻1
号 昭11.1, p.190~196) 同大

46. 長平の墓 井伏鱒二 (「肩車」(隨筆集)
野田書房 昭11.4に収録;「夏の狐」(隨
筆集)三島書房 昭22.2に収録;「井伏
鱒二全集」第9巻 筑摩書房 昭39.11に
収録)同大

47. 中浜万次郎伝 中浜東一郎編著 富山房
昭11.4 488, 17p. 図, 地図 23cm
同大

48. 無人島長平 井伏鱒二 (「肩車」(隨筆
集)野田書房 昭11.4に収録;「夏の狐
(隨筆集)三島書房 昭22.2に収録;
「井伏鱒二全集」第9巻 筑摩書房 昭

39.11に収録)同大

49. 播州の生んだわが国“新聞の父”ジョセフ・
ヒコ 近盛晴嘉 (大阪毎日新聞 神戸,
阪神, 兵庫版, 昭11.8)

50. 天保鎖国秘録, 百年後に世に出る米船モリ
ソン号の義侠 Frank Cary (東京日
々新聞 昭11.11.17)

51. 近藤記念海事財団文庫図書目録 東京日比
谷図書館編 昭12

52. 比律賓に漂着せる日本人に関する文書 ド
ロテウス・シリング 吉浦盛純(訳) (史
学 15巻4号 昭12.2, p.76~84) 同
大

53. 比律賓に漂着せる日本人に関する二文書
補遺 トロテウス・シリング 吉浦盛純
訳 (史学 16巻3号 昭12.11, p.131
~133) 同大

54. ジョン萬次郎漂流記 井伏鱒二著 (河出
書房 昭12.11; ジョン萬次郎漂流記一風来
漂民奇譚 河出, 昭13; 新日本文学全集10
改造社 昭17; 新児童文庫 三十書房
昭27; 井伏鱒二全集 第2巻 筑摩書房
昭39.10; ジュニア版 日本文学名作選16
偕成社 昭40.5; 日本の文学53 中央公
論社 昭41.同大; 豪華版日本文学全集19;
河出書房 昭42; 現代日本文学館29 文
芸春秋社 昭42同大; 日本文学全集41
集英社 昭42; グリーン版日本文学全集
24 河出書房 昭45; ジョン萬次郎もの
がたり 岩崎書店 1977(こどもノンフ
ィクション9); ジョン萬次郎漂流記・
本日休診 1979(角川文庫))

55. 漂流記複稿 1-3 服部聖多朗 (典籍
趣味(名古屋)第6. 12~13輯 昭13.4

- ～15.4〔p.1-8〕, p.16～28p)
56. ギュツラフと最初の聖書和訳 上・下 小沢三郎 (基督教史研究 1 および 5 1938-9) 同大
57. 「ジョン萬次郎漂流記」について 伊藤貫一 (傳記 5 卷 4 号 昭13.4, p.6～7) 同大
58. ギュツラフ訳「約翰福音之傳」解題 重久篤太郎 (基督教研究 16 卷 1 号 昭13.10, p.67～72) 同大
59. 呂宋国漂流記 服部聖多朗 (日本の風俗 2 卷 6 号 昭14.6)
60. 亜墨利加漂流記 服部聖多朗 (日本の風俗 2 卷11号, 3 卷 1 号 昭14.12, 昭15.1)
61. 漂流記稗稿 服部聖多朗著 日本文献資料研究所 昭15.2 同大
62. A century-old curtain-raiser Frank Cary. (The contemporary Japan. Vol. 9, No. 4, April, 1940, p.443～451) 同大
63. ジョセフ・ヒコの略歴及びその国政改革草案 横浜史料調査委員会編 昭15.3
64. 民間新聞の創刊者ジョセフ・ヒコ並にともに漂流した人々 川嶋禾舟 (傳記 7 卷 6 号 昭15.6, p.9～10) 同大
65. 天野信景と韃靼漂流記 服部聖多朗 (典籍趣味 15 輯 昭15.9)
66. 韃靼漂流記の異本 — 「韃靼漂流記の研究」を中心として — 服部聖多朗 (日本古書通信 134 号 昭15.9, p.38～41) 同大
67. 尾州音吉 服部聖多朗 (伝記 8 卷 6 号 昭16.6) 同大
68. John Manjiro ; the castaway ; his life and adventures. Tr. by H.Kane-ko. Tokyo, the Hokuseido Press, [1941. 3] 136 p. 19 cm 同大
69. 尾張漂流譚 服部聖多朗著 名古屋, 服部鉦太郎 昭16. 9 80 p. 函版 4, 21 cm *第1編 乎波里漂流志攷 第2編 尾張漂流記書誌 第1尾張漂流記 第2中天竺之内馬丹島江漂流ノ舟水主共口書 第3船長日記 第3編 尾張漂流譚 第4編 尾張漂流年表 同大
70. 万国渡海年代記 小野忠重編 双村社 昭17 202 p. 19 cm *海外漂流年代記・異国来往記抄・万国渡海年代記・増補華夷通商考 同大
71. 漂流 織田作之助著 (昭17.10, 第2作品集「漂流」(書きおろし)を輝文館から刊行; 織田作之助全集 4, 講談社, 昭45. 5 (同大) に収録)
72. 最初の遣日露使アダム・ラクスマン — 漂民光太夫還送始末 — 山崎徳吉 (伝記 10 卷 9 号 昭18, p.19～48) 同大
73. 重吉太平洋漂流記 若杉貴士 大新社 1943.
74. 重吉漂流記 豊島光著 大東亜社 昭18
75. 新たに発見された天明漂流記 — 無人島漂流帰着書 — 狩野鐘太郎 (伝記 10 卷 8 号 昭18.8, p.28～35) 同大

76. 江戸時代に於ける太平洋漂流記録 清野謙次 (太平洋の海洋と陸水 太平洋協会編 岩波書店 昭18.12, p.103 ~ 170 (太平洋圏学術書3) 同大)
77. 漂流記に関する研究 (太平洋に於ける民族文化の交流 清野謙次著 太平洋協会編 創元社 昭19.4) * p.327 - 438 : 第3部 漂流記に関する研究 第1章 太平洋漂流記の海洋学的観察 第2章 北際漂談 第3章 蕃談) 同大
78. 漂流船物語の研究 吉岡永美著 北光書房 昭19.5 418 p. * 第1部: 研究総論篇 1.鎖国時代と漂流船物語 2.漂流船の規模 3.漂流の方面, 季節と風向・海流 4.漂流記に不明乃至疑問の地点に関する私見 5.生還者は一船中の英雄 — 異国に聞く神国日本の評判 — 6.漂流船物語に目を着けた先覚 7.漂流民をめぐるのロシアと仙臺藩 8.漂流船物語の形式別・内容別 — 漂流船物語の甲型・乙型 — 第2部: 研究各論 — 甲型物語評註 4篇 — 1.遠州船南方無人島漂着物語 — 在島二十一年にして三人生還の物語 — 2.土佐・大阪・日向の船無人島に漂着, 合流帰還の物語 — 在島十三年, 十一年, 九年にして相携へて帰国の物語 — 3.増補評註 尾張船頭重吉の太平洋漂流物語 同大
79. 日本の漂流文学 山崎桂三 (文学(岩波) 15巻 9号, 昭22.9, p.585~593) 同大
80. 歴史教室 大黒屋光太夫 岡田章雄 (国民の歴史 1(4) 昭22)
81. モリソン号渡来記解説 岡本良知著 東洋堂 1948.
82. 日米交通と中浜万次郎 禿氏祐祥 (国民の歴史 2(12) '48.12 p.38~43) 同大
83. 光太夫漂流物語 — ロシア女帝に会った船頭の話 — 山崎桂三著 中央公論社 昭24, 145 p. 図, 19 cm
84. 新聞の父ジョセフ・ヒコ 近盛晴嘉 (新聞研究 6号 昭24.3, p.48~53) 同大
85. 浜田彦蔵 — 海洋学のパイオニヤ — 須田皖次 (東京日々新聞 昭24.10.9)
86. あやまった史実記事, 新聞週間あれこれ 近盛晴嘉 (新聞協会報 昭24.10.17)
87. 小栗重吉漂流記 玉井幸助著 東京 目黒書店 昭24.12, 2.4, 158〔6〕p. 22 cm 同大
88. 海外新聞とジョセフ・ヒコ 住谷申一 (人文学(同志社大学人文学会) 4輯 1951. 1, p.141~157) 同大
89. モリソン号事件の顛末 — 初期日米交渉史の一齣 姫野誠二 (滋賀県立短期大学雑誌 B 1巻1号 昭26.3, p.67~83) 同大
90. 伊勢の光太夫とラクスマン父子 山崎宇治彦 (伊勢公論 5 昭27)
91. ジョン万次郎 池田宣政著 ポプラ社 昭27 312 p. B 6.
92. 日露外交秘話 斎藤東吉 (日本及日本人 第2期再刊 3(1)〔'52. 1〕 p.11 ~ 24)

93. 光太夫書簡 亀井高孝 (日本歴史 50号 昭27.7月号 p.24~27) 同大
94. ロシアにおける日本語学校と伝兵衛 高野明 (日本歴史 50号 昭27.7月号 p.27~28) 同大
95. 天保8年渡来モリソン号の航海記 岡本良一 (学燈 50巻3号 1953.3 p.21~24) 同大
96. “ロシアにおける日本語学校と伝兵衛”補遺 高野明 (日本歴史 59号, 昭28.4, p.34~36) 同大
97. 北方関係探検漂流資料展示会出陳目録 市立函館図書館編・刊 昭28.7 16p. B5 謄写版 同大
98. 漂流 井上靖著 (「文学界」昭28.11月号 (同大)に発表; 大衆文学代表作全集 8河出書房 昭30; 井上靖小説全集 15巻 昭47.10 (同大); 井上靖短篇全集 人文書院 昭45.1 (同大)に収録)
99. 天保8年米船モリソン号渡来の研究 相原良一著 野人社 1954, 239p. 22cm 同大
100. 日本人漂流ものがたり 須見五郎著 毎日新聞社 昭29 (毎日少年ライブラリー 16) *産経児童出版文化賞授賞 須見五郎は室賀信夫のペンネーム
101. 漂民宇三郎 井伏鱒二著 (群像 昭29.4~30.12 (21回連載); 講談社 昭31.4 同大; 講談社 昭32.10; 井伏鱒二全集 6巻 筑摩書房 昭40.4; 新選現代日本文学全集 1 筑摩書房 昭33)
102. 「ヲロシャノ言」と「東察加方言」 高野明 (日本歴史 71号 昭29.4 p.16~20) 同大
103. 最初の月極め読者 上・下 近盛晴嘉 (新聞協会報 昭29.6.28, 7.1)
104. モリソン号事件をめぐって 大月明 (人文研究 (大阪市立大学文学会) 5巻10号 昭29.10, p.875~883) 同大
105. ジョセフ・ヒコの命日を迎えて 近盛晴嘉 (新聞協会報 昭29.12.13日号)
106. 実記 — 魯西亜国漂着様子書 (川内郷土史 下巻第6章の附 浜田亀峰著 昭30刊)
107. 海外新聞発刊90年 近盛晴嘉 (新聞学評論 4号 昭30.4, p.94~109) 同大
108. 昔の航海記 川合彦充 (読書春秋 6巻7号 昭30.7, p.7~8) 同大
109. Manjiro, the man who discovered America, by Hisakazu Kaneko. Boston. Houghton Mifflin Co., 1956.
110. モリソン号の来航と日本人漂流者 川合彦充 (海員 (全日本海員組合) 1956年4,5月号 p.64~66, 62~65) 同大
111. ヒコの墓を守る 近盛晴嘉 (読売新聞 (大阪) 昭31.5.17)
112. ジョセフ・ヒコ研究 近盛晴嘉 (日本新聞学会々報 14号 昭31.7)
113. 立証された“海外新聞”の元治創刊 近盛晴嘉 (読売新聞 昭31.10 (大阪は1日, 東京は2日))

114. 漂流記著談に関する考察 高瀬重雄 (史
林 40 巻1号 昭32.1. p.45 ~ 57) 同大
115. 江戸時代に於ける日本人の海外漂流 佐藤
三郎 (山形大学紀要(人文科学) 3 巻
4号, 昭32.3, p.151 ~ 173) 同大
116. 江戸時代の海難救助制度 金指正三
(国民生活史 研究 I 伊東多三郎編
吉川弘文館 昭32.5 p.267 ~ 293)
同大
117. ヒコの帰化証明など 近盛晴嘉 (新聞研
究 78号 昭33.1, p. 42) 同大
118. 近世東亜交渉史の一前景 — 鎖国時代日本
人のロシア漂流 — 石原道博(茨城大学
文理学部紀要(人文科学) 8号 1958.
2, p.1 ~ 8) 同大
119. 日本開国史上に果たしたブウチャーチンの役
割 高野明 (歴史評論 94号 1958.
3, p.23 ~ 31) 同大
120. 環海異聞にあらわれた Gottorp 天球儀
草下英明 (五島プラネタリウム学芸報
第1集 1958. 4, p.21 ~ 29) 同大
121. 漂流: 鎖国時代の海外発展 鮎沢信太郎著
至文堂 昭33.10, 205p. 18.5 cm (日本
歴史新書) 同大文化
122. 海外新聞と新聞誌 近盛晴嘉 (新聞資料
1号 昭34.1)
123. Gottorp 天球儀点睛 草下英明 (五島
プラネタリウム学芸報 第2集 1959.1,
p.24) 同大
124. ヒコの故郷 近盛晴嘉 (新聞資料 2号
昭34.2)
125. 漂流者中浜万次郎と浜田彦蔵 (東京都史
紀要 第16 東京の英学 手塚龍蔵 昭
34.3, p.9 ~ 11) 同大
126. ヒコの受洗と帰化, Hico・DONから HE-
CO まで 近盛晴嘉 (新聞資料 3号
昭34.3)
127. 神戸のヒコ遺蹟 近盛晴嘉 (新聞資料 4
号 昭34.4)
128. ヒコ墓地保存会 近盛晴嘉 (新聞資料 5
号 昭34.5)
129. 新聞誕生記念日 近盛晴嘉 (新聞資料 6
号 昭34.6)
130. 新聞の創始者・ジョセフ彦蔵の生涯 二反
長半著 刀江書院 昭34.9 219p.
131. ジョン万次郎の生涯 片方善治著 刀江書
院 昭34.12. 236p. 同大
132. 日本残酷物語 全6巻 第3部 鎖国の悲
劇 平凡社 昭35.3 p.143 ~ 186 : 第2
章: 国を恋う人々: 漂流の記録: 船頭重
吉の物語, 遠州船の無人島漂流, 鎖国下
の船びとたち 同大
133. 日米修好百年とヒコと神戸 近盛晴嘉
(兵庫国連新聞(国際連合協会兵庫県本
部) 昭35.9.15 日号)
134. 小野浦の船員たちとギュッラフ訳の聖書
都田恒太郎著 日本聖書協会 1961.
135. 新聞の父ジョセフ・ヒコ 近盛晴嘉 (新
聞学研究 複刊1号 昭36.1)
136. 新聞の父ジョセフ彦蔵小伝 片方善治
(国際文化 81号 昭36.2, p.4 ~ 5)

137. 井伏鱒二と漂流記物 (1)～(2) (倒叙日本文学史 (25)～(26) 吉田精一 (国文学解釈と鑑賞 304～305号 昭36.4～5, p.175～182, 150～155) 同大
138. 井伏鱒二と漂流記物 (1)～(2) (倒叙日本文学史 (25)～(26) (現代文学と古典 吉田精一著 至文堂 昭36.10, p.294～313) 同大
139. 万次郎の前半生 ジョン・マーサー・ブルック記 清岡暎一訳 (万延元年遣米使節史料集成 第5巻 日米修好通商百年記念行事運営会編 風間書房 昭36.8, p.145～148) 同大
140. 「時規物語」余話 池田皓 (文芸春秋 昭36.10月号) 同大
141. 流人と漂流者 (日本人物語 3 漂泊の人生 山本健吉編 毎日新聞社 昭36.11, p.109～118) 同大
142. 館蔵大黒屋光太夫遺物「露国国民学校用算術入門書」をめぐる 高野明 (早稲田大学図書館紀要 3号 昭36.12, p.68～91) 同大
143. 魯齋亜国睡夢談 亀井高孝 (学燈 58巻12号, 1961.12, p.50～53) 同大
144. 岩吉久吉乙吉頌徳記念碑由来記 山本豊治郎 野間町 1962. *パンフレット
145. 新聞の父ジョセフ・ヒコ 近盛晴嘉 (中学国語 3年教科書 大阪書籍 昭37
146. 聖書と訳史上の一文献 - 和蘭宝函日本之部 海老沢有道 (蘭学資料研究会研究報告 111号 1962 p.1～3) 同大
147. 日本の新聞起源 上・下 近盛晴嘉 (新聞資料 昭37.1～2月号)
148. モリソン号来航の意義 高谷道男 (日本歴史 第164号 昭37.2, p. 35～40) 同大
149. 日本漂流漂着史料 荒川秀俊編 気象研究所監修 地人書館 昭37.12, 658 p. 21.4 cm (気象史料シリーズ3) *有史以来安政開国に至る漂流漂着史料 付録: 1: 参考記事, 2: 16世紀の南蛮船日本来航年表, 3: 「維新史料綱要」漂流漂着関係記事, 4: 幕末外国関係文書(大日本古文書)漂流漂着関係目次 同大
150. 嘉永三年遠州灘沖栄力丸海難漂流生還者の記録の研究 共同研究: 東根武一, 中嶋仁道^{ヒガンネ ブイ ナカシマニシドウ} 播磨町(兵庫県加古郡) 加古郡播磨町教育委員会事務局 昭38. 80, 15 p. 図3 25.5 cm (播磨町史料研究 第1集) 同大
151. ア・タターリノフの「レクシコン」の東北方言について 村山七郎 (国語学, 52集 昭38.3, p.64～77) 同大
152. 日本漂流誌 相川広秋著 日本漂流誌刊行会(水産庁調査研究部長室内) 昭38.5 4, 264 p. 写真 21.5 cm *第一話: 漂流の発生 第二話: 太平洋の漂流 第三話: 東シナ海と日本海の漂流 第四話: 異国船の漂着 第五話: 漂流生活と異国生活 第六話: 太平洋漂流誌 第七話: 東シナ海, 日本海漂流誌 本書は「水産時報」の昭和34年7月号から昭和36年6月号まで連載されたものをまとめたもの 同大
153. ジョセフ・ヒコと兵庫北風家 石阪孝二郎 (歴史と神戸(神戸史学会) 昭38.6,

28～33 p.)

154. ア・タタリーノフの「レクシコン」の会話
篇 村山七郎 (国語学 55集 昭38.
12, p.89～97) 同大

155. ジョセフ・ヒコ 近盛晴嘉 吉川弘文館
昭38.12, 290 p. (人物叢書) 同大

156. 長平漂流記 宮田定繁著 高知県立中芸高
等学校 昭39.2. 101p. 図版3枚, B5
版

157. 薩摩漂流民ゴンザ(権左)の事蹟 村山七
郎 (日本歴史 第192号 昭39.5,
p.55～68 p.) 同大

158. 大黒屋光太夫 亀井高孝著 吉川弘文館
昭39.7 346 p. 図, 地図, 18cm (人物叢
書119) 同大

159. 日本人漂流記 荒川秀俊著
人物往来社 昭39.8, 238 p. 18.5cm
* 1.日本人の漂流 — はじめに 2.漂
流と気象 3.日本史のなかの漂流 4.
人參欲しさに惨殺された越前商人〔だ
ったん漂流記 5.蛮人島で船を建造
〔馬丹漂流記〕 6.偽証して帰国した
漂流民〔呂宋漂流記〕 7.一人生き残
った筑前の船頭〔ボルネオ漂流記〕 8.
最初の露日辞典をつくった権左 9.伊勢
の漂流民光太夫 10.世界一周した陸奥の津
太夫 11.日本の開国に貢献した彦蔵〔ジ
ョセフ・彦蔵漂流記〕 12.無人島で原始
生活二十一年〔遠州新居浜船漂流記〕
13.自力で船を造った漂流民〔長平無人島
漂流記 14.最初の日米接触をした二大漂
流 15.黒船以前に漂流民を送って来たア
メリカ船 16.漂流した海の脱走囚〔英サ
イプラス号事件〕 17.マッコウ鯨が開国
を促す 18.台湾征討の発端となった漂流

〔長耳国漂流記〕 19.中国大陆へ漂着し
た陸奥の漁民 20.漂流はどのような気象
のもとで記ったか 21.漂流の記録と文献
附録・漂流漂着資料(文化—弘化) 同
大

160. 幕末期ロシア語学習書についての覚書 松
村明 (文学・語学 第33号 昭39.9
p.39～53) 同大

161. 光太夫余礫 亀井高孝 (日本歴史 197号
昭39.10, p.77～78) 同大

162. 続光太夫余礫 亀井高孝 (日本歴史 198
号 昭39.11, p.65～69) 同大

163. 督乗丸の漂流 川合彦充著 筑摩書房 昭
39.11, 258 p. 図版18cm (グリーンベル
トシリーズ) 付参考文献

164. 無人島長平 (井伏鱒二全集 9巻 昭39.
11, p.197～207) 同大

165. 光太夫の言語資料 — 次男・秀世(1964年
10月8日—1963年12月15日)の追憶に捧
げる — 村山七郎 (順天堂大学体育学
部紀要 6号, 昭39.12. p.143～161)
同大

166. 日系米人第一号 中川努著 筑摩書房 昭
39.12, 227 p. 新書判 (グリーン・ベ
ルト・シリーズ) *ジョセフ・ヒコこと
浜田彦蔵の伝記

167. 大黒屋光太夫の日本語資料 — 18世紀後
半の伊勢方言 — 村山七郎著 吉川弘文
館 昭40.

168. 漂海紀聞 — 文化9・13年薩摩永寿丸, カ
ムチャッカ漂流記 木崎良平著 鹿児島

大学教養部歴史研究室 1965, 同大

169. 昨年出版された漂流記 川合彦充 (日本古書通信 250号 昭40.2, p.5~6) 同大
170. 漂流民の言語 — ロシアへの漂流民の方言学的貢献 村山七郎著 吉川弘文館 1965.4 266 p. 図版11枚 22 cm 同大
171. 日本漂流民とクンストカメラ 亀井高孝 村井七郎 (日本歴史 第210号 1965.11月号 p.2~20) 同大
172. 大黒屋光太夫とエカテリーナ二世 1~8 森末 新 (日本医事新報 2177~2184 昭41)
173. おろしや国酔夢譚 井上靖著 (「文芸春秋」昭41.1~42.12 43.5月号に25回連載, 同大; 文芸春秋 昭43.10同大; おろしや国酔夢・楊貴妃伝 新潮社 1972; 井上靖小説全集 28 新潮社 1972-75 同大; 現代の文学 12 講談社 昭48 同大; 文芸春秋社, 昭53.4 (文春文庫); 井上靖歴史小説集 第6巻 岩波書店 昭56.12)* 伊勢神昌丸の漂流記「北槎聞略」を素材に小説化したもの。昭44.4.9日, 新潮社の第1回日本文学大賞を受賞
174. 大黒屋光太夫がロシアから日本へ書き送った手紙 ヴェ・エム・コンスタンチーノワ (日本学序説—コンラド博士古稀記念論文集—イェ・エム・ジュコフ編 西牟田久雄訳 刀江書院 昭41.2, p.39~43) 同大
175. 大黒屋光太夫と亀屋兵蔵 亀井高孝 (日本歴史 214号 昭41.3, p.80~83) 同大
176. ジョン万次郎英文書簡の謎 安倍勇 (英語青年 112巻3号 1966.3, p.34~35)

同大

177. 海の無残な物語 — ふるさとびとの漂流記 — 藤木喜一郎, 新見貫次, 増田五良著 神戸, のじぎく文庫 昭41.5, 183 p. 19 cm
178. 新・ジョン万次郎伝 エミリィ・V. ワリナー著 田中至訳 出版共同社 昭41.6, 302 p. B 6 同大
179. 鷹見泉石と光太夫 亀中高孝 (日本歴史 220号 昭41.9, p.68~70) 同大
180. 加藤肩吾著「魯西亜実記(魯西亜紀聞)の文献学的研究 村山七郎 (順天堂大学体育学部紀要 10号, 1967, p.129~157) 同大
181. わが国最初のロシア民族誌 村山七郎 (民族学研究 32巻1号, 6, p.77~84) 同大
182. 烏島 気象庁烏島クラブ「烏島」編集委員会編 刀江書院 昭42.9, 127 p. 26 cm * 烏島の歴史 p.17~32 の中で無人島時代 (イ)漂流船の着島(離島)経路 (ロ)烏島の地形図 (ハ)古記録抜粋 (A)第二次漂流船の記録 (B)第三次漂流船の記録 (C)辰巳島御用記(八丈島高橋家訓)の記録 (D)第四次漂流船の記録 (E)第五次漂流船の記録 (F)第六次漂流船の記録 同大
183. 魯西亜文学集 亀井高孝 村山七郎編著 吉川弘文館 昭42.9.7, 110, 図60 p. 21.5 cm * 解説 魯西亜文字集について — とくに北槎聞略との関係 — — 魯西亜文字集 — 影印 同大
184. ロシアへの漂流民サンマについて 村山七郎 (日本歴史 232号 1967.9, p.69

～78) 同大

185. 光太夫のあとを北海道に訪ねる 亀井高孝
(日本歴史 234号 1967. 11, p.91～94)
同大

186. 日本人漂流記 川合彦充著 社会思想社
1967. 12, 396 p. 15 cm (現代教養文庫
598) 同大

187. 幸運児ジョン万次郎 川合彦充 (社会思
想研究 20巻2号 1968. 2, p.47～49)

188. ラクスマン使節団持参の図書と手紙 村山
七郎 (日本歴史 241号 昭43.6, 84
～90 p.) 同大

189. 漂流—太平洋で外国船に救助された日本船
川合彦充 (船 須藤利一編 法政大学
出版局 1968.7, p.239～276 (ものと
人間の文化史1) 同大

190. 「おろしや国酔夢譚」の旅 (「文芸春秋」
昭和43年8月号に発表; 歴史小説の周囲
—歴史エッセイ集1, 井上靖著 講談社
昭58.5に収録)

191. 註記ロシアの東方進出と日本の漂流民 中
村喜和 (日本庶民生活史料集成 第5
巻, 1968.9, p.859～886) 同大

192. 漂流船覚え書 石井謙治 日本庶民生活史
料集成 第5巻 漂流 三書房 1968.9,
p.869～884.

193. 栄寿丸の漂流 1～4 川合彦充 (月刊
名古屋港 1969年1～5月号)

194. 鎖国時代にもたらされた海外情報 片桐一
男 (日本歴史 249号 1969年2月号,

p.83～98) 同大

195. 漂民の記録 — 極限下の人間ドラマ — 池
田皓著 講談社 昭44.8, 205 p. (講談
社現代新書)

196. 異国漂流物語 荒川秀俊著 社会思想社
昭44. 12, 212 p. 15 cm (現代教養文庫
677) 同大

197. 薩摩永寿丸漂流記について 木崎良平
(鹿児島大学史録 2 1969. 12, p.117
～126) 同大

198. 日露関係史雑話〔その3〕: ピョートル大
帝とロシア帰還漂民 西洋型帆船の嚆矢
「いろは丸」 木崎良平 (鹿児島大学
史録 3号 1970. p.127～129, 135～
138) 同大

199. 井伏鱒二「漂民字三郎」—「時規物語」
「蕃談」との関連において 安田保雄
(国文学解釈と鑑賞 35巻4号 昭45.4,
p.80～86) 同大

200. 魯西亜語類(業餘稿叢6) 石川真弘, 大
内田貞郎, 金子和正, 河合忠信, 木村三
四吾 (ビブリア天理図書館報 45号
昭45.6, p.42～68) 同大

201. 中浜万次郎の生涯 中浜明著 富山房
1970. 12, 301 p. 図 20 cm, 同大

202. 安芸の久蔵の「魯西亜国漂流聞書(資料紹
介・翻刻) 木崎良平 (鹿児島大学史
録 4号 1971. p.153～180) 同大

203. 権左(ボモールツェフ) A.ボグダノフ共著
「簡易文法について」 村山七郎 (文
学研究(九州大学)第66輯, 1971. p.1
～93) 同大

204. 日露関係史雑話〔その4〕：ロシアへの漂流民久蔵の墓・漂流民久蔵の意義 木崎良平（鹿児島大学史録 4号 1971. p.181～184）同大
205. 新スラヴ・日本語辞典における18世紀初めの薩摩方言語彙 村山七郎（文学研究（九州大学）68輯 昭46.3, p.31～112）同大
206. カントンからチャボへの道〔漂流記 さねとう けいしゅう（海事史研究 17 1971. 10, p.70～81）同大
207. 米人の日本知識と初期日米関係 久保田恭平（海事史研究 17 1971. 10, p.89～110）
208. 日露関係史雑話〔その5〕：日系米人第1号彦蔵とロシア・伊勢漂流民エカテリナ二世に会う。嘉永五年帰着の紀州漂流民について 木崎良平（鹿児島大学史録 5号, 1972, p.168～172, 174～176）同大
209. レセップスと大黒屋光太夫 大熊良一（政策月報（自由民主党） 199, 1972. 8, p.115～121）
210. 宝順丸の米州漂着とその意義 バング・ソンジュウ（方善柱）（日本歴史 295号 1972年12月号, p.67～75）同大
211. 八丈島誌 東京都八丈島八丈町教育委員会編 八丈町, 八丈島誌編纂委員会 昭48. 3, 642p. 図3枚 21cm *第2篇沿革 第3章 近世 (5)航海と漂流 第6章 属島 (3)烏島 第4篇 民俗, 第7章 漂流・漂着 (1)黒潮と八丈島 (2)漂着の記録 (3)中国船長崎丸の漂着 (4)その他の漂着事例 (5)漂着船と疫病 (6)漂流の原因 (7)積荷の処分 (8)島船の遭難 同大
212. 漂流の記録（日本残酷物語 3 鎖国の悲劇 宮本常一〔等〕監修 平凡社, 1973. 7, p.145～186）同大
213. 鎖国時代の冒険 — 漂流（日本人の冒険と探検 長沢和俊著 白水社 1973. 11, p.91～123）同大
214. 日露関係史雑話〔その7〕：ヲショウ島人ヲロキセ, 薩摩漂流民の送還, 安芸久蔵の帰還, 最上徳内の推理, イワン・トラペズニコフの父, 喜三左衛門と重吉の出会い, 仙台漂流民の手紙 木崎良平（鹿児島大学史録 7号, 1974, p.147～158）同大
215. ジョン万次郎 — 井伏鱒二「ジョン万次郎漂流記」 紅野敏郎（国文学 解釈と教材の研究 19巻4号 昭49.3, p.204～5）同大
216. 北前船長者丸の漂流 高瀬重雄著 清水書院 1974. 4 261p. *巻末附録 p.209～216：撒土微私漂流記 全（原本・内閣文庫蔵）・p.217～245：漂流人次郎吉物語 全（原本・高岡市立中央図書館蔵）これらはいずれも天保の越中漂流民に関係するもの 同大
217. ロシア極東地方と江戸時代の日本人漂流者のルート 斎藤晨二（日本海域研究所報告（金沢大） 6 1974. 11, p.119～122, 図1枚）
218. 日露関係史雑話〔その8〕：越後早川村漂流民・「漂海紀聞」中のアイヌ語・千島列島への漂着日本人 木崎良平（鹿児島大学史録 8号, 1975, p.178～180, 183～186）同大

219. 漂流民ニコライ新蔵の遺著 (書物往来 八木佐吉 東峰書房 昭50.11, p.22~27) 同大
220. 日本人漂流物語 室賀信夫著(筆名:須見五郎) 新学社 1976 236 p. (新学社文庫) *産経児童出版文化賞受賞
221. 「魯西亜語覚書」について 岩井憲章 (早稲田大学図書館紀要 17号 昭51.3, p.66~73) 同大
222. 漂流 吉村昭著 (新潮社 昭51.5. 同大; 新潮文庫 昭55.11) *無人島(烏島)に漂流した土佐赤岡村の松屋儀七船の長平の漂流記を小説化したもの。昭和56年6月森谷司郎監督により東宝で映画化
223. ジョン万次郎の一生 成田和雄著 名古屋中日新聞社 昭51.12. 249 p. 図6枚 同大
224. 薩摩永寿丸漂民について 木崎良平 (史林 60巻 1号 昭52. p.118~136) 同大
225. 竹内徳兵衛船の漂流について 木崎良平 立正大学文学部論叢 57, '77.1, p.40~60
226. 天保漂船記 和巻耿介著 毎日新聞社 昭52.3, 245 p. 20 cm *永住丸の漂流を小説化したもの 同大
227. 最初の邦訳聖書 ギュッラフとベッテルハイム訳聖書 — 天理図書館本解説 — 海老沢有道著 雄松堂書店 昭52. 4. 66 p. 21 cm * p.11~16 : 尾張漂民と聖書の和訳 同大
228. 遇合聯話(であいものがたり) (1)~(5) 堀 正人 (日本古書通信 42巻 5.7~10 昭52.5, 7~10) 同大
229. J.M.Ottosonのこと — 日本英学史の一断面 — 正・続 沖田一 (英語青年 123巻5号, 1977.8, p.10~11; 125巻 10号 1980.1, p.13~14) 同大
230. 遇合餘話(であいものがたり・こばればなし) 堀正人 (日本古書通信 42巻 11号 昭52.11) 同大
231. 死の航跡 千谷道雄著 北洋社 1977.12. 238 p. B 6 *この中の死の船の記録—良栄丸漂流記(大正15年漂流)にかなりくわしく書かれている。
232. ロシアへの漂流日本人 木崎良平 立正史学 42, 1978.1 p.1~10
233. 明治アメリカ物語 木村 毅著 東京書籍株式会社 昭53.2 238 p. (東書選書 17) *Ⅳ:日米経済交流事始 (1)日本開国の恩人は鯨である。(2)中浜万次郎の登場 (4)日本最初のサラリーマン・ジョセフ彦のアメリカ体験記
234. 一撥と飢饉と漂流と—若越ノンフィクション— 小林巖著 福井 フェニックス出版 [昭53.3] 263 p. (フェニックス選書) *表紙と奥付:越前若狭の歴史物語。本書は昭和40年に「若越ノンフィクション・シリーズ」として小林伊和夫の名ではゞ1年にわたり連載したもの。10篇のうち漂流については下記の2篇を収録。p.11~38:だったん漂流記 p.39~57:宝刀丸漂流記
235. 洋中の誓 — 督乗丸遭難供養碑考 樋口信

助（海事史研究 30号，昭53.4，p.60
～74）同大

236. 海嶺 三浦綾子著（週刊朝日 昭53.10.
13日号～昭55.10.24日号に連載。

* アメリカに漂流した知多半島の小野浦
の宝順丸の水主，岩吉，久吉，音吉の漂
流記を小説化したもの，昭和58年12月
貞永方久監督により松竹で映画化 同大

237. 佐久島出身，海の男船頭重吉展について
一色町文化財保護委員会 1979. タイプ
印刷

238. 幕末の漂流者たち 村上貢著（幕末余話
文化出版局 昭54（NHK「趣味の手帳」
シリーズ）p.57～67）* 永住丸の亥
之助，歓喜丸の久蔵，永力丸の亀五郎，
仙八らについて書いている。

239. 漂流民の思想 山田宗睦，尾崎秀樹（対
談 海の人物史 尾崎秀樹著 ティビー
エス・ブリタニカ 1979. 2, p.183～
203）

240. にっぱん音吉漂流記 春名徹著 昌文社
1979. 5, 289 p. 同大

241. 幕末期の漂流者ラナルド・マクドナルドと
音吉 その1，その2 富田虎男（歴
史公論 1979. 6月号，7月号）同大

242. 「時規物語」「蕃談」を通してみた「漂民
字三郎」 井伏鱒二（現代文学 昭54.
9）

243. 宝塚における海難者の碑石 若林泰
（海事史研究 33号 昭54.10, p.64～
65）同大

244. ロシアの南進政策と漂流民 北構保男

（歴史への招待 1 日本放送出版協会
昭54.12, p.238～9）

245. 鯨泣く海の日々 — 明治維新前後の漂流 —
浜光治著 和歌山，ゆのき書房 昭55.
197 p.

246. 「ヲロシヤの言」のロシア語 木崎良平
（立正史学 47号 昭55）

247. 続・J.M.Ottoson のこと — 日本英学史
の一断面 — 沖田一（英語青年 125
巻10号 1980. 1, p.13～14）同大

248. 稀本あれこれ 178 亜墨竹枝 朝倉治彦
（国立国会図書館月報 昭27. 1980.
2, p.32）同大

249. 異国漂流物語 荒川秀俊著 社会思想社
1980. 5, 212 p. 15 cm（現代教養文庫
677）* 本書は2部からなり，1部は
今昔物語集や六国史などに出ている上古
や中世の海難物語などを中心に編集，第
2部は近世におこった有名な漂流物語を
20数篇あつめて編集したもの。同大

250. 韃靼漂流記の研究 園田一亀著 解題：荒
川秀俊 原書房 昭55.8. 328, 10 p. 図6,
地図2,（ユーラシア叢書34）* 昭和
14年南満洲鉄道株式会社鉄道総局庶務課
刊行の複製 同大

251. 南部漂民と日本語学校（幕末日露関係史
研究 郡山良光著 国書刊行会 昭55.8,
p.306～310）同大

252. 青ヶ島島史 小林亥一著 青ヶ島村役場
昭55. 9, 18, 601 p. 図版6枚 22 cm
* 12：青ヶ島二少年の漂流（p.54～55）
16：元文期の漂着船（p.66～67）18：
青ヶ島在島の9人と鳥島からの漂着船

- (p.227~235) 19:三九郎ら11名の最後
(p.236~241) 14:天保 弘文期の漂着
(p.385~388) 同大
253. ノースチャイナ・ヘラルドの幕末時の日本
関係記事 沖田一 (龍谷大学論集
第417号 昭55.10月 p.1~48) 同大
254. モリソン号の旅 — 中国から日本へ C.W.
King 著 友寄英一郎訳 (琉大史学11,
1980.10, p.5-15)
255. 「漂海紀聞」のロシア言語篇について 木
崎良平 (立正大学文学部論叢 68号
昭55.12, p.47~97) 同大
256. 近世漂流民と中国 相田洋 (福岡教育
大学紀要 第2部 社会科編31, 1981.
p.1~20)
257. 「時規物語」「蕃談」を通して見た「漂民
宇三郎」(私注:井伏鱒二 涌田佑著
明治書院 昭56.1, (国文学研究叢書)
p.183~213)
258. 漂流譚 — 冒険活劇の真髓ここにあり 西
脇英夫 (本の雑誌 21号 昭56.1, p.7
~10) 同大
259. 弥市漂流物語 (1)~(5) 戸台俊一 (地誌
と歴史 東京印書館史誌センター 26号
27, 28合併号, 30~32号, 1981.1, 11~
1983.2, p.5~7, p.8~10, p.4~5,
p.7~8, p.6~8) 同大
260. 無人島長平 (新土佐群書類従 5) (高
知新聞 昭56.5.17) 同大
261. モリソン号来航の意義 高谷道男 (日本
歴史 164号 昭56.5 p.35~40) 同
大
262. 知られざる土佐 地震の碑と無人島長平の
墓 広谷喜十郎 (労働の友 第16号
高知県労政事務所・高知中小企業労働相
談所 昭56.5.1日) 同大
263. 新・紙魚の昔がたり 62 ききて:反町茂
雄 (図書新聞 1981.5.16(土) p.7)
*この中で「ロシア漂着者の本」につい
て書いている。同大
264. 漂流民とロシア語 (長崎通詞 — ことば
と文化の翻訳者 杉本つとむ著 開拓社
1981.6 (開拓社言語文化叢書)
p.148~153) 同大
265. 土佐の長平島漂流十三年 (無人島「人」
間」幻視行 — 歴史・風土・民俗・伝説
をさぐる — 加藤賢三著 サンケイ出版
昭56.7, p.28~51) 同大
266. 死の漂流からの生還者 宮川雄二郎 (潮
267号 昭56.8, p.256~263) 同大
267. 世界のロビンソンクルーソー「漂流譚」を
読む 皆川正夫 (潮 267号 昭56.8,
p.264~269) 同大
268. 「北槎聞略」の風景 — 光太夫, 甫周の出
合いに(鷹津義彦教授追悼論集) 小林
慧子 (立命館文学 435・436, 1981.
10, p.1100~1112) 同大
269. 多岐多彩な漂流奇譚 — 秀れて実証主義的
な文明史論に 原田伴彦 (週間読書人
昭56.10.5) *春名徹著「世界を見て
しまった男たち」の書評 同大
270. 永寿丸魯西亜漂流記 木崎良平著
明玄書房 昭57.2, 232 p. 21 cm
*第1部 永寿丸のロシアへの漂流 第
2部 「魯西亜漂流記」 第3部 参考

資料および年表(1.漂民口書(東北大学
狩野文庫本) 2.村上貞助書付 3.魯西
亜国漂着様子書 喜三左衛門実記 4.永
寿丸関係年表) 同大

271. ジョン万エンケレセ 永国淳哉著 高知新
聞社 昭57.3, 210 p. 19 cm (高新ふ
るさと文庫6) * p.208~210 : 万次
郎関係古書所在表 同大

272. 韃靼漂着記と北槎聞略とに事よせて 亀井
高孝 (黒船談叢 複刻版 黒船談叢出
版会 昭58.2, p.324~326) 同大

273. 洋学伝来史 キリシタン時代から幕末まで
海老沢有道著 日本基督教団出版局
1983.2. 312 p. * 第8章 禁教鎖国下
の洋学知識の中で漂流民の帰国報国
(p.181~188) 同大

274. 阿波の蘭学者 — 西洋文化を伝えた人たち
— 福島義一著 徳島県出版文化協会
1982.7, 174 p. * p.136~7 : 漂流者
の海外見聞記録: 「海外異聞」 — 「亜
墨利加新話」と天毛政吉について書かれ
ている。 同大

275. 近世日本の漂流民送還体制と東アジア 荒
野泰典 (歴史評論 (歴史科学協議会
編) 400号 校倉書房 1983.8, 73~
102 p.) 同大

日本人漂流記文献目録

昭和 59 年 3 月 1 日 印刷

昭和 59 年 3 月 10 日 発行

昭和 59 年 8 月 31 日 2 刷 (改訂)

編集 同志社大学図書館
発行

京都市上京区今出川通烏丸東入

〒602 Tel (075) 251 - 3971

印刷・京都・(株) 木村桂文社

